BrailleEmotion 40

ブレイルエモーション40　ユーザーマニュアル

開発元：

SELVAS Healthcare,Inc

日本語版開発・発売元：

有限会社エクストラ

http://www.extra.co.jp/

E-mail：support@extra.co.jp

**お知らせ**

* このユーザーマニュアルと製品には印刷上の誤りあるいは技術的な誤りがある可能性があります。また、性能の改善などのために予告なしで変更される可能性があります。
* このユーザーマニュアルと製品は著作権法によって保護されています。
* Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。その他記載の製品名、ソフトウェア名は、一般にその会社の登録商標または、商標です。

目次

[ブレイルエモーション40　ユーザーマニュアル 1](#_Toc175560079)

[1 はじめに 8](#_Toc175560080)

[1.1 ブレイルエモーション40とは？ 8](#_Toc175560081)

[1.2 各部の名称と機能 8](#_Toc175560082)

[1.2.1 上面 8](#_Toc175560083)

[1.2.2 前面 9](#_Toc175560084)

[1.2.3 右側面 9](#_Toc175560085)

[1.2.4 左側面 10](#_Toc175560086)

[1.3 ハードウェア仕様 10](#_Toc175560087)

[1.4 ブレイルエモーション40のメモリー 11](#_Toc175560088)

[2 ブレイルエモーション40の基本機能 12](#_Toc175560089)

[2.1 コマンドの入力方法 12](#_Toc175560090)

[2.1.1 基本アラートとメッセージ 12](#_Toc175560091)

[2.2 メニューの概念 12](#_Toc175560092)

[2.2.1 コントロール情報を示す記号 14](#_Toc175560093)

[2.3 ファンクションキーの使用方法 15](#_Toc175560094)

[2.4 電源とバッテリー 16](#_Toc175560095)

[2.5 音量とその他の設定の調整 17](#_Toc175560096)

[2.6 音声と点字の使用 18](#_Toc175560097)

[2.7 文字入力 18](#_Toc175560098)

[2.7.1 点字文書の入力方法 18](#_Toc175560099)

[2.7.2 テキスト文書の入力方法 18](#_Toc175560100)

[2.8 マルチタスク 21](#_Toc175560101)

[2.9 キーロック 22](#_Toc175560102)

[2.10 片手モード 22](#_Toc175560103)

[2.11 入力モード 23](#_Toc175560104)

[2.12 特別な起動コマンド 23](#_Toc175560105)

[3 点字ディスプレイのカスタマイズ 24](#_Toc175560106)

[3.1 点字設定 24](#_Toc175560107)

[3.2 音声設定 25](#_Toc175560108)

[3.3 一般設定 26](#_Toc175560109)

[3.4 時計設定 27](#_Toc175560110)

[3.5 インターネット設定 28](#_Toc175560111)

[3.5.1 無線LANの設定 28](#_Toc175560112)

[3.6 Bluetooth接続 30](#_Toc175560113)

[3.6.1 Bluetoothデバイスリスト 30](#_Toc175560114)

[3.6.2 Bluetoothサービスリスト 31](#_Toc175560115)

[3.7 バックアップ/復旧オプション 31](#_Toc175560116)

[3.8 クイックスタートガイド 32](#_Toc175560117)

[3.9 設定の初期化 32](#_Toc175560118)

[4 ファイルの管理 33](#_Toc175560119)

[4.1 概要 33](#_Toc175560120)

[4.1.1 ファイルリストの移動 34](#_Toc175560121)

[4.1.2 フォルダとファイルの選択 34](#_Toc175560122)

[4.2 ファイルとフォルダの操作 34](#_Toc175560123)

[4.2.1 フォルダ間の移動 35](#_Toc175560124)

[4.3 ファイルメニュー 35](#_Toc175560125)

[4.4 編集メニュー 36](#_Toc175560126)

[4.5 表示メニュー 36](#_Toc175560127)

[4.6 アドレスウィンドウの使用 37](#_Toc175560128)

[5 ノートパッド 38](#_Toc175560129)

[5.1 ファイルメニュー 38](#_Toc175560130)

[5.2 編集メニュー 39](#_Toc175560131)

[5.3 挿入メニュー 40](#_Toc175560132)

[5.4 移動メニュー 40](#_Toc175560133)

[5.5 読み上げメニュー 41](#_Toc175560134)

[5.6レイアウトメニュー 41](#_Toc175560135)

[6 接続 42](#_Toc175560136)

[6.1 接続の確立 43](#_Toc175560137)

[6.2 スクリーンリーダーへの接続 44](#_Toc175560138)

[6.2.1 USB経由でのPCへの接続 44](#_Toc175560139)

[6.2.2 Bluetoothシリアルポート経由でのPCへの接続 44](#_Toc175560140)

[6.2.3 ブレイルエモーション40をJAWS for Windowsの点字ディスプレイとして使用する 45](#_Toc175560141)

[6.2.4 ブレイルエモーション40をNVDAの点字ディスプレイとして使用する 45](#_Toc175560142)

[6.2.5 ブレイルエモーション40をMacのVoiceOverで使用する 46](#_Toc175560143)

[6.2.6 ブレイルエモーション40をiOSデバイスで使用する 46](#_Toc175560144)

[6.2.7 ブレイルエモーション40をAndroidのTalkBackで使用する 47](#_Toc175560145)

[6.3 ターミナルクリップボード 47](#_Toc175560146)

[7 文書リーダー 48](#_Toc175560147)

[7.1 基本的な文書内の移動 48](#_Toc175560148)

[7.2 ファイルメニュー 49](#_Toc175560149)

[7.3 編集メニュー 49](#_Toc175560150)

[7.4 移動メニュー 50](#_Toc175560151)

[7.5 読み上げメニュー 50](#_Toc175560152)

[7.6 マークメニュー 51](#_Toc175560153)

[8 DAISYプレーヤー 52](#_Toc175560154)

[8.1 DAISYプレーヤーの構造 52](#_Toc175560155)

[8.2 ファイルメニュー 53](#_Toc175560156)

[8.3 文書メニュー 53](#_Toc175560157)

[8.4 マークメニュー 54](#_Toc175560158)

[8.5 見出しメニュー 54](#_Toc175560159)

[8.6 メモメニュー 54](#_Toc175560160)

[9 メディアプレーヤー 55](#_Toc175560161)

[9.1 メディアプレーヤーのレイアウト 55](#_Toc175560162)

[9.2 ファイルメニュー 55](#_Toc175560163)

[9.3 再生メニュー 56](#_Toc175560164)

[9.4 移動メニュー 56](#_Toc175560165)

[9.5 マークメニュー 57](#_Toc175560166)

[9.6 設定メニュー 57](#_Toc175560167)

[9.7 オーディオブックの再生 57](#_Toc175560168)

[9.8 バックグラウンド再生の使用 58](#_Toc175560169)

[10 ライブラリーサービス 59](#_Toc175560170)

[10.1 DAISYオンライン 59](#_Toc175560171)

[10.1.1 ログイン 59](#_Toc175560172)

[10.1.2 DAISYオンラインのメインメニュー 59](#_Toc175560173)

[10.1.3 図書検索結果リストの操作 61](#_Toc175560174)

[10.1.4 DAISYオンラインで検索した図書の再生 61](#_Toc175560175)

[10.1.5 ネット閲覧室 61](#_Toc175560176)

[11 エクストラアプリ 63](#_Toc175560177)

[11.1 BESエディタ 63](#_Toc175560178)

[11.1.1 ファイル 63](#_Toc175560179)

[11.1.2 読み上げ 64](#_Toc175560180)

[11.1.3 編集 64](#_Toc175560181)

[11.1.4 BESファイル読み込み時や編集時の操作 65](#_Toc175560182)

[11.1.5 ページヘッダ 65](#_Toc175560183)

[11.2 BESリーダー 65](#_Toc175560184)

[11.2.1 ファイル 65](#_Toc175560185)

[11.2.2 読み上げ 66](#_Toc175560186)

[11.2.3 編集 66](#_Toc175560187)

[11.2.4 移動 67](#_Toc175560188)

[11.2.5 オプション 67](#_Toc175560189)

[11.3 サピエ 68](#_Toc175560190)

[11.3.1 サピエについて 68](#_Toc175560191)

[11.3.2 サピエへのログイン 68](#_Toc175560192)

[11.3.3 検索種別 68](#_Toc175560193)

[12 ユーティリティー 74](#_Toc175560194)

[12.1 ボイスレコーダー 74](#_Toc175560195)

[12.1.1 録音する 74](#_Toc175560196)

[12.1.2 DAISY録音をする 75](#_Toc175560197)

[12.1.3 録音した音声の再生 75](#_Toc175560198)

[12.1.4 録音設定 76](#_Toc175560199)

[12.2 電卓 77](#_Toc175560200)

[12.2.1 一般関数 77](#_Toc175560201)

[12.2.2 分数の演算 77](#_Toc175560202)

[12.2.3 変数計算 78](#_Toc175560203)

[12.2.4 サイン関数 79](#_Toc175560204)

[12.2.5 コサイン関数 79](#_Toc175560205)

[12.2.6 タンジェント関数 79](#_Toc175560206)

[12.2.7 対数関数 79](#_Toc175560207)

[12.2.8 単位換算 79](#_Toc175560208)

[12.2.9 クリップボードにコピー 80](#_Toc175560209)

[12.2.10 式を返す 80](#_Toc175560210)

[12.2.11 オプション設定 80](#_Toc175560211)

[12.3 現在時刻 81](#_Toc175560212)

[12.4 アラーム 81](#_Toc175560213)

[12.5 ストップウォッチ 82](#_Toc175560214)

[12.6 フラッシュディスクのバックアップ/復旧 82](#_Toc175560215)

[12.7 フォーマット 83](#_Toc175560216)

[12.8 スリープタイマー 84](#_Toc175560217)

[12.9 ファームウェアの更新 84](#_Toc175560218)

[12.9.1 インターネットを使用したブレイルエモーション40ファームウェアのアップグレード 85](#_Toc175560219)

[12.9.2 ディスクからのブレイルエモーション40ファームウェアのアップグレード 86](#_Toc175560220)

[13 ヘルプの表示 87](#_Toc175560221)

[14 接続モードのコマンド 88](#_Toc175560222)

[14.1 接続モードの基本コマンド 88](#_Toc175560223)

[14.2 JAWS For Windowsのコマンド 88](#_Toc175560224)

[14.2.1 基本コマンド 88](#_Toc175560225)

[14.2.2 移動と選択のコマンド 89](#_Toc175560226)

[14.2.3 点字と音声の設定コマンド 90](#_Toc175560227)

[14.2.4 JAWSコマンド 90](#_Toc175560228)

[14.3 NVDAのコマンド 90](#_Toc175560229)

[14.3.1 NVDAのオリジナルキーマップ 90](#_Toc175560230)

[14.3.2 HID点字接続の基本コマンド 92](#_Toc175560231)

[14.4 MACのVoiceOverのコマンド 92](#_Toc175560232)

[14.4.1 基本操作とナビゲーション 92](#_Toc175560233)

[14.4.2 VoiceOverと点字 93](#_Toc175560234)

[14.5 iOSのコマンド 95](#_Toc175560235)

[14.5.1 基本操作とナビゲーション 95](#_Toc175560236)

[14.5.2 読み上げと編集 96](#_Toc175560237)

[14.5.3 VoiceOverと点字 96](#_Toc175560238)

[14.6 Androidのコマンド 97](#_Toc175560239)

[14.6.1 基本コマンド 97](#_Toc175560240)

[14.6.2 テキストの移動と選択 98](#_Toc175560241)

[15 内蔵アプリのキーコマンド 99](#_Toc175560242)

[15.1 共通のホットキー 99](#_Toc175560243)

[15.2 簡単起動コマンド 100](#_Toc175560244)

[15.3 ファイル管理 101](#_Toc175560245)

[15.3.1 ファイル/フォルダリストのコマンド 101](#_Toc175560246)

[15.3.2 ファイルメニューのコマンド 102](#_Toc175560247)

[15.3.3 編集メニューのコマンド 102](#_Toc175560248)

[15.3.4 表示メニューのコマンド 102](#_Toc175560249)

[15.4 ノートパッドのコマンド 103](#_Toc175560250)

[15.4.1 ファイルメニューのコマンド 103](#_Toc175560251)

[15.4.2 編集メニューのコマンド 103](#_Toc175560252)

[15.4.3 挿入メニューのコマンド 103](#_Toc175560253)

[15.4.4 移動コマンド 104](#_Toc175560254)

[15.4.5 読み上げコマンド 104](#_Toc175560255)

[15.4.6 レイアウトコマンド 104](#_Toc175560256)

[15.4.7 その他のホットキー 104](#_Toc175560257)

[15.5 文書リーダーのコマンド 105](#_Toc175560258)

[15.5.1 ファイルコマンド 105](#_Toc175560259)

[15.5.2 編集コマンド 105](#_Toc175560260)

[15.5.3 読み上げコマンド 105](#_Toc175560261)

[15.5.4 移動コマンド 105](#_Toc175560262)

[15.5.5 マークコマンド 106](#_Toc175560263)

[15.6 DAISYプレーヤーのコマンド 106](#_Toc175560264)

[15.6.1 読み上げコマンド 106](#_Toc175560265)

[15.6.2 移動コマンド 106](#_Toc175560266)

[15.6.3 マークとメモのコマンド 107](#_Toc175560267)

[15.7 メディアプレーヤーのコマンド 107](#_Toc175560268)

[15.7.1 ファイルコマンド 107](#_Toc175560269)

[15.7.2 再生コマンド 108](#_Toc175560270)

[15.7.3 マークと移動のコマンド 108](#_Toc175560271)

[15.7.4 再生情報タブのホットキー 109](#_Toc175560272)

[15.7.5 プレイリストタブのホットキー 109](#_Toc175560273)

[15.7.6 バックグラウンド再生のコマンド 109](#_Toc175560274)

[15.8 ライブラリーサービスのコマンド 110](#_Toc175560275)

[15.8.1 DAISYオンライン 110](#_Toc175560276)

[15.9 ユーティリティーのコマンド 110](#_Toc175560277)

[15.9.1 ボイスレコーダーのコマンド 110](#_Toc175560278)

[15.9.2 電卓のコマンド 110](#_Toc175560279)

[15.9.3 アラーム 111](#_Toc175560280)

[15.9.4 ストップウォッチ 111](#_Toc175560281)

[15.10 設定コマンド 111](#_Toc175560282)

[15.10.1 時計設定 111](#_Toc175560283)

[15.10.2 Bluetooth接続 112](#_Toc175560284)

[15.10.3 バックアップ/復旧オプション 112](#_Toc175560285)

[16 技術サポート情報 113](#_Toc175560286)

# はじめに

## ブレイルエモーション40とは？

ブレイルエモーション40は、SELVAS Healthcare社が開発・製造する、目の不自由な方のためのHIMSブランドのスマート点字ディスプレイです。ブレイルエモーション40には、以下のような強力な機能があります。

1. JAWS、NVDA、SuperNova、Microsoft Narrator、MacおよびiOS用VoiceOver、Android™用TalkBackなど、互換性のあるスクリーンリーダーのUSBまたはBluetooth点字ディスプレイとしての使用。
2. TXT、BRF、RTF、PDF、EPUB、Microsoft Wordファイルの閲覧。
3. ノートパッドを使った、メモや基本的な文書の作成。
4. メディアプレーヤーを使った、音声や動画の再生。
5. 音声DAISY図書、テキストDAISY図書の読み上げ。
6. サピエ図書館からの、図書の検索とダウンロード。
7. 科学計算や図形計算、アラームやタイマーの利用。
8. 内蔵ステレオマイクやUSBヘッドセットを使用した、高品質な音声の録音。

## 各部の名称と機能

ブレイルエモーション40を最大限に活用するためには、キーやポートの位置や機能を知っておくことが重要です。このセクションでは、ブレイルエモーション40の各部の役割について説明します。

点字ディスプレイが一番手前に来るように、ブレイルエモーション40を机の上に置いてください。

### 上面

ブレイルエモーション40の上面、上端近くには8つのパーキンス式キーがあり、中央にはさらに横長のキーがあります。横長のキーの左側には、1の点、2の点、3の点、Backspace（7の点）があります。横長のキーの右側には、4の点、5の点、6の点、Enter（8の点）があります。中央の横長のキーはセンターキーと呼ばれ、本機の内蔵プログラムの操作とターミナルモードを切り替えたり、英語点字規則などの設定を変更したりするために使用します。

Backspaceの左上には、点字の書かれた3つの小さな四角いキーがあります。一番左の「W」と書かれたキーは、Wi-fiキーです。このキーを短く押すと、Wi-fiのオン／オフが切り替わり、長押しするとインターネット設定ダイアログが開きます。Wi-fiキーの右側には、Bと書かれたBluetoothキーがあります。Wi-fiキーと同様、短く押すとBluetoothのオン/オフが切り替わり、長押しするとBluetooth接続ダイアログが開きます。Bluetoothキーの右側には、Cと書かれた接続キーがあります。接続キーを短く押すと、接続モードが開き、最後に使用した機器と接続します。長押しすると接続メニューが表示されます。

Enterの右側には、角が丸い大きめの四角いキーがあります。これが電源キーです。エモーションが動作しているときにこのキーを短く押すと、スリープモードに入ったり、スリープモードから復帰したりします。また、シャットダウンからの起動にも使われます。本機が起動しているときにこのキーを長押しすると、電源オプションが表示されます。電源キーを10秒間長押しすると、強制的に再起動します。本機が応答しない、または動作が不安定な場合に便利です。

キーボードの左右には、長方形のステレオスピーカーがあります。

パーキンス式キーボードの下には、40セルの点字ディスプレイがあります。点字ディスプレイの上には、それぞれの点字セルに対応するタッチカーソルキーがあります。文書を編集する際には、これらのキーを使用して、カーソルを対応する点字セルの文字に移動できます。また、リストやフィールドのグループを移動するためのショートカットキーとしても機能します。タッチカーソルキーには、位置がわかりやすいように5つごとに点が付いています。

点字ディスプレイの両側には、2つのカプセル型キーがあります。これらは上下スクロールキーです。スクロールキーは、メニュー、フィールド、リスト、テキストで点字表示をスクロールするために使用します。スクロールキーの移動単位は、ディスプレイの幅、段落、行、文、文字のいずれかを選択できます。設定は、第3章で説明する「点字設定」で行います。

点字セルの下には、デバイスの中央付近にわずかに傾斜した部分があります。この部分には3つのキーがあります。左からControlキー、Spaceキー、Altキーです。

### 前面

前面には、いくつかのコントロールがあります。左から、左カーソルキー、F1、F2、左ステレオマイク、ホームキー、右ステレオマイク、F3、F4、右カーソルキー、マイクロSDカードスロットです。左カーソルキーと右カーソルキーは、他のキーと組み合わせてさまざまなナビゲーションをコントロールします。カーソルキーを単独で押すと、左右のスクロールキーと同様に点字表示をスクロールできます。カーソルキーでの移動単位は、「点字設定」、あるいは左右のカーソルキーを同時に押すことで変更できます。左右いずれかのスクロールキーと一緒にカーソルキーを押すと、そのスクロールキーの移動単位が切り替わります。F1～F4のファンクションキーは、本機の状態に応じてさまざまな操作を行います。詳細は、本マニュアルの2.3章で説明します。

前面の中央にはホームキーを含む突起部があり、その両側にはステレオマイクロフォンがあります。ホームキーを短く押すと、デバイスのターミナルモード以外のどこからでもメインメニューが開きます。ホームキーを2回短く押すと、タスクマネージャーが開きます。ホームキーを3回短く押すと、音声出力のオン/オフが切り替わります。ホームキーを3秒間長押しすると、キーボードのロック/ロック解除が切り替わります。

前面の右端近くには、マイクロSDカードを挿入するための小さな長方形のスロットがあります。カードを挿入するには、カチッと音がするまで押し込んでください。カードを取り外すには、軽く押し込んで離します。カードが飛び出すので、指でつかんで取り出してください。

### 右側面

ブレイルエモーション40の右側面には、USB Cポート、ヘッドフォンジャック、音声コントロールキー、プラスキー、マイナスキーがあります。本体背面近くのUSB Cポートは、本体への電源供給や充電の他、PCに接続して点字ディスプレイとして使用したり、データを転送したりするために使用します。3.5mmオーディオジャックは、ヘッドホンや外部スピーカーを接続する際に使用します。

ヘッドフォンジャックの下には音声コントロールキーがあります。音声コントロールキーを使うと、合成音声の速度・ボリューム・トーンの設定、オーディオ再生の速度・ボリューム・イコライザーに素早くアクセスできます。音声コントロールキーを繰り返し押して設定項目を切り替え、プラスキーとマイナスキーで設定値を変更します。音声コントロールキーを押さずにプラスキーやマイナスキーを押すと、現在聴いているコンテンツの音量を変更します。メディアを聴いている場合はメディアの音量を、テキストDAISY図書や文書ファイルを読んでいる場合は読み上げ音声の音量を、メニューやリストを表示しているときには本機の主音量を、それぞれ変更できます。

マイナスキーを長押しすると、バッテリーの状態が表示されます。プラスキーを長押しすると、日付と時刻が表示されます。音声コントロールキーを長押しすると、現在の状況での音声設定を初期化できます。

### 左側面

ブレイルエモーション40の左側面には、録音キーとUSBホストポートがあります。

背面近くのキーが録音キーです。録音キーを短く押すと、「ボイスレコーダー」のアプリが開きます。長押しすると、新規録音ができます。

機器の前面近くにはUSB Aホストポートがあり、ドライブやQWERTYキーボード、USBオーディオデバイスをブレイルエモーション40に接続できます。

以上が、ブレイルエモーション40のキーとポートの基本的な機能です。このマニュアルの残りの部分では、ブレイルエモーション40の可能性を最大限に引き出すため、各機能についてさらに詳しく説明します。

## ハードウェア仕様

1. オペレーティングシステム：Android™ 12
2. 内蔵ストレージ：64GB UFS 2.1（ユーザーが使用可能な領域は約43GB）
3. RAM：4GB LPDDR4X
4. CPU：Octa（4 x 2.0 GHz Kryo Gold, 4 x 1.8 GHz Kryo Silver）
5. バッテリー：Li-ion 3.8V, 5000 mAh（内蔵）
6. バッテリー駆動時間：約20時間（点字と音声を両方使用し、内蔵スピーカーの音量を中程度に設定した場合）
7. キーボード：9キーのパーキンススタイル点字キーボード、ControlとAlt、4つのファンクションキー、40個のタッチカーソルキー、4つのスクロールキー、2つのカーソルキー、ホームキーと入力選択キー
8. 点字ディスプレイ：40個の点字セル
9. ワイヤレス：Wi-Fi 802.11a/b/g/n/acデュアルバンド、Bluetooth 5.0（HID、A2DP、HFP）
10. インターフェイス：USB C×1、USB A×1、マイクロSDカードスロット（FAT32、exFATに対応）
11. サウンド：内蔵ステレオスピーカー、ステレオヘッドホンジャック
12. 録音：内蔵ステレオMEMSマイク、ヘッドセット/USBマイク
13. 振動モーター：内蔵

## ブレイルエモーション40のメモリー

ブレイルエモーション40は4GBのRAM（ランダムアクセスメモリー）と64GBのフラッシュメモリーを搭載しています。RAMはプログラムを実行するために確保されたメモリーです。RAMは、実行中のプログラムファイルや現在開いている文書を一時的に記憶する領域です。バッテリーが空になり、ACアダプターが接続されていない場合、RAM領域のデータは消えます。また、何らかの理由でブレイルエモーション40が再起動した場合も、RAMのデータは消えます。つまり、開いている文書を保存していない場合、保存していないデータは消えてしまいます。

# ブレイルエモーション40の基本機能

## コマンドの入力方法

ブレイルエモーション40の操作に使用するコマンドは、点字キーとファンクションキーの組み合わせで構成されています。このユーザーマニュアルでは、同時に押すキーを示すために「-」（ハイフン）を用います。たとえば「Space-Z」は、SpaceとZ、つまり1の点と3の点と5の点と6の点を同時に押すことを示します。また、「Space-2-4-6」のような表現もあります。これは、Spaceと2の点と4の点と6の点を同時に押して離すことを意味します。

メニューやダイアログで、カーソルが希望のコマンドの上にある場合、Enterを押すことでほとんどのコマンドを実行できます。機能をキャンセルしたり、プログラムやメニューを閉じて元の場所に戻ったりする際は、Space-Zを押します。

### 基本アラートとメッセージ

ブレイルエモーション40は、さまざまなメッセージを表示します。

ブレイルエモーション40のシステムメッセージは、点字と音声で通知されます。点字表示は、いずれかのキーが押されるか、設定された秒数が経過すると自動的に消えます。たとえば、ACアダプターをブレイルエモーション40に接続すると「ACアダプターオン」、切断すると「ACアダプターオフ」と表示されます。点字ディスプレイにメッセージが表示される時間は、次章で説明する点字設定を使って変更できます。

## メニューの概念

ブレイルエモーション40のメニューでは、プログラム、操作、オプションをリストから選択できます。サブメニューがあるメニュー項目を選択すると、別の選択肢が表示されます。

ブレイルエモーション40のプログラムを使用中、Space-MまたはF2を押すとメニューが表示されます。上スクロールまたはSpace-1を押すと前の項目に、下スクロールまたはSpace-4を押すと次の項目に移動します。

メニューの最初の項目に移動するには、Space-1-2-3を押します。メニューの最後の項目に移動するには、Space-4-5-6を押します。サブメニューの最初の項目でBackspaceを押すと、上位のメニューに戻ります。現在の項目を繰り返し読み上げるには、Space-Rを押します。サブメニューを開いたり、現在の項目を実行したりするには、Enterを押します。

また、メニュー項目のショートカットキー（通常は項目名の最初の文字）を押すことで、メニュー項目に素早く移動して実行することもできます。さらに、多くのメニュー項目には、メニューを開かずにプログラムの現在位置から直接実行するためのホットキーが用意されています。

ショートカットキーはメニュー名に続く括弧内に表示されます。ホットキーは通常、Enter、Space、Backspaceなどの修飾キーと、点字キーの組み合わせで構成されます。これらはショートカットキーの後に表示されます。

たとえば、ノートパッドでSpace-MやF2を押し、「ファイル」でEnterを押すと、「新規 (n) enter-n プルダウンメニュー」と読み上げられます。「新規」はメニュー項目です。「ファイル」メニューの中から「新規」に移動するには、Nを押します。Enter-nを押すと、ノートパッドのどこからでも「新規」コマンドにアクセスできます。「n」はショートカットキー、「enter-n」はホットキーです。ホットキーには、グローバルなもの、すなわち機器のどこからでも機能するものと、プログラム固有のものとがあります。たとえば、ノートパッドの「新規」を実行したい場合、メインメニューからEnter-nを押しても機能しません。Enter-nで「新規」コマンドを実行するためには、ノートパッドを開いている必要があります。一方、「ユーティリティー」メニューの「現在時刻」を開くためのホットキーであるSpace-Tは、グローバルなホットキーであり、本機のどこからでも実行できます。

それでは、さまざまなメニューを見てみましょう。まず、第1章で説明した方法で、本機の電源を入れます。次に、ホームキーを押して、プログラムメニューを表示します。プログラムメニューはブレイルエモーション40のメインメニューです。このメニューから、すべてのプログラム、オプション設定、ユーティリティー、ヘルプにアクセスできます。

プログラムメニューは、マイエモーション、ファイル管理、ノートパッド、接続、文書リーダー、DAISYプレーヤー、メディアプレーヤーの7つのプログラムと、ライブラリーサービス、ユーティリティー、設定、ヘルプの4つのサブメニューから構成されています。

プログラムメニューの最初の項目は「マイエモーション」です。Space-4を押すと、次のメニュー項目が表示・読み上げされます。Space-4を繰り返し押すと、プログラムメニューの項目が順に表示されます。「ヘルプ」が、プログラムメニューの最後の項目となります。

また、「マイエモーション」が表示されているときにSpace-4-5-6を押すと、「ヘルプ」に素早く移動できます。Space-1-2-3を押すと、一番上の「マイエモーション」に戻ります。Enterを押すと、選択した項目を実行できます。サブメニューが開いている状態で、メインのプログラムメニューに戻りたい場合は、Space-EまたはF4を押します。

「ライブラリーサービス」メニューには「DAISYオンライン」があります。

「ユーティリティー」メニューには、ボイスレコーダー、電卓、現在時刻、アラーム、ストップウォッチ、フラッシュディスクのバックアップ/復旧、フォーマット、スリープタイマー、ファームウェアの更新があります。

「設定」メニューには、点字設定、音声設定、一般設定、時計設定、インターネット設定、bluetooth接続、バックアップ/復旧オプション、クイックスタートガイド、設定の初期化があります。

「ヘルプ」メニューには「ユーザーガイド」と「ブレイルエモーション情報」があります。「ユーザーガイド」を実行すると、ナビゲート可能なバージョンのユーザーマニュアルを開きます。「ブレイルエモーション情報」を実行すると、ブレイルエモーション40の著作権とバージョン、オペレーティングシステムのバージョン、ブレイルエモーション40のファームウェアのバージョン、Macアドレス、ネットワーク情報、サービスやサポートの受け方などを確認できるダイアログが表示されます。このダイアログが開いているときに、Tab（Space-4-5またはF3）を押して「保存」ボタンに移動し、Enterを押すと、ブレイルエモーション40の情報を保存することができます。これを実行すると「情報ファイルがflashdiskに保存されました。」と表示され、「保存」ボタンに戻ります。この操作を行うと、flashdiskに「bs-information.txt」というファイルが作成されます。

各プログラムの詳細については、このユーザーマニュアルの関連する章を参照してください。

プログラムメニューを開くためにホームキーを押しましたが、これはグローバルなホットキーです。つまり、ホームキーを押すと、ブレイルエモーション40のどこからでもすぐにプログラムメニューを表示できます。

また、ブレイルエモーション40のほとんどのプログラムには、F1またはF3と点字キーの組み合わせで構成される、グローバルな簡単起動コマンドがあります。これらの簡単起動コマンドを使うと、ブレイルエモーション40のどこからでも各アプリケーションをすぐに起動できます。簡単起動コマンドの完全なリストについては、コマンド一覧の章を参照してください。

### コントロール情報を示す記号

ブレイルエモーション40は、表示される情報の種類を示すためにいくつかの記号を使用します。たとえば、リスト項目、メニュー、エディットボックスなどを表す記号があります。これらの記号を内容の前に表示させるのか、後に表示させるのか、表示させないのかは、一般設定の「コントロール情報」で変更できます。たとえば、コントロール情報が「前」に設定されている場合、ノートパッドのメニューを開くと「mn ファイル (f) プルダウン」と表示します。

次の表は、コントロールの種類とそれを示す記号を示したものです。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 名称 | 点字表記 | 説明 |
| メニュー | MN | サブメニューを含むメニュー項目です。 |
| メニュー項目 | MI | サブメニューを含まないメニュー項目です。 |
| リスト項目 | LI | リスト内の項目です。 |
| エディットボックス | EB | この記号の後にエディットボックスの名前があり、さらにエディットボックスが続きます。記号「EB」で始まるエディットボックスは、テキスト検索など、1行を入力するものです。 |
| 複数エディットボックス | MEB | 複数行のエディットボックスです。 |
| コンピュータエディットボックス | CE | コンピューター点字で入力するエディットボックスです。 |
| コンボボックス | CB | 上下スクロールキーで項目を選択できるコンボボックスです。（例：ノートパッドの「ファイルを開く」ダイアログボックスで、「CB ファイルの種類：」）。 |
| エディットコンボボックス | ECB | 上下スクロールキーで項目を選択するか、項目名を直接入力します。（例：ノートパッドの「ファイルを開く」ダイアログボックスで、「ECB ファイル名：（カーソル）」）。 |
| プロンプトボタン | PB | 「PB」に続けて、「はい」か「いいえ」を選ぶ質問が表示されます。「はい」と「いいえ」は、SpaceかBackspaceで切り替えます。（例：ノートパッドの終了時に「PB 保存？はい」）。 |
| スタティックボックス | ST | 現在の状況を表示します。（例：ノートパッドで「ST noname.hbl/挿入モード/書き込み」）。 |

この記号を見れば、どのような入力コントロールやメニューを操作しているかがわかります。たとえば、「MN」、「MI」、「LI」と表示されていれば、上下スクロール、あるいはSpace-1とSpace-4で項目の間を移動できます。「ECB」、「EB」、「CB」、「MEB」と表示されている場合は、入力エリアにいて、文字を入力できる状態です。「BT」と表示されていれば、Enterでボタンを押すことができます。

## ファンクションキーの使用方法

ブレイルエモーション40には4つのファンクションキーがあります。これらのファンクションキーを使って、メニューを開いたり、タスクをキャンセルしたり、他の項目に移動したりすることができます。

F1を押すと、本体のどこからでもファイル検索ダイアログを表示します。また、他のキーと組み合わせて、ブレイルエモーション40のさまざまなプログラムを開くことができます。

ブレイルエモーション40のプログラムでは、F2でプログラム固有のメニューが開きます。これは、WindowsのAltキーに似ています。

注：F2の代わりにSpace-Mを押すことでも、同様の操作が可能です。

F3はTabキーとして機能し、同じ操作がSpace-4-5にも割り当てられています。Space-F3はShift-Tabキーとして機能し、同じ操作がSpace-1-2にも割り当てられています。F3と他のキーの組み合わせは、プログラムの起動にも使われます。

F4は、PCのEscapeキーと同じような働きをします。これはSpace-Eを押しても同様です。

Escapeは、メニューやダイアログ、プロンプトボックスを終了させることができますが、プログラムを終了させることはできません。プログラムの終了にはSpace-Zを使います。

ファンクションキーの組み合わせは、他のさまざまな機能に割り当てられています。F1とF2を同時に押すと「Page up」、F3とF4を同時に押すと「Page down」になります。F1とF4を同時に押すと、タスクリストが開きます。F2とF3を同時に押すと、実行中のプログラムが順に切り替わります。タスクリストとタスクの切り替えについては、2.8節で詳しく説明します。

スペースキーの左右にあるキーは、ControlとAltと呼ばれます。これは、ターミナルモードにおいて、これらのキーがQWERTYキーボードのControlキーやAltキーとして機能し、キーボードショートカットを利用できるためです。ブレイルエモーション40専用のアプリケーションでは、ControlとAltはそれぞれ、Space-1とSpace-4と同様に動作し、メニューやリストをスクロールできます。

本マニュアルの「はじめに」で説明したように、前面中央のホームキーにはいくつかの機能があります。ターミナルモード以外の場所で押すと、メインメニューが表示されます。素早く2回押すと、タスクマネージャーが表示されます。素早く3回押すと、音声のオン／オフが切り替わります。3秒以上長押しすると、キーボードのロックとロック解除が切り替わります。ターミナルモードでは、ホームキーは通常、接続されたデバイスのホーム画面またはデスクトップを開きます。

センターキーはキーボードの中央、1の点と4の点の間にあります。短く押すと、1級、2級などの英語点字モードが切り替わります。EnterやBackspaceと一緒に押すと、英語点字規則（USとUEB）が切り替わります。

注：英語点字規則は、次の章で説明する「点字設定」でも変更できます。

センターキーと他のキーの組み合わせは、バックグラウンドでのメディア再生の制御に使われます。

ターミナルモードでは、センターキーはターミナルクリップボードの呼び出しに用います。また、他のキーと組み合わせて、点字ディスプレイ接続の切り替えなどが可能です。センターキーとSpaceを同時に押すと、ターミナルモードと本機の内蔵プログラムの操作を切り替えます。

カーソルキーは、他のキーと組み合わせて、ナビゲーション、バックグラウンドでのメディア再生、その他の機能を制御します。カーソルキーを押しながら左右いずれかのスクロールキーを押すと、押した側のスクロールキーの動作が切り替わります。カーソルキーとEnterを同時に押すと、バックグラウンドでの再生や録音が一時停止されます。

バックグラウンドでのメディアの再生中、F1またはF3とカーソルキーを同時に押すと、設定した移動単位で前に戻ります。F2またはF4とカーソルキーを同時に押すと、設定した移動単位で次に進みます。

メディアの移動単位の変更には、センターキーとカーソルキーの組み合わせを用います。左カーソルキーとセンターキーを同時に押すと前の移動単位に、右カーソルキーとセンターキーを同時に押すと次の移動単位にそれぞれ変更できます。

左カーソルキーを単独で押すと、点字ディスプレイを前にスクロールします。右カーソルキーを押すと、点字ディスプレイを次にスクロールします。カーソルキーでの移動単位は「点字設定」で設定できます。また、両方のカーソルキーを同時に押すことで、どこからでも移動単位を変更できます。

## 電源とバッテリー

バッテリー残量を確認するには、Space-1-6を押すか、右側面のマイナスキーを長押しします。以下の2項目が表示されます。

1. バッテリー残量：フル充電時と比較した残量の割合。

2. 電源（バッテリー、またはAC電源、USB C）

バッテリー残量が15%以下になると、点字ディスプレイ上にバッテリーの状態が表示されます。バッテリー残量が5%以下になると、ブレイルエモーション40はバッテリー残量が5%以下であることを示す警告を表示し、電源に接続しない限り、1分後に自動的にスリープ状態になります。レベルが2%に達すると、自動的に機器の電源が切れます。

注：バッテリーが空のとき、本機は起動できません。この状態でブレイルエモーション40を電源に接続すると、本体が充電中であることと、充電のパーセンテージが点字で表示されます。これは、デバイスを起動する前に数分間充電する必要があることを知らせるためのものです。

デバイスを起動する前に、約5%まで充電することをお勧めします。充電状態が表示されたら、電源キーを約5秒間押し続けます。

ブレイルエモーション40を初めて使用する前に、バッテリーを最低3時間充電してください。初回充電中に本機を使用することもできますが、その場合は、バッテリーを完全に充電するために、本機を少なくとも3時間電源に接続したままにすることをお勧めします。

ブレイルエモーション40は、USB C充電器で充電できます。Quik Chargeの電源仕様に対応しており、付属の電源アダプターを使用して約2.5時間で充電できます。ただし、充電時間は使用する充電器の電源仕様によって異なります。

ブレイルエモーション40は、1回の充電で平均約20時間動作します。ただし、バッテリーの持続時間は、USB機器が接続されているかどうか、メディアが再生されているかどうかなどによって大きく変わります。

## 音量とその他の設定の調整

ブレイルエモーション40の右側面にある音声コントロールキーとプラス・マイナスキーを使って、メディア再生、ガイド音声、文書読み上げ音声の音量を調整できます。そのほか、再生速度やメディアのイコライザーなど、さまざまな設定を変更可能です。

設定を調整するには、プラスキーのすぐ上にある音声コントロールキーを、変更したい設定項目が見つかるまで繰り返して押します。次に、プラスキーとマイナスキーを使って、その設定値を増減します。

変更可能な設定は使用している機能によって変化しますが、本機の主音量はいつでも変更できます。以下に、本機の各機能と、それを使用中に変更できる音声設定を示します。

1) ホームメニュー：ガイド音声のボリューム、速度、トーン

2) メディアプレーヤー：再生音のボリューム、速度、イコライザー

3) 文書リーダー、DAISYプレーヤーでのテキストDAISY再生時：読み上げ音声のボリューム、速度、トーン

4) DAISYプレーヤーでの音声DAISY再生時：DAISY音声のボリューム、速度

注：プラス・マイナスキーを5秒間操作しないと、現在聞いているコンテンツの音量を変更する状態に戻ります。このとき、短いビープ音が聞こえます。音声コントロールキーを長押しすると、その時点で変更可能な音声設定をすべて初期状態に戻すことができます。

マイナスキーを長押しすると、バッテリー残量と充電状態を読み上げます。プラスキーを長押しすると、現在時刻を読み上げます。

## 音声と点字の使用

ブレイルエモーション40は、点字と音声のいずれか、または両方で情報を出力できます。ただし、点字と音声の両方をオフにすることはできません。

Backspace-F2で、音声のオンとオフを切り替えます。

Backspace-F3で、点字のオンとオフを切り替えます。これらの設定は、点字設定や音声設定で変更することもできます。

## 文字入力

点字文書では、漢字、英語、カタカナ、ひらがなの区別はありません。入力や編集は、すべて点字セル単位で行われます。

### 点字文書の入力方法

点字文書では、漢字、英語、カタカナ、ひらがなの区別はありません。入力や編集は、すべて点字セル単位で行われます。

### テキスト文書の入力方法

テキスト文書では、入力する文字種に応じて適切な入力モードを選択する必要があります。入力モードには、「日本語変換」、「日本語」、「英語全角」、「英語」があり、これらはF2-F4を押して切り替えます。また、F1-F3を押すと、使用頻度の高い「日本語変換」と「英語」を切り替えることができます。

1) 日本語の入力

テキスト文書では、「日本語変換」の入力モードで漢字変換を使用するのが基本です。データを入力してSpaceを押すと、変換候補リストが現れます。Space、Alt、Space-4のいずれかで次の候補、Control、Space-1のいずれかで前の候補を選択できます。正しい候補が見つかったら、Enterを押して確定します。

文節単位でも候補リストを呼び出せますが、文章全体を入力して候補リストを呼び出すこともできます。この場合、最初にSpaceを押すと文章全体の変換結果が表示されますが、入力した内容は自動的に文節ごとに分割されています。Space-3またはSpace-6を押すと、1文節ずつカーソルが移動し、選択した文節のみを表示します。選択した文節の変換候補を変更する操作は、文節ごとに入力・変換を行う場合と同じです。Enterを押すと、文章全体の変換を確定します。

同じ単語の変換候補リストを呼び出した場合、最近使用した変換候補が先に表示されます。

Spaceを押して候補リストを呼び出す前は入力した内容の修正ができますが、候補リストが開いている状態では内容の修正はできません。候補リストを呼び出してから、その前の状態に戻りたい場合はF4を押してください。

なお、入力モードが「日本語」に設定されていると、ひらがな入力になります。

2) 英語の入力

入力モードが「英語」や「英語全角」の場合、英語1級、英語2級、NABCC（後述）で入力できます。英語を入力する際の点字入力方式と、点字ディスプレイの英語点字表示方式は連動しており、点字設定の「英語点字モード」で設定できます。なお、英語点字モードはSpace-Gを押すことでも変更できます。

一方、点字設定には「英語点字規則」という項目があります。これは、統一英語点字（UEB）を使用するための設定です。しかし、現状はUEBによる入力をサポートしていないため、この設定は点字表示にのみ影響します。

初期状態では、英語点字モードは1級、英語点字規則はUSに設定されています。

初期状態では、英語点字モードは1級、英語点字規則はUSに設定されています。

3) 英語入力モードでの記号の入力

1級では通常の英文字に加えて多くの記号が入力できますが、2級では入力できない記号があります。

以下に1級で入力可能な記号を記します。

※\を入力すると画面上の表示は＼（バックスラッシュ）となります。

! 2-3-5

" 3-5-6

# 1-4-6

$ 1-4-5-6

% 1-2-4-5-6

& 1-2-3-4-6

' 3

( 1-2-3-5-6

) 2-3-4-5-6

\* 1-6

+ 3-4-6

, 2

- 3-6

. 2-5-6

/ 3-4

: 2-5

; 2-3

< 3-5

= 1-2-3-4-5-6

> 2-6

? 2-3-6

@ 2-4-6

{ 1-2-6

\ 1-2-4-6

} 3-4-5

\_ 4-5-6

| 1-2-5-6

~ 4-5

4) コンピュータ点字の入力

コンピューターエディットボックスでは、日本情報処理点字またはNABCC（後述）で文字を入力します。入力方法は、点字設定で変更できます。日本情報処理点字での記号の入力方法は、英語1級と同じです。

5) 無変換（NABCC）について

英語やコンピューター点字の入力方法として「無変換（NABCC）」を選択した場合の入力方法を説明します。この状態では、すべての文字は点字1文字で表します。

小文字の英字は通常の英語1級点字と同じです。大文字を入力するときは、Space-uで大文字モードにしてから、小文字と同じ英語1級点字を入力します。大文字を続けて入力するには、Space-uを2度連続して押します。小文字モードにもどすには再びSpace-uを押します。

数字は、数符を付けずに下がり数字で入力します。

その他の記号には、小文字モードで入力できるものと、大文字モードで入力できるものがあります。

小文字モードで入力できるもの：

! 2-3-4-6

" 5

# 3-4-5-6

$ 1-2-4-6

% 1-4-6

& 1-2-3-4-6

' 3

( 1-2-3-5-6

) 2-3-4-5-6

\* 1-6

+ 3-4-6

, 6

- 3-6

. 4-6

/ 3-4

: 1-5-6

; 5-6

< 1-2-6

= 1-2-3-4-5-6

> 3-4-5

? 1-4-5-6

` 4

{ 2-4-6

| 1-2-5-6

} 1-2-4-5-6

~ 4-5

大文字モードで入力できるもの：

@ 4

[ 2-4-6

\ 1-2-5-6

] 1-2-4-5-6

^ 4-5

\_ 4-5-6

## マルチタスク

ブレイルエモーション40は、複数のタスクを同時に実行できます。たとえば、音楽を聴きながらノートパッドで作業をする、電卓で計算した結果をノートパッドの文書に書く、といったことが可能です。これを行うには、まずメディアプレーヤーを開き、音楽ファイルを再生します。再生中に ホームキーを押してプログラムメニューを表示し、ノートパッドを起動します。

起動しようとしたプログラムがすでに実行中の場合、同じプログラムが新たに起動することはありません。たとえば、ノートパッドで「notes」という文書を開いて作業しているときに、ファイル管理を開き、「journal」という文書を選択してEnterを押したとします。すると、新たにノートパッドが開くのではなく、「notes」を開いているのと同じノートパッドで、「journal」が開きます。ノートパッドで複数の文書を開いている状態では、F3とSpace-F3で文書を切り替えられます。文書の切り替えについては、第5章で詳しく説明します。

現在実行中のプログラムを切り替えるには、F1-F4を押すか、ホームキーを素早く2回押して、タスクリストを開きます。タスクリストには、現在実行中のすべてのプログラムがリスト形式で表示されます。任意のアプリケーションに切り替えるには、そのアプリケーションに移動してEnterを押します。選択したアプリケーションを強制的に終了するには、Space-Dを押します。すべてのアプリケーションを終了するには、F3を押して「すべて閉じる」ボタンに移動してEnterを押すか、Enter-Space-Dを押します。

ホームキーを押してプログラムメニューを表示させたり、F1-F4を押してタスクリストを開いたりした状態では、Escape（Space-eまたはF4）を押すことで前の画面に戻ります。

F2-F3を使えば、タスクリストを開かずに、実行中のすべてのプログラムを瞬時に切り替えることができます。これは、PCのalt-tabと同様です。3つのプログラムを実行しており、2番目のプログラムを操作しているときにF2-F3を押すと、3番目のプログラムに切り替わります。もう一度F2-F3を押すと、1番目ののプログラムに切り替わります。

Space-Zを押して現在開いているプログラムを閉じると、前のプログラムに切り替わります。実行中のプログラムが1つしかない場合は、Space-Zを押すとプログラムメニューに戻ります。

## キーロック

ブレイルエモーション40のキーを誤って押してしまうことのないよう、キーロックをかけることができます。これを行うには、ホームキーを長押しします。

ホームキーを長押しすると、ビープ音が聞こえます。このビープ音が鳴っている間にホームキーから指を離してください。ブレイルエモーション40は「キーロック」と通知します。これは、オン/オフスイッチを含め、機器のすべてのキーが無効になっていることを意味します。

キーロックを解除するには、もう一度ホームキーを長押しします。なお、ホームキーはデバイスの手前側に位置しているため、意図せず長押しされてしまう可能性があります。そのため、ホームキーが5秒以上押された場合、キーロックの切り替えは動作しません。

## 片手モード

ブレイルエモーション40には、点字入力を片手で行うための片手モードがあります。片手モードのオン/オフを切り替えるには、Backspace-1-2-3を押してください。また、一般設定ダイアログでも片手モードのオン/オフを切り替えることができます。

片手モードがオンの場合、以下の方法でテキストを入力します。

1. 文字を入力するには、その文字を構成する点の組み合わせを順に、あるいは同時に押します。すべての点を押したら、Spaceを押して文字の入力を完了します。たとえば「h」を入力する場合、1の点と2の点を別々に、または一緒に押してから5の点を押し、最後にSpaceを押します。
2. Spaceを含むコマンドを入力するには、点の組み合わせの前後にSpaceを押します。たとえば、Space-o（1-3-5の点）を入力するには、まずSpaceを押してから、1の点、3の点、5の点を別々に、または同時に押し、最後にもう一度Spaceを押します。
3. BackspaceやEnterを含むコマンドを入力するには、最初にBackspaceやEnterを押し、点の組み合わせを押し、最後にSpaceを押します。たとえば、Enter-l（1-2-3の点）を押すには、まずEnterを押し、1-2-3の点を押し、最後にSpaceを押します。
4. Space、Backspace、Enterを押すには、そのキーを2回押します。たとえば、単語と単語の間にスペースを入力するには、Spaceを2回押します。

スクロールキーとファンクションキーの操作は通常モードと同じです。

片手モードがオンの場合、電源を入れるたびにその旨と通常の操作に戻る方法を通知します。

## 入力モード

テキストを高速に入力していると、意図せずナビゲーションのコマンドを実行してしまうことがあります。そのような事態を避けるため、ナビゲーションのコマンドを無効にしたくなるかもしれません。「入力モード」をオンにするには、文書内でBackspace-Space-Enter-Mを押します。「入力モードの開始」と通知されます。

入力モードを使用中、たとえばSpace-4の点を押すと、次の行に移動する代わりに、スペースと4の点が文書に入力されます。

入力モードを解除するには、もう一度Backspace-Space-Enter-Mを押します。「入力モードの終了」と通知されます。入力モードを終了すると、ナビゲーションコマンドは通常の操作に戻ります。

## 特別な起動コマンド

ブレイルエモーション40には、指定した状態で機器を起動するためのホットキーがいくつか用意されています。たとえば、片手モードや通常モードでの起動、音声をミュートしての起動などがあります。これらの各コマンドは、完全な電源オフ状態から開始する必要があり、スリープモードから起動した場合は機能しません。

F1キーを押しながら電源を入れると、ミュート状態で起動します。F2キーを押しながら電源を入れると、ミュート解除状態で起動します。

F3キーを押しながら電源を入れると、片手モードで起動します。F4キーを押しながら電源を入れると、片手モードがオフの状態で起動します。

ホームキーを押しながら電源を入れると、ブレイルエモーション40のすべてのオプションが工場出荷時の設定に初期化されます。F3-F4を押しながら電源を入れると、内蔵フラッシュディスクがフォーマットされます。

# 点字ディスプレイのカスタマイズ

本機の「設定」メニューを使用すると、ブレイルエモーション40のオプション設定を必要に応じてカスタマイズできます。

設定メニューを開くには、ホームキーを押してメインメニューを表示し、Space-4で「設定」に移動してEnterを押します。または、メインメニューでSを押します。

設定メニューには、点字設定、音声設定、一般設定、時計設定、インターネット設定、Bluetooth接続、バックアップ/復旧オプション、クイックスタートガイド、設定の初期化があります。次のセクションでは、これらの各項目について詳しく説明します。

設定ダイアログでは、Space-1とSpace-4を使ってオプション間を移動します。オプションのオン・オフを切り替えたり、設定値を変更したりするには、SpaceとBackspaceを使用します。変更を保存するには、Enterを押すか、Tabで確認ボタンに移動してEnterを押します。「オプション保存完了」と表示し、前の状態に戻ります。変更を保存せずにキャンセルするには、F4キー、Space-EまたはSpace-Zを押します。

これらのメニューにある多くのオプションにはグローバルホットキーがあり、本機のどこからでもこれらの設定を調整できます。オプションにフォーカスがあるときにSpace-3-6を押すと、現在のダイアログ内で使用できるショートカットキーと、グローバルホットキー（存在する場合）を表示します。

Space-Oを押すと、本機のどこからでもオプションのサブメニューにアクセスできます。このホットキーを押すと、「点字設定」、「音声設定」、「一般設定」のサブメニューが表示されます。これらの設定は、機器全体に影響します。ただし、ノートパッド、文書リーダー、DAISYプレーヤーには、各プログラムに固有の読み上げ音声を設定できます。この機能を利用するには、各アプリの「ファイル」メニューにある「音声設定」を実行してください。

## 点字設定

点字設定ダイアログには以下の設定があります。各設定について、ショートカットキーは括弧内に、グローバルホットキーがある場合はカギ括弧内に表記します。

1) 点字表示：（B）。「Backspace-F3」。点字表示のオン／オフを切り替えます。

2) 点字カーソル：（C）。「F4-上スクロール」。カーソルが点字ディスプレイ上にどのように表示されるかを、常に表示、点滅、オフの間で設定します。ほとんどの場合、カーソルは7-8の点で表示されます。テキストを範囲選択しているときは、1-2-3-4-5-6-7-8の点の点滅で、選択範囲の終点を表します。

3) 8点モード：（E）。「F1-下スクロール」。無変換（NABCC）でテキストを表示する際、8点で表示するのか、6点で表示するのかを設定します。

4) 英語点字モード：（G）。「Space-Gまたはセンターキー」。英語を点字で表示する方法と、入力モードが英語や英語全角の場合の入力方法を設定します。選択可能な設定は、1級、2級、無変換（NABCC）です。

5) コンピューター点字：（U）。コンピューターエディットボックスでの点字の入出力方法を設定します。選択可能な設定は、日本情報処理点字と無変換（NABCC）です。

6) 入力モード：（N）。「F2-F4」。テキストを入力する際の文字種を設定します。日本語変換、日本語、英語全角、英語のいずれかを選択します。

7) 英語点字規則：（C）。「Center-Backspace、Center-Enter」。点字で英語を表示する際の点字体系を設定します。USにすると従来のアメリカ式英語点字（English Braille American Edition、EBAE）、UEBにすると統一英語点字（Unified English Braille、UEB）になります。この設定は、英語点字モードが無変換（NABCC）のときには効果がありません。また、英語を入力する際の入力方法には影響しません。

8) メッセージ表示時間：（M）。ブレイルエモーション40がシステムメッセージをどのように点字表示するかを設定します。1秒から10秒の間で指定した秒数が経過すると消えるように、あるいは非表示に設定できます。

9) 左側スクロールキー：（L）。「左側スクロールキーと左カーソルキー」。スクロールキーの動作を設定します。行スクロール、行移動、文単位で移動、段落移動、文字移動のいずれかを選択します。

10) 右側スクロールキー：（L）。「右側スクロールキーと右カーソルキー」。上記と同様ですが、右側のスクロールキーの動作を設定します。

11) カーソルキー：（K）。「左カーソル-右カーソル」。カーソルキーを単独で使用した際の移動単位を設定します。選択可能な設定は、上記のスクロールキーの設定と同じです。

## 音声設定

音声設定ダイアログには以下の設定があります。各設定について、ショートカットキーは括弧内に、グローバルホットキーがある場合はカギ括弧内に表記します。

1) 音声：（V）。「Backspace-F2」。音声出力のオン／オフを切り替えます。

2) 音声名：（T）。音声の種類を設定します。

3) スクロールボイス：（S）。スクロールキーを使ってテキストを読んでいるときに、ブレイルエモーション40がテキストを読み上げるかどうかを設定します。

4) 音声ボリューム：（L）。「Backspace-F1、Backspace-F4」。音声の音量を設定します。

5) 音声速度：（R）。「Space-F1、Space-F4」。音声の速度を設定します。

6) 音声トーン：（T）。「Enter-F1、Enter-F4」。音声の高さを設定します。

7) 記号レベル：（P）。この設定を使用して、句読点と記号をどのように読み上げるかを設定します。すべて、オフ、句読点、記号のいずれかを選択します。

8) キーボードエコー：（K）。文字入力時の読み方を設定します。文字と単語、文字、単語、オフのいずれかを選択します。

9) 大文字の通知：（U）。文字を入力したり、文字単位でテキストを読み上げたりする際に、大文字アルファベットをどのように通知するかを設定します。選択可能な設定は、オフ、文字列、ピッチです。

10) 数値：（N）。数値の読み上げ方法を設定します。オンに設定すると、単位を付けて読み上げます。オフに設定すると、1文字ずつ区切って読み上げます。

注：音声ボリューム、音声速度、音声トーンは、前章で説明したように、音声コントロールキーとプラス・マイナスキーを使って変更することもできます。

## 一般設定

1) 主音量：（V）。「Backspace-SPACE-F1、Backspace-SPACE-F4またはプラス・マイナスキー」。機器全体の音量を設定します。この設定は、システムサウンド、オーディオ再生、読み上げなど、すべてに影響します。

2) 警告音：（A）。ブレイルエモーション40のさまざまな状況を、ビープで通知するのか、振動で通知するのか、ビープと振動の両方で通知するのか、まったく通知しないのかを設定します。

3) バッテリーの通知：（B）。バッテリー残量が少なくなった場合の通知方法を設定します。メッセージ、ビープ、最終メッセージ、最終ビープのいずれかを選択します。

4) 起動サウンド：（P）。ブレイルエモーション40の電源オン/オフ時に音を鳴らすかどうかを設定します。

5) 空行を飛ばす：（E）。テキストの移動中に空行を飛ばすのか、「空行」と通知するのかを設定します。

6) コントロール情報：（I）。リスト項目、メニュー、コンボボックスなど、コントロールの種類に関する情報の通知方法を設定します。前、後ろ、オフのいずれかを選択します。

7) パスワードを表示：（P）。パスワードの文字を表示するのか、隠すのかを設定します。

8) ホットキー情報：（H）。ホットキー情報をどのように表示するかを設定します。文字、点字キー、オフのいずれかを選択します。

9) ショートカットキー情報：（S）。メニューでショートカットキーを読み上げるかどうかを設定します。

10) スリープモード：（P）。一定時間ブレイルエモーション40を操作しなかった場合に、自動的に電源を切って電力を節約するように設定します。オン、オフ、メッセージのいずれかを選択できます。

11) スリープモード開始：（K）。スリープモードに入るまでの時間を、10分、20分、30分の間で設定します。

12) 片手モード：（H）。片手のみでブレイルエモーション40を操作できます。片手モードの詳細については、2.10節を参照してください。

13) ノートパッドの基本文書：（Q）。ノートパッドで作成する文書のファイル形式の既定値を、DOCX文書、センス文書、点字文書、テキスト文書の間で設定します。

14) 時計サーバーと自動同期：（T）。インターネットに接続した際に、日付と時刻を自動的に調整するかどうかを設定します。

15) 時刻の通知：（T）。5分ごと、10分ごと、30分ごと、または1時間ごとに時刻を通知するように設定します。

16) 進行率表示：（P）。文書を開いたり、ファイルをコピーしたりといった作業の進行状況をどのように表示するかを設定します。オフ（進行状況の表示なし）、ビープ（作業の実行中に連続したビープ音を再生）、メッセージ（進行状況をパーセンテージで表示）のいずれかを選択します。

17) 接続モードでオーディオを送信：（B）。本機をBluetooth点字ディスプレイとして使用する際に、接続先デバイスの音声をブレイルエモーションから出力するかどうかを設定します。

## 時計設定

ブレイルエモーション40の時計を設定するには、「設定」メニューを開き、「時計設定」でEnterを押すか、Tを押します。F3-Tを押すと、本体のどこからでも時計設定ダイアログを開くことができます。

時計設定ダイアログは、タイムゾーン、時間制、時刻、日付の表示形式、日付、時計サーバーと同期、確認ボタン、閉じるボタンで構成されています。これらの項目は、F3またはSpace-F3を押すことで移動できます。

時計設定を起動すると、「タイムゾーン：」に続けてデフォルトのタイムゾーンが表示されます。Space-1とSpace-4、またはタイムゾーンの最初の文字を入力して希望のタイムゾーンを選択してください。完了したら、F3で次の項目に移動します。

次の項目は「時間制」で、12時間表記と24時間表記が選択できます。Space-1とSpace-4で切り替えます。

次の項目は「時刻」です。時刻を入力するときは、時と分の間にスペースかコロンを入力します。

「時間制」で12時間表記を選択した場合、時・分の後に午前または午後が表示されます。Space-Xを押すと、午前と午後が切り替わります。

Tabを押すと「日付形式」に移動し、「短い」、「長い」のどちらの形式で日付を表示するのかを選択できます。短い形式は、日付を数字のみで表示します。長い形式は、「年」、「月」、「日」という言葉を表示します。Space-1とSpace-4で切り替えます。

次の項目は「日付」です。ここには、年、月、日をyyyy/mm/ddという形式で入力します。「年」は4桁、「月」は2桁、「日」は2桁で、スペースまたはスラッシュで区切ります。

次の項目は「時計サーバーと同期」で、インターネット上の時計サーバーと日時を同期させます。この機能は、ブレイルエモーション40の時計がずれている場合に非常に便利です。この機能を実行するには、ブレイルエモーション40がインターネットに接続されている必要があります。接続されたら、「時計サーバーと同期」ボタンでEnterを押してください。

日時情報を直接入力したくない場合は、以下のコマンドを使用します。

時刻を設定するとき：

1時間後に移動：Space-4

1時間前に移動：Space-1

10分後に移動：Space-5

10分前に移動：Space-2

1分後に移動：Space-6

1分前に移動：Space-3

日付を設定するとき：

次の日に移動：Space-6

前の日に移動：Space-3

次の週に移動：Space-5

前の週に移動：Space-2

次の月に移動：Space-4

前の月に移動：Space-1

次の年に移動：Space-5-6

前の年に移動：Space-2-3

すべての入力が完了したら、Enterを押すか、Tabで確認ボタンに移動してEnterを押します。設定が保存され、「設定」メニューに戻ります。

## インターネット設定

「インターネット設定」は、ブレイルエモーション40の無線LAN接続を設定する機能です。

インターネット設定を起動するには、「設定」メニューを開き、「インターネット設定」でEnterを押すか、Iを押します。F3-Iを押すか、キーボードの左上にあるWi-fiキーを長押しすることで、本機のどこからでもインターネット設定を開くことができます。

### 無線LANの設定

無線LAN接続を設定する前に、無線LANがオンになっていることを確認してください。Wi-fiキーを短く押すことで、ブレイルエモーション40のどこからでも無線LANのオン/オフを切り替えることができます。また、無線LANがオフの状態で無線LANの設定をしようとすると、自動的にオンになります。

「無線LAN」ダイアログには、「アクセスポイント」リスト、「詳細」ボタン、「オプション」ボタン、「閉じる」ボタンがあります。F3またはSpace-F3を押すことで、これらのコントロールの間を移動できます。無線LANがオンになっていない場合、「アクセスポイント」リストには「リストなし」と表示されます。

無線LANがオンの場合、このリストには、周囲にある無線LANの「アクセスポイント」（ネットワーク）が表示されます。「アクセスポイント」リストには、各項目の「アクセスポイント名」、「暗号化」、「信号強度」が表示されます（例：linksys、暗号化：WEP、信号強度：強い）。リストに複数のアクセスポイントがある場合は、Space-1やSpace-4を押してアクセスポイント間を移動できます。接続したいアクセスポイントまで移動し、Enterを押してください。アクセスポイントが暗号化されていない場合、ブレイルエモーション40は「（アクセスポイント名）に接続中」と通知します。接続に成功すると、接続音が鳴ります。ネットワークが暗号化されていて、ネットワークキーが必要な場合は、アクセスポイントでEnterを押すと「ネットワークキー」のエディットボックスが表示されます。コンピューター点字でネットワークキーを入力し、Enterを押してください。設定が正しければ、「プロファイル設定完了」と表示され、接続音が鳴ります。

「詳細」ダイアログは、既存のプロファイルを変更したり、新しいプロファイルを手動で追加したり、既存のプロファイルの設定を確認したりするために使用します。無線LANがオンの状態で「詳細」ボタンに移動してEnterを押すと、ブレイルエモーション40に保存されている無線LANプロファイルの一覧が表示されます。

「詳細」ダイアログには、「プロファイル」リスト、「接続」ボタン、「追加」共通ダイアログボタン、「削除」ボタン、「プロパティ」共通ダイアログボタン、「閉じる」ボタンの6つのコントロールがあります。これらのコントロールは、F3またはSpace-F3を押すことで移動できます。Space-1とSpace-4を使ってプロファイルリストの項目を移動します。ボタンに移動してEnterを押すと、そのボタンがアクティブになります。

SSIDが非表示に設定されている場合、「アクセスポイント」リストには表示されません。そのようなネットワークに接続したい場合には、「追加」ボタンを使って、手動でプロファイルを追加します。「追加」ダイアログには6つのコントロールがあります。

1) 「ネットワーク名（SSID）」コンピューターエディットボックス：ネットワークのIDをコンピューター点字で入力します。

2) セキュリティー：Spaceを使って、ネットワークのセキュリティーの種類を選択します。

3) セキュリティーの種類を「None」、「Enhanced Open」以外に設定した場合、次の項目はパスワードの入力です。コンピューター点字でパスワードを入力し、次に進んでください。

4) 次の項目は、より詳細な設定を表示するかどうかを決めるチェックボックスです。これをチェックすると、以下の項目が表示されます。

A) IP設定：自動（DHCP）または手動（固定）のいずれかをSpaceで選択します。デバイスに特定のIPアドレスを設定する必要がある場合は「手動」を選択してください。「手動」を選択してTabを押すと、情報を入力するためのエディットボックスが表示されます。

5) 確認ボタン：このボタンでEnterを押すと、設定が保存されます。

6) 取り消しボタン：このボタンを選択すると、設定をキャンセルできます。

プロファイルリストでプロファイルを削除するには、削除したいプロファイルを選択してRを押すか、Tabで「削除」ボタンに移動してEnterを押します。

プロファイルリストで選択したプロファイルの情報を確認するには、Tabで「プロパティ」ボタンに移動してEnterを押します。「プロパティ」ダイアログでは、各プロファイルの情報を再確認したり、変更したりできます。

「詳細」ダイアログを終了するには、Space-EまたはSpace-Zを押します。

「オプション」ダイアログでは、ブレイルエモーション40がどのようにワイヤレスネットワークをスキャンして検出するかを設定します。Spaceを使用してダイアログ内のオプションを設定し、Enterを押して設定を保存します。

最初のオプションでは、Wi-fiを自動的にオンにするかどうかを選択できます。2つ目のオプションでは、ネットワークが利用可能になったときに通知を受け取るかどうかを選択できます。

## Bluetooth接続

ブレイルエモーション40はBluetoothに対応しており、ケーブルなしでBluetooth対応のヘッドセットやスピーカーに接続できます。また、ブレイルエモーション40を互換性のあるスクリーンリーダーの点字ディスプレイとして接続できます（第6章を参照してください）。従来の無線LAN（WLAN）とは異なり、これらのネットワークは約30フィート以下に制限されています。Bluetoothでは、このワイヤレス接続を介してさまざまな情報を交換できます。

キーボードの左上にある「Bluetooth」キーを押すことで、本機のどこからでもBluetoothのオン/オフを切り替えられます。

プログラムメニューからBluetooth接続にアクセスするには、まず「設定」メニューに移動してEnterを押します。次に、「Bluetooth接続」に移動してEnterを押してください。なお、F3-Mを押すと、本機のどこからでもBluetooth接続を起動できます。

Bluetoothデバイスリスト

Bluetooth接続を起動すると、2つの項目があるダイアログが表示されます。1つがペアリングされたデバイスのリスト、もう1つが使用可能なデバイスをスキャンするための「検索」ボタンです。近くにBluetoothが有効になっているヘッドセットがある場合、ブレイルエモーション40はそれらの検索を試みます。範囲内のすべてのBluetoothデバイスを検出するのに30～40秒かかることがあります。ブレイルエモーション40は、「検索開始」と通知し、スキャンの進行状況を示すために、点字ディスプレイのすべての点を表示します。

Bluetoothデバイスが検出されると、ブレイルエモーション40は「（Bluetoothデバイス名）デバイスが見つかりました」と通知します。

注：ブレイルエモーション40がBluetoothデバイスをスキャンしている間は、キーを押しても反応しません。また、一度開始したスキャンをキャンセルすることはできず、通常の操作に戻るには、スキャンが完了するのを待つ必要があります。

スキャンが完了すると、Bluetoothデバイスリストが表示されます。ブレイルエモーション40が範囲内に他のBluetoothデバイスを見つけた場合、それらがリストに表示されます。

範囲内に他のBluetoothデバイスがない場合、ブレイルエモーション40は「リストなし」と通知します。Space-1またはSpace-4を押して、リストを移動します。リストからデバイスを選択するには、Enterを押します。

Bluetoothデバイスと接続すると、接続設定がブレイルエモーション40に自動的に保存されます。この情報を削除したい場合は、リストで削除したいデバイスに移動してSpace-Dを押します。ブレイルエモーション40は「プロファイルを削除しました」と通知します。設定の削除は選択したデバイスにのみ適用されます。

BluetoothデバイスリストでF2を押すと、メニューにアクセスできます。Bluetoothデバイスリストのメニューには、「検索」、「デバイスを削除」、「閉じる」があります。メニュー項目間の移動にはSpace-1とSpace-4を使います。

最初のメニュー項目は「検索」で、他のBluetoothデバイスのスキャンを開始します。この項目を実行するには、メニューの「検索」でEnterを押すか、Enter-Rを押します。

次のメニュー項目は「デバイスを削除」です。この項目では、現在のデバイスの接続設定を削除することができます。メニューの「デバイスを削除」でEnterを押すか、Space-Dを押して実行します。

メニューの最後の項目は「閉じる」です。このオプションは、Bluetooth接続のプログラムを終了します。この項目を実行するには、メニュー内の「閉じる」でEnterを押すか、Space-Zを押します。

Bluetoothサービスリスト

接続したいBluetoothデバイスが検索されたら、BluetoothデバイスリストでSpace-1またはSpace-4を押してそのデバイスに移動し、Enterを押してください。「検索開始」と通知されます。ブレイルエモーション40は、スキャン中にキーを押しても反応しません。

サービスを認証して接続するには、サービスでEnterを押します。「接続中」と通知します。接続に成功すると、音声がBluetoothヘッドセットまたはスピーカーに転送されます。

## バックアップ/復旧オプション

ブレイルエモーション40をハードリセットしたり、設定の初期化を実行したりすると、オプション設定と各プログラムの設定は既定値に初期化されます。設定のバックアップを作成していれば、ハードリセット後にオプション設定を復元することができます。

この機能は、「設定」メニューでKを押すと実行できます。また、F3-Kを押すことで、本体のどこからでもバックアップ/復旧オプションを起動することができます。

バックアップ/復旧ダイアログには、プログラムオプションのチェックボックスリスト、「すべて選択」ボタン、「バックアップ」ボタン、「復旧」ボタン、「閉じる」ボタンがあります。プログラムオプションのチェックボックスリストでSpace-1またはSpace-4を押すと、チェックボックス間を移動することができます。F3またはSpace-F3を押すと、ダイアログ内のコントロールの間を移動できます。

プログラムオプションのチェックボックスリストには、「一般設定」、「点字設定」、「音声設定」、「ファイル管理設定」、「ノートパッド設定」、「リーダー設定」、「メディアプレーヤー設定」、「レコーダー設定」、「Daisy設定」、「アラーム設定」があります。

このリストで、バックアップまたは復旧したいプログラムオプションに移動し、Spaceを押して項目にチェックを入れます。もう一度Spaceを押すと、チェックを外すことができます。リスト内のすべてのプログラムオプションを選択するには、「すべて選択」ボタンでEnterを押します。

オプションを選択したら、「バックアップ」または「復旧」ボタンでEnterを押します。また、バックアップする場合はEnter-B、復旧する場合はEnter-Rを押してもかまいません。「バックアップ」ボタンを実行すると、バックアップファイルを保存するパスを選択するプロンプトが表示されます。デフォルトのパスに保存するか、別のパスを選択できます。通常のファイル/フォルダの移動コマンドを使用して、バックアップファイルを保存するフォルダに移動します。Spaceを押して保存先のフォルダまたはドライブを選択し、Enterを押してバックアップ処理を開始します。「復旧」ボタンを選択すると、復旧させたいバックアップファイルのパスを入力するプロンプトが表示されます。この場合も、通常のファイルおよびフォルダの移動コマンドを使用して、バックアップファイルが含まれるフォルダを選択します。バックアップがないフォルダを選択すると、バックアップファイルがないことを示すメッセージが表示されます。設定を復旧するには、Spaceを押してバックアップファイルのあるフォルダを選択し、Enterを押します。

## クイックスタートガイド

クイックスタートガイドは、ブレイルエモーション40とその機能を紹介し、基本的な環境設定の方法を説明するスタートウィザードを実行します。このガイドは、本機を初めて起動したときに自動的に起動します。設定メニューの「クイックスタートガイド」を選択すると、いつでも再度実行できます。

このガイドでは、本機の各部の名称、一般的なキー操作、時刻と日付の設定方法、オプションの設定方法について説明します。

## 設定の初期化

「設定の初期化」を使用して、ブレイルエモーション40を工場出荷時の設定に戻すことができます。

注：これにより、すべてのオプション設定が既定値にリセットされますが、データは消去されません。

「設定」メニューで「設定の初期化」に移動してEnterを押すか、Cを押すと起動します。

「設定を初期化しますか？」というプロンプトが表示されます。Spaceで「はい」か「いいえ」を選んでください。「はい」を選択すると、初期化が開始されます。「いいえ」を選択すると、この機能はキャンセルされ、「設定」メニューに戻ります。

この機能は、ブレイルエモーション40を完全にシャットダウンした状態から、ホームキーを押しながら起動することによっても実行できます。

# ファイルの管理

## 概要

メインメニューの最初の2つの項目は、ファイルの管理に関するものです。「マイエモーション」は、ブレイルエモーション40の内蔵フラッシュディスクで使用する主要なフォルダを表示します。メインメニューで「マイエモーション」を選択してEnterを押すか、Yを押すと、マイエモーションを開くことができます。

ブレイルエモーション40の「ファイル管理」の機能と構造は、PCの「Windowsエクスプローラー」に似ており、フラッシュディスク上のすべてのファイルとフォルダ、および接続されたUSBドライブやSDカードにアクセスできます。ファイル管理を起動するには、メインメニューでFを押すか、カーソルが「ファイル管理」にあるときにEnterを押します。F1-Fを押すことで、本機のどこからでもファイル管理を起動できます。Space-Zを押して、ファイル管理またはマイエモーションが閉じます。

いくつかの例外を除いて、マイエモーションとファイル管理は同じように動作します。両者の大きな違いは、マイエモーションの方がアクセスできるフォルダの範囲が狭いということです。本章の以降の文書では「ファイル管理」と表記していますが、特に断りがない限り、これらの記述はマイエモーションにも共通しています。

前述のように、マイエモーションを起動すると、「Books」、「Daisy」、「Documents」、「Music」という、内蔵プログラムで共通して使用するフォルダのリストが開きます。

ファイル管理を開くと、ドライブリストが表示されます。最初は、内蔵の「flashdisk」が選択されています。SDカードやUSBドライブが接続されている場合は、それもリストに表示されます。Space-1、Space-4、またはスクロールキーでドライブリストの項目を移動できます。開きたいドライブでEnterを押すと、そのドライブ上のファイル/フォルダのリストが表示されます。

ファイル管理の各操作には、メニューからアクセスする方法と、ホットキーによる方法が用意されています。メニューは、Space-MまたはF2を押すことで呼び出せます。この章とこのマニュアルの残りの部分では「F2」と表記しますが、どちらのキーを押してもかまいません。

Space-1とSpace-4を使用して、利用可能なメニューの間を移動します。メニューを開くには、Enterを押します。再度Space-1またはSpace-4を使用してメニュー内の項目を移動し、Enterを押してメニュー項目を実行します。

ファイル管理にはダイアログボックスもあります。ダイアログボックス内のコントロールは、PCのTabに相当する操作で移動できます。F3とSpace-4-5をTabに、Space-F3とSpace-1-2をShift-Tabに使うことができます。このマニュアルでは「F3」と「Space-F3」、または「Tab」と「Shift-Tab」と表記します。

### ファイルリストの移動

ファイル管理には2種類のリストがあります。1つはファイルリスト、もう1つはメニューリスト、つまりファイル管理のメニューに含まれる項目のリストです。ブレイルエモーション40のメニューは循環し、最後の項目でSpace-4を押すと、最初の項目に戻ります。一方、ファイルリストの最後の項目でSpace-4を押しても、それ以上移動しません。以下はリスト移動に使用するキー操作の一覧です。

注：以下のキー操作は、ブレイルエモーション40のどのリストでも使用できます。

1. 前の項目に移動：Space-1または上スクロールキー

2. 次の項目に移動：Space-4または下スクロールキー

3. リストの先頭に移動：Space-1-2-3

4. リストの最後に移動：Space-4-5-6

以下のキー操作は、ファイルリストでのみ有効です。

1. フォルダまたはファイルリストに移動：Space-5-6

2. ファイルリストとアドレスウィンドウ間の移動：Space-4-5またはF3/Space-1-2またはSpace-F3

3. 選択したフォルダやファイルを開く：Enter

4. 上位のフォルダに移動：Backspace

5. ドライブリストに移動：Space-1-2-5-6

6. 40項目前に移動：Page up（Space-1-2-6またはF1-F2）

7. 40項目次に移動：Page down（Space-3-4-5またはF3-F4）

8. フォルダ名またはファイル名の最初の文字を押すと、その文字で始まるフォルダやファイルに移動します。

フォルダとファイルの選択

1. 個々の項目を選択（Space）：項目の前に「\*」が表示され、選択されていることを示します。選択したフォルダまたはファイル上でもう一度Spaceを押すと、選択がキャンセルされます。
2. 連続して選択（Enter-b）：このコマンドを実行した場所からカーソルのある項目までを選択します。選択された項目の前に「\*」が表示されます。
3. すべて選択（Enter-a）：現在のリスト内のすべてのファイルとフォルダを選択します。Spaceを押して、選択と未選択を切り替えます。「すべて選択」コマンドを実行すると、選択されたファイルの数を通知し、選択された項目の前に「\*」が表示されます。

## ファイルとフォルダの操作

ドライブまたはフォルダの内容を表示する場合、引用符で囲まれた項目はフォルダで、引用符で囲まれていない項目はファイルです。

リスト項目には、「1/5」や「2/5」といった数字が続きます。項目の後に続く数字は、リスト内の位置と総数を表します。たとえば、「database 1/5」は、「database」が5つの項目を含むリストの最初のフォルダであることを示します。

### フォルダ間の移動

フォルダを開くにはいくつかの方法があります。

1. F2を押してメニューを開き、リストから「開く」を選択してEnterを押す。

2. ホットキー「Enter-O」を押して「開く」コマンドを実行する。

3. フォルダを選択した状態でEnterを押す。

現在のフォルダを閉じて上位のフォルダに戻るには、Backspaceを押します。

## ファイルメニュー

「ファイル」メニューを開くには、F2を押してメニューを表示し、「ファイル」でEnterを押します。通常のリストコマンドを使って希望のオプションに移動し、Enterを押します。

ブレイルエモーション40は以下のファイル形式をサポートしています。

1. 文書ファイル：hbl、brl、txt、brf、rtf、doc/docx、PDF、保護されていないEPUB。

2. ウェブフォーマット：html。

3. メディアフォーマット：ac3、asf、asx、m3u、mp2、mp3、MP4、ogg、pls、wav、wax、wma、wmv、flac。

4. DAISYフォーマット：DAISY 2.0、3.0、BookShare。

メニューには以下の項目があります。ショートカットは括弧内に、ホットキーはカギ括弧内に表記します。

1) 開く：（O）。「Enter-O」。選択したファイルを関連付けられたアプリケーションで開きます。

2) 文書リーダーで開く：（K）。「Backspace-R」。サポートされている文書形式にのみ表示されます。デフォルトのノートパッドではなく、読み取り専用の文書リーダーでファイルを開くことができます。

3) プログラムから開く：（E）。「Enter-E」。フォルダ全体をDAISYプレーヤーやメディアプレーヤーで開きます。また、公式にはサポートされていないテキスト形式のファイル（プログラムのコードなど）をノートパッドで開くこともできます。

4) 圧縮：（Z）。「Enter-Z」。現在のファイルまたはフォルダを圧縮します。

5) 展開：（U）。「Enter-U」。圧縮ファイルでのみ表示されます。現在のファイルを解凍します。

6) 送る：（S）。「Enter-S」。現在のファイルまたはフォルダを別の場所に送ることができます。ターゲットには、接続されているドライブが表示されます。

7) 名前の変更：（R）。「Enter-R」。現在のファイルまたはフォルダの名前を変更します。

8) 新規文書：（N）。「Enter-N」。DOCX、DOC、TXT、BRL、またはHBL形式で新しい文書を作成します。

9) 新しいフォルダ：（F）。「Enter-F」。新しいフォルダを作成します。

10) ファイル変換：（T）。「Enter-T」。選択した文書ファイルをTXT、BRL、またはHBL形式に変換します。

11) ファイル検索：（F）。「Space-F」。現在のドライブまたはフォルダから、指定した名前のファイルを検索します。

12) 文字列検索：（F）。「Backspace-F」。現在のドライブまたはフォルダにあるWord、テキスト、点字ファイルから、指定したテキストが書かれているものを探します。

13) ファイル結合：（M）。「Enter-M」。選択した2つ以上のテキストファイルまたは点字ファイルを結合します。

14) ファイル分割：（P）。「Enter-P」。テキストファイルまたは点字ファイルを、段落単位、単語単位、一定サイズ、または指定したファイル数に分割します。

15) 情報：（I）。「Enter-I」。現在のファイルまたはフォルダの基本的な情報を確認できます。

16) 閉じる：（Z）。「Space-Z」。ファイル管理を閉じます。

## 編集メニュー

編集メニューには以下の項目があります。

1) コピー：（C）。「Enter-C」。選択したファイルまたはフォルダをクリップボードにコピーします。

2) 切り取り：（X）。「Enter-X」。選択したファイルまたはフォルダをクリップボードに切り取ります。

3) 貼り付け：（V）。「Enter-V」。クリップボード上のファイルまたはフォルダを現在の場所に貼り付けます。

4) 削除：（D）。「Space-D」。選択したファイルまたはフォルダを削除します。

5) すべて選択：（A）。「Enter-A」。リスト内のすべてのファイルとフォルダを選択します。

## 表示メニュー

表示メニューには以下の項目があります。

1) ファイル並べ替え：（G）。「Enter-G」。ファイルやフォルダの表示順を設定します。

2) ファイル情報設定：（L）。「Enter-L」。リスト内の各ファイルまたはフォルダについて、どのような情報を表示するかを設定します。

3) 特定の種類のファイルのみを表示：（W）。「Enter-W」。ファイルの種類によってファイルをフィルタリングします。

4) システムフォルダを非表示：（H）。「Enter-H」。ユーザーコンテンツを含まないAndroidシステムフォルダを非表示にします。これらは既定で非表示になっています。

5) 開始フォルダの設定：（S）。「Backspace-S」。ファイル管理の起動時に開く場所を設定します。

## アドレスウィンドウの使用

注：以下の操作は「ファイル管理」でのみ有効です。

このエディットボックスに、開きたいファイルのパスを直接入力します。このウィンドウには履歴リストもあり、最近開いたファイルやディレクトリーに簡単にアクセスできます。

ファイルやフォルダのリストでTab（Space-4-5）を押すと、アドレスウィンドウに移動することができます。「flashdisk/download/」のように、ドライブ名を含む現在のパスが表示されます。アドレスウィンドウは、ドライブリストでは使用できません。

タッチカーソルキーでカーソルを移動し、カーソル位置にテキストを挿入できます。正確なパスとファイル名がわかっている場合は、パスとファイル名を入力して、適切なアプリケーションでファイルを開くことができます。たとえば、アドレスウィンドウに「flashdisk/download」と入力してEnterを押すと、Downloadフォルダ内のファイルのリストが表示されます。また、「flashdisk/Documents/sample.txt」と入力してEnterを押すと、ノートパッドで「sample.txt」というファイルが開きます。

アドレスウィンドウでSpace-1やSpace-4を押すと、履歴リスト（最近開いたファイルやフォルダのパスのリスト）を確認できます。履歴リストのファイルを開くには、Enterを押します。ファイルは適切なアプリケーションで開きます。

# ノートパッド

ブレイルエモーション40のノートパッドは、RTF、TXT、HBL、BRL、BRFファイル、およびフォーマットされていないDOCXファイルの読み込みと作成、PDF、EPUB、DOCX、DOCファイルの読み込みが可能です。

注：ノートパッドでWord文書を開くことはできますが、文書の書式はすべて削除されます。ノートパッドでの文書内の移動や検索の応答時間は短縮されますが、Word形式で文書を保存すると、すべての書式が失われます。

ノートパッドは、いくつかの方法で起動できます。

F1を押してメインメニューを開き、Space-4を使って「ノートパッド」に移動し、Enterを押します。また、メインメニューでNを押すと、素早くノートパッドを開くことができます。

F1-Nを押すことで、本機のどこからでも「ノートパッド」を起動できます。

ブレイルエモーション40でノートパッドを起動すると、新しい空白の文書が開きます。メニューまたはホットキーを使用して、ノートパッドのすべての機能を使用できます。ノートパッドのメニューは、ファイル、編集、挿入、移動、読み上げ、レイアウトで構成されています。これらのメニューにアクセスするには、Space-MまたはF2を押します。Space-1またはSpace-4でメニュー項目を選択し、Enterを押します。または、Space-MまたはF2の後に、対応するメニュー項目のショートカットを押してください。

Space-1とSpace-4、または上下スクロールキーを使用して、メニュー、設定、ファイルリスト内を移動します。Space-4-5とSpace-1-2、またはF3とSpace-F3を使用して、ダイアログ内のコントロール間を移動します。

項目を実行するにはEnterを押します。

## ファイルメニュー

ファイルメニューには以下の項目があります。

1) 新規：（N）。新しい文書を作成します。デフォルトの名前は、ファイルを作成した日時です。書式なしのDOCXまたはDOCファイル、TXT、BRL、HBLファイルを作成できます。

2) 開く：（O）。「Enter-O」。既存のファイルを開きます。サポートされているファイルの種類については、本章の冒頭を参照してください。

3) 最近使ったファイル：（R）。「Backspace-Enter-H」。最近ノートパッドで開いたファイルを表示します。

4) 開かれた文書：（D）。「Backspace-Enter-O」。現在開いている文書を一覧表示します。これにより、TabやShift-Tabですべての文書を見る必要がなくなります。

5) 保存：（S）。「Enter-S」。現在のファイルを保存します。名前、場所、ファイルの種類をTabで選択します。別のフォルダを選択するには、ファイル管理と同様の操作を使用します。

6) 名前を付けて保存：（A）。「Space-S」。現在のファイルのファイル名、種類、または場所を変更して保存します。HPFファイル形式を選択することにより、ファイルをパスワードで保護することもできます。

7) 現在の文書を閉じる：（Q）。「Space-Q」。複数の文書を開いている場合にのみ表示されます。この項目を実行すると、現在のファイルのみを閉じます。

8) 設定：（E）。「Enter-E」。さまざまな文書オプションを設定するダイアログが開きます。このダイアログは、各設定項目と、確認と取り消しのボタンで構成されています。設定項目には、フォーマット文字の確認、Space-1とSpace-4の読み上げ単位、読み込み専用のオン/オフ、自動保存間隔、自動スクロールスピード、すべての文書に設定を適用、Home/End移動単位、新規ファイル名などがあります。F3とSpace-F3で設定項目を移動し、Space-1またはSpace-4で設定値を変更します。

9) 音声設定：（V）。「Backspace-V」。ノートパッド専用の読み上げ音声を設定できます。音声のオン/オフ、ボリューム、速度、トーンの設定ができます。F3およびSpace-F3を使用して設定間を移動し、Space-1およびSpace-4を使用して設定値を変更します。Enterを押して変更を保存します。

10) 閉じる：（Z）。「Space-Z」。ノートパッドを閉じます。

※ブレイルエモーション40では、他人に開かれたくないファイルを暗号化し、パスワードで保護することができます。文書を保護されたファイルとして保存する前に、「ファイル」メニューの「設定」でパスワードを設定する必要があります。「パスワードの設定」ダイアログには、「オリジナルファイルを削除」チェックボックス、「パスワード」エディットボックス、「パスワードの再入力」エディットボックス、「確認」ボタン、「取り消し」ボタンがあります。パスワードの設定後は、名前を付けて保存ダイアログで、ファイルの種類としてHPFを選択します。

## 編集メニュー

編集メニューには以下の項目があります。

1) 選択開始：（B）。「Enter-B」。範囲選択の開始位置を設定します。選択範囲の終わりはカーソル位置になります。

2) コピー：（C）。「Enter-C」。選択したテキストをクリップボードにコピーします。

3) 切り取り：（X）。「Enter-X」。選択したテキストをクリップボードに切り取ります。

4) 貼り付け：（V）。「Enter-V」。クリップボードのテキストを現在の位置に貼り付けます。

5) 削除：（D）。「Space-D」。選択したテキストを削除します。

6) 空行削除：（L）。「Backspace-E」。選択したテキストから空白行を削除します。

7) クリップボードに追加：（P）。「Enter-P」。選択したテキストを削除せずに、クリップボードに追加します。

8) クリップボードを空にする：（E）。「Enter-D」。クリップボードを空にします。

9) すべて選択：（A）。「Enter-A」。文書内のすべてのテキストを選択します。

10) 挿入/上書きモード切り替え：（I）。「Space-I」。テキストを入力したときに、そのテキストを現在の位置に挿入するか、現在のテキストを上書きするかを切り替えます。

## 挿入メニュー

1) マークを設定：（M）。「Enter-M」。現在のカーソル位置にマークを設定します。

2) マークへ移動：（J）。「Enter-J」。前に設定したマークに移動します。

3) マーク削除：（D）。「Backspace-D」。設定済みのマークを削除します。

4) ファイルから挿入：（I）。「Enter-I」。別のファイルからテキストを挿入します。

5) 日付の挿入：（W）。「Enter-W」。現在の日付を挿入します。

6) 時間の挿入：（T）。「Backspace-W」。現在の時刻を挿入します。

7) 改ページの挿入：（P）。「Backspace-Space-Enter-P」。改ページを挿入します。

8) タブの挿入：（T）。「Backspace-Space-Enter-I」。現在の位置に、スペース5個分のタブ文字を挿入します。

## 移動メニュー

1) 検索：（F）。「Space-F」。検索ダイアログを開きます。検索する文字列、大文字と小文字を区別するかどうか、検索方向を指定します。

2) 次を検索：（H）。「Enter-F」。前に入力した文字列を使って、後方に向かって検索します。

3) 前を検索：（V）。「Backspace-F」。前に入力した文字列を使って、前方に向かって検索します。

4) 検索と置換：（R）。「Enter-R」。文字列を検索し、別の文字列に置き換えるためのダイアログを開きます。検索方向、大文字と小文字を区別するかどうか、置換方法（最初に見つかった文字列のみを置換するのか、カーソル位置から末尾に向かって検索するのか、文書内のすべての文字列を置換するのか）を指定します。

5) 指定位置に移動：（L）。「Enter-L」。文書内の指定した場所に移動します。場所の指定には、ページ、段落、行、パーセンテージを使用できます。

6) 前の文へ：（E）。「Space-2-3-6」。1つ前の文に移動します。

7) 次の文へ：（X）。「Space-3-5-6」。次の文に移動します。

8) 前のページへ：（B）。「Space-1-2-6」。1ページ戻ります。

9) 次のページへ：（G）。「Space-3-4-5」。1ページ進みます。

10) 前の文書へ：（P）。「Shift-Tab」。複数の文書を開いている場合、ファイルを開いた順番に前の文書に移動します。

11) 次の文書へ：（N）。「Tab」。複数の文書を開いている場合、ファイルを開いた順番で次の文書に移動します。

## 5.5 読み上げメニュー

1) 選択したテキストを読み上げ：（B）。「Backspace-B」。選択したテキストを読み上げます。

2) 選択したテキストの先頭行を読み上げ：（U）。「Enter-U」。選択したテキストの先頭の行を読み上げます。

3) 先頭からカーソルまで読み上げ：（T）。「Backspace-G」。文書の先頭から現在のカーソル位置までを読み上げます。

4) カーソルから最後まで読み上げ：（Q）。「Enter-G」。現在のカーソル位置から文書の最後まで読み上げます。

5) 自動スクロール：（A）。「上スクロール-下スクロール」。自動スクロール機能の開始と停止を行います。自動スクロールの速度はファイルメニューの設定で変更できます。

6) 現在の文を読み上げ：（E）。「Space-1-4-5-6」。現在の文を読み上げます。

7) 現在の行を読み上げ：（L）。「Space-1-4」。現在の行を読み上げます。

8) 現在の単語を読み上げ：（W）。「Space-2-5」。現在の単語を読み上げます。2回押すとスペル読みします。

9) 現在の文字を読み上げ：（C）。「Space-3-6」。現在の文字を読み上げます。2回押すと詳細読みします。

10) カーソル位置の読み上げ：（R）。「Space-1-5-6」。現在のカーソル位置を、ページ数、段落数、単語数、行数で読み上げます。

11) 状態を読み上げ：（S）。「Space-3-4」。文書のタイトルと、挿入/上書きモードの状態を読み上げます。

12) 文字数を読み上げ：（I）。「Backspace-I」。カーソル位置の文字数と、文書全体の文字数を読み上げます。

## 5.6レイアウトメニュー

1) 点字段落レイアウト：（B）。「Backspace-1-2-4-6」。現在の段落の点字の書式を設定します。

2) 点字文書レイアウト：（P）。「Backspace-P」。点字印刷用の書式を設定します。この設定は、書式付きの点字ファイル（BRF形式）を作成するために用います。

# 接続

「接続」メニューでは、ブレイルエモーション40で確立したさまざまな点字ディスプレイ接続を管理し、切り替えることができます。「接続」メニューを開くには、メインメニューで矢印キーを使って「接続」に移動してEnterを押すか、Cを押します。

また、キーボードの左上にある「接続」キーを押すと、どこからでも「接続」を開くことができます。

「接続」を最初に開くと、USBレガシー接続、USB HID点字接続、またはBluetooth接続のいずれかを尋ねられます。Space-1とSpace-4で選択し、Enterを押します。USB接続のいずれかを選択すると、ターミナルモードになり、スクリーンリーダーを実行しているデバイスにUSBで接続すると点字ディスプレイ接続がアクティブになります。Bluetoothを選択した場合は、ペアリングモードになります。

2つのUSB接続タイプについては、使用しているスクリーンリーダーによってどちらが必要かが決まります。JAWS for Windowsでは、現在のところUSBレガシー接続を使用する必要があります。NVDAは、レガシー接続とHID点字接続の両方をサポートしています。古いMacコンピューターではレガシー接続を使用する必要がありますが、新しいAppleシリコン搭載のMacではHID点字接続を使用します。USB HID点字接続は、対応している携帯電話との接続にも使用します。

接続メニューの最後の項目は「ペアリングリスト」です。1度接続を確立したデバイスと再度接続するには、このリストか、または後述するショートカットを使用します。

ペアリング済みのデバイスがある場合、「接続」キーを短く押すとターミナルモードになり、最後に使用したデバイスに接続しようとします。接続できない場合は、ペアリングモードになります。「接続」キーを長く押すと、接続メニューが表示されます。

ブレイルエモーション40は、1つのUSB接続と5つのBluetooth接続をサポートしています。ペアリングリストでSpace-1またはSpace-4を押して利用可能な接続を移動し、Enterを押して切り替えます。

ペアリングリストを移動すると、各デバイスが現在選択されているのか、接続されていて切り替え可能な状態なのかを通知します。

ターミナルモードで接続キーとSpaceを一緒に押すと、ペアリングリストの次の接続に切り替わります。接続キーとBackspaceを一緒に押すと、ペアリングリストの前の接続に切り替わります。

接続中のデバイスを切断するには、Space-Dを押します。保存したペアリングを削除するには、Enter-Dを押します。

ターミナルモードでBluetooth接続を使用中、Center-Backspace-Uを押すとUSBレガシー接続に、Center-Enter-Uを押すとUSB HID点字接続に切り替わります。USB接続中にCenter-Enter-Bを押すと、Bluetooth接続に戻ります。

デバイスとの接続中にCenter-Lを押すと、ペアリングリストが開きます。Center-Cを押すと、ペアリングモードになります。

接続モードを終了してブレイルエモーション40の内蔵プログラムに戻るには、Backspace-Space-Zを押します。また、点字ディスプレイとしての接続を維持したまま、ターミナルモードと内蔵プログラムの操作を切り替えるには、CenterキーとSpaceを同時に押します。Center-Spaceを押すたびに、点字キーボードのコマンドがそれぞれの状況に応じて切り替わります。たとえば、内蔵プログラムを操作している状態でHomeキーを押すと、メインメニューが開きます。ターミナルモードに戻って同じキーを押すと、接続先デバイスのホーム画面やデスクトップが開きます。

## 接続の確立

USB接続を選択すると、すぐにターミナルモードになります。ブレイルエモーション40をコンピューターに接続すると、自動的に認識されます。ただし、スクリーンリーダーが実行され、HIMSの点字ディスプレイを使用するように設定されていない限り、点字出力は行われません。

USB HID点字接続でVoiceOverを使用する場合は、ブレイルエモーション固有のキーマップではなく、共通のVoiceOver点字コマンドを使用する必要があります。サポートされているコマンドのリストについては、本マニュアルの第14章を参照してください。

Bluetoothを選択すると、ペアリングモードが開始され、携帯電話またはPCとのBluetoothペアリングを行う必要があります。

Bluetooth接続では、接続機器の音声を直接ブレイルエモーションに送信し、音声と点字を同じ機器から出力することができます。音声を送信するかどうかは、ブレイルエモーションの「一般設定」にある「接続モードでオーディオを送信」オプションで切り替えます。初期状態ではオフに設定されているため、接続前にオンに変更しない限り、音声は送信されません。

以下は、音声を送信する際の注意事項です。

1. MacとiOSでは、オーディオに接続する前に確認メッセージに応答する必要があります。また、特にMacの場合、音声が少し遅れることがあります。

2. Androidでは、確認メッセージに応答する必要があることに加えて、電話のボリュームアップボタンを押すまで音が聞こえない、あるいは小さいことがあります。これはAndroidでBluetoothオーディオを使用する際の問題です。

3. Windowsについては、現時点でまだ対応作業中です。Windowsオペレーティングシステムのバージョンやデバイスの構成にはさまざまなものがあることから、この機能でのオーディオ出力には複数の要素が影響します。特に注意すべき点として、接続を開始するとWindowsに通知が表示されます。通知が聞こえなくても、Windowsの通知センターで通知が表示されているかどうか確認してください。また、通知を一度承認しても、音声の出力先が切り替わらないことがあります。そのような場合には、コンピューターのサウンド設定で、ブレイルエモーションをオーディオソースとして選択する必要があります。この通知はすぐに消えてしまうことから、何度かペアリングをやり直す必要があるかもしれません。今後のアップグレードでは、このプロセスの改善に取り組んでいきます。

接続が有効な状態でcenter-Enter-Aを押すと、音声送信のオン/オフを切り替えることができます。

以下のスクリーンリーダーでの動作を確認していますが、HIMSのBraille EDGEをサポートしているスクリーンリーダーであれば、ブレイルエモーション40も使用できます。

1) Jaws（Freedom scientific）

2) Supernova（Dolphin）

3) System Access（Serotek）

4) NVDA（NV Access）

5) Microsoft Narrator

6) MacおよびiOS用Voice over（Apple）

7) Android用BrailleBackおよびTalkBack Braille（Google）

## スクリーンリーダーへの接続

### USB経由でのPCへの接続

ブレイルエモーション40をUSB経由でJaws、SuperNova、NVDAなどのスクリーンリーダーに接続するには、以下の手順に従ってください。

注：ブレイルエモーションは最新の汎用USB接続を使用するため、ドライバーのインストールは必要ありません。

1) 「接続」キーを長押しして、接続メニューを開きます。

2) 接続するスクリーンリーダーに応じて、USBレガシーまたはUSB HID点字接続を選択します。「ターミナルモード」と表示されます。

3) ブレイルエモーション40をUSBケーブルでPCに接続します。

4) USB経由でスクリーンリーダーと点字ディスプレイを接続する手順に従って操作します。

### 6.2.2 Bluetoothシリアルポート経由でのPCへの接続

以下の手順では、スクリーンリーダーの点字ディスプレイとしてブレイルエモーション40を使用するための設定を説明します。始める前に、ブレイルエモーション40の電源が入っており、ペアリングモードになっていることを確認してください。ペアリングモードにするには、接続メニューを開き、Bluetoothを選択します。

すでに何らかの機器とBluetoothで接続されている場合には、Center-Cでペアリングモードを起動できます。

ブレイルエモーション40のBluetoothデバイス名を確認してください。

1) コントロールパネルを開きます。

2) 「デバイスとプリンター」を開きます。

3) Tabで「デバイスの追加」を選択し、Enterを押します。

4) Windowsがデバイスを検索し、リストに表示します。

5) 上下矢印キーでブレイルエモーション40に移動し、Enterを押します。

6) 新しいハードウェアが見つかったというメッセージが表示された後、Bluetoothデバイスが正常にセットアップされたことを表す最後のダイアログが表示されます。スクリーンリーダーをセットアップするときに必要になるため、Bluetooth COMポートを確認してください。

### 6.2.3 ブレイルエモーション40をJAWS for Windowsの点字ディスプレイとして使用する

ブレイルエモーション40を、Freedom Scientific社のJAWSで使用するには、次の手順に従います。

1) ブレイルエモーション40の電源が入っており、ターミナルモードになっていることを確認します。USBを使用している場合は、付属のUSBケーブルでブレイルエモーション40をコンピューターに接続します。

2) JAWSウィンドウに移動し、Altを押してメニューを開きます。

3) 「オプション」メニューでEnterを押します。

4) 上下矢印を使用して「点字」に移動し、Enterを押します。

5) 点字デバイスとしてHIMS Braille EDGEを選択します。

6) Tabで「詳細」に移動し、Enterを押します。

7) ポート選択で、USBで接続する場合はUSBを、Bluetoothを使用する場合は正しいComポートを選択します。

8) Tabで「OK」に移動し、Enterを押します。

9) 設定を有効にするにはJAWSを再起動する必要がある旨のプロンプトが表示されます。JAWS for Windowsを再起動すると、点字が表示され始めます。

### 6.2.4 ブレイルエモーション40をNVDAの点字ディスプレイとして使用する

ブレイルエモーション40を、無料のスクリーンリーダーであるNVDAで使用するには、次の手順に従います。

1) ブレイルエモーション40の電源が入っており、ターミナルモードになっていることを確認します。USBを使用している場合は、付属のUSBケーブルでブレイルエモーション40をコンピューターに接続してください。

2) 「NVDAキー-N」を押して、NVDAメニューを開きます。

3) 下矢印キーで「設定」に移動してEnterを押し、続けて「設定」でEnterを押します。

4) 下矢印キーで「点字設定」に移動し、Tabを押して点字プロパティページにアクセスします。

5) 点字ディスプレイのコンボボックスで「HIMS Braille Sense/Braille EDGE」を選択するか、「自動設定」に設定して自動的に検索するようにします。

6) Tabで「ポート」コンボボックスに移動し、正しく設定されていることを確認します。（NVDAは自動ポート検出を採用しているため、この設定を変更する必要はありません）

7) Tabでさまざまなコンボボックスの間を移動し、出力テーブルや入力テーブル、カーソルの設定などを変更します。上下の矢印を使用して、各コンボボックスの選択肢を移動します。

8) 設定が終わったら、TabでOKボタンに移動してEnterを押します。

注：ブレイルエモーション40の設定が保存され、今後NVDAを使用するたびにブレイルエモーション40が自動的に接続されるようにするためには、NVDAの「一般設定」で「終了時に設定情報を保存」がチェックされている必要があります。

### 6.2.5 ブレイルエモーション40をMacのVoiceOverで使用する

USB点字ディスプレイとして使用するには、ブレイルエモーション40の電源を入れ、接続メニューからUSB接続を選択した状態で、USBでMacに接続します。本機はすぐに認識され、VoiceOverの出力が点字ディスプレイに表示されます。

Bluetooth点字ディスプレイとして使用するには、ブレイルエモーション40をBluetooth接続モードにしてから、次の手順を実行します。

1. Vo-F8を押してVoiceOverユーティリティーを開きます。

2. 「カテゴリー」に移動し、Vo-Shift-下矢印を押して操作を開始します。

3. 「点字」に移動します。

4. Vo-Shift-上矢印を押して、「カテゴリー」グループの操作を中止します。

5. Vo-Rightを押して「ディスプレー」に移動し、Vo-Spaceで実行します。

6. 「追加」に移動し、Vo-Spaceで実行します。

7. VoiceOverが「Bluetoothデバイスを検索しています」と読み上げます。

8. 「Bluetoothデバイス」リストに移動し、Vo-Shift-下矢印を押して表の操作を開始します。

9. 「Braille EDGE」に移動し、Vo-Shift-上矢印を押して表の操作を中止します。

10. 「このデバイスを記憶」に移動し、Vo-Spaceを押してチェックボックスをオンにします。

11. 「選択」に移動し、Vo-Spaceを押して実行します。

VoiceOverがブレイルエモーション40に接続されたことを示すチャイムが聞こえ、点字ディスプレイ上にVoiceOverの出力が表示されます。

### 6.2.6 ブレイルエモーション40をiOSデバイスで使用する

iPhone、iPad、iPodのBluetooth点字ディスプレイとして使用するには、ブレイルエモーション40がBluetooth接続モードになっている状態で、以下の手順を実行します。

注：以下ではiPhoneについて説明していますが、互換性のあるすべてのiデバイス（iPhone 3Gs以降、iPad、iPod Touch 3G以降）で同じように使用できます。

i-Phoneの場合：

1) 「設定」→「アクセシビリティ」→「VoiceOver」→「点字」に移動します。

2) I-PhoneでBluetoothが有効になっていない場合、Bluetoothを有効にするよう促されます。Bluetoothを有効にすると、I-Phoneはデバイスを検索します。

3) 利用可能な点字デバイスのリストに、ブレイルエモーション40が「BrailleEDGE」という名前で表示されます。

4) 点字デバイスのリストからこの項目を選択し、ダブルタップします。

5) iPhoneでチャイムが鳴り、iPhoneに表示された文字がブレイルエモーション40の点字ディスプレイに表示されます。

### 6.2.7 ブレイルエモーション40をAndroidのTalkBackで使用する

TalkBackの点字ディスプレイとして使用するには、ブレイルエモーション40がBluetooth接続モードになっている状態で、以下の手順を実行します。

1) Android端末で、上、右にスワイプしてTalkBackメニューを開きます。

2) 右にスワイプして「点字ディスプレイの設定」に移動し、ダブルタップします。

3) 「点字ディスプレイを使用する」スイッチがオンになっていることを確認します。オンになっていない場合は、ダブルタップして変更します。

4) 右にスワイプしてリストからブレイルエモーション40を選び、ダブルタップします。

5) 「接続」ボタンに移動し、ダブルタップします。

6) チャイムが鳴り、ブレイルエモーション40に点字が表示されます。

## ターミナルクリップボード

注：ターミナルクリップボード機能が正しく動作するかどうかは、ご使用のスクリーンリーダーが点字キーボードからの文字入力をどのようにサポートしているかによって異なります。そのため、環境によっては期待通りの結果が得られない場合があります。あらかじめご了承ください。

ターミナルクリップボードを使用すると、ターミナルモードで接続したデバイスに文字入力をする際に、先にブレイルエモーション40でテキストを作成および編集することができます。これは、iデバイスでVoiceOverを使用するときなど、文字が変換される場合に便利です。

点字ディスプレイを使用する際、テキストの作成・編集が面倒な場合があります。ターミナルクリップボードを使えば、ブレイルエモーション40上でテキストを作成・編集し、完成したテキストを接続したPCやスマートフォンに送信することができます。

ターミナルクリップボードを開くには、点字キーの中央にある「Center」キーを押します。ブレイルエモーション40は「ターミナルクリップボード」と表示した後、エディットボックスを開きます。通常の編集コマンドを使ってテキストを入力・編集します。ターミナルクリップボードの使用中は接続されているコンピューターやiデバイスとの情報の送受信を一時的に停止するため、キー入力が接続先のデバイスに送られることはありません。

テキストの入力と編集の詳細については、本マニュアルの第5章「ノートパッド」を参照してください。PCやスマートフォンに送信したいテキストを入力し終えたら、Enter-Sを押してください。入力したテキストが接続先デバイスに素早く入力され、ブレイルエモーション40は接続機器と情報を送受信する状態に戻ります。

# 文書リーダー

文書リーダーを使用すると、ナビゲーション機能を備えた読み取り専用環境で、テキストベースのファイルを開くことができます。DAISYプレーヤーや読み取り専用モードで開いたファイルと同様の方法で、文書を読むことができます。

文書リーダーは、Txt、RTF、BRL、BRF、Doc、DOCX、PDF、EPUB、XML、HTM、HTMLのファイル形式をサポートしています。

メニューまたはホットキーを用いて、文書リーダーのすべての機能を使用できます。メニューには、ファイル、編集、移動、読み上げ、マークがあります。これらのメニューにアクセスするには、Space-MまたはF2を押します。Space-1またはSpace-4を使ってメニュー項目を選択し、Enterを押します。Space-MまたはF2の後に、対応するメニュー項目のショートカットを押すこともできます。たとえば、編集メニューを開くには、Space-MまたはF2を押してメニューを開き、Eを押します。

文書リーダーには、さまざまなリストや設定ダイアログもあります。Space-1とSpace-4、または上下スクロールキーを使って、メニューや設定、ファイルリストを移動します。Space-4-5とSpace-1-2、またはF3とSpace-F3を使用して、ダイアログ内のコントロール間を移動します。

## 基本的な文書内の移動

文書リーダーを初めて起動すると、初期状態では「開く」ダイアログが表示されます。文書リーダーの起動時に表示される内容は、後述の「起動時の設定」で変更できます。また、「ファイル」メニューから「開く」を選択するか、Enter-Oを押すことで、いつでも「ファイルを開く」ダイアログにアクセスできます。

「DOCUMENTS」フォルダ内のフォルダとファイルのリストが表示されます。通常のファイルとフォルダの移動コマンドを使って目的のファイルを探し、Enterキーを押します。

初期状態では、Enterキーを押して文書を開くと、最後にそのファイルを閉じた位置に移動します。文書の読み上げが自動的に開始するようにしたい場合は、7.2節で説明する「音声設定」でこの動作を変更できます。

文書を読んでいるときにEnterを押すと、自動読み上げモードと主導読み上げモードが切り替わります。自動読み上げモードでは、ファイルの内容が自動的に読み上げられ、それに伴って文書内を移動していきます。手動読み上げモードでは、文書内を移動したときにのみ、選択している箇所を読み上げます。

文書リーダーでの文書の読み上げでは、本章で説明する移動コマンドだけでなく、本マニュアルの第5章で説明した一般的な文書の移動コマンドも使用できます。

## ファイルメニュー

1) 開く：（O）。「Enter-O」。「ファイルを開く」ダイアログが表示されます。

2) 最近開いた文書：（R）。「Enter-R」。文書リーダーで最近開いた文書が一覧表示されます。読みたい文書の上でEnterを押してください。

3) ページ設定：（P）。「Backspace-P」。文書をページ単位で移動する際の移動量を設定します。「ページ設定」ダイアログには、「ページ行数設定」エディットボックス、「1行の文字数設定」エディットボックス、「確認」ボタン、「取り消し」ボタンの4つの項目があります。

4) 音声設定：（S）。「Enter-S」。文書の読み上げ方法を設定したり、音声をまったく使わないように設定したりできます。音声（オン/オフ）、既定の読み上げモード（自動/手動）、ボリューム設定、速度設定、トーン設定があります。

5) 文書の情報：（I）。「Enter-I」。文書全体に対する現在位置を確認できます。ページ、段落、文、行について、現在位置と合計が表示されます。また、現在読んでいる文書のタイトルも確認できます。

6) 起動時の設定：（E）。「Enter-E」。文書リーダー起動時の動作を設定します。「ファイルを開く」、「最近開いた文書」、「未使用」の選択肢があります。「未使用」に設定すると、起動時には何も表示しません。

7) ブックマークを保存して終了：（Z）。「Space-Z」。現在の文書で読んでいる位置を保存して、文書リーダーを終了します。

8) ブックマークを削除して終了：（Q）。「Enter-Z」。現在の文書に設定されたブックマークをすべて削除して、文書リーダーを終了します。

9) ブックマークを保存せずに終了：（C）。「Backspace-Z」。現在の文書で読んでいる位置を保存せずに、文書リーダーを終了します。

## 編集メニュー

1) 選択開始：（B）。「Enter-B」。クリップボードにコピーしたいテキストを選択します。選択範囲の終点は、Enter-Bで開始点を設定した後にカーソルを置いた位置になります。

2) コピー：（C）。「Enter-C」。テキストを選択後、「編集」メニューから「コピー」を実行するか、文書内でEnter-Cを押して、選択したテキストをコピーします。

3) クリップボードに追加：（P）。「Enter-P」。選択したテキストをクリップボードに追加するには、「編集」メニューから「クリップボードに追加」を選択するか、文書内でEnter-Pを押します。

4) クリップボードを空にする：（E）。「Enter-D」。クリップボード内のテキストを削除するには、「編集」メニューから「クリップボードを空にする」を選択するか、文書内でEnter-Dを押します。

5) すべて選択：（A）。「Enter-A」。現在の文書内のすべてのテキストを選択します。

## 移動メニュー

1) 検索：（F）。「Space-F」。文書内のテキストを検索します。検索ダイアログには、「検索文字列」、「検索方向」、「文字種判別」、「確認」ボタン、「取り消し」ボタンがあります。

2) 次を検索：（H）。「Enter-F」。前に入力した検索文字列を使って、後方に向かって検索します。

3) 前を検索：（V）。「Backspace-F」。前に入力した検索文字列を使って、前方に向かって検索します。

4) 指定位置に移動：（G）。「Enter-L」。指定したページ、段落、行に素早く移動します。

5) 見出しリストを開く：（T）。「Enter-T」。HTML、XML、またはEPUB文書を読んでいるときにのみ表示され、現在の文書内の見出しのリストを表示します。Space-1とSpace-4を使って見出しの間を移動し、Enterを押すと選択した見出しに移動します。

6) 前の見出しに移動：（P）。「Backspace-Space-2-3-5」。EPUB、XML、HTM、HTML、DOCX文書で前の見出しに移動します。

7) 次の見出しに移動：（N）。「Backspace-Space-2-5-6」。EPUB、XML、HTM、HTML、DOCX文書で次の見出しに移動します。

## 読み上げメニュー

1) 選択したテキストを読み上げ：（B）。「Backspace-B」。現在選択しているテキストを読み上げます。

注：このオプションは、手動読み上げモードでのみ使用できます。

2) 読み上げモードの手動・自動の切り替え：（G）。「Enter」。手動読み上げモードと自動読み上げモードを切り替えます。

3) 現在のページを読み上げ：（C）。「Backspace」。現在のページを読み上げます。1-2-6の点で前のページ、3-4-5の点で次のページを読み上げます。

4) 現在の段落を読み上げ：（P）。「Space-2-3-5-6」。現在の段落を読み上げます。Space-2-3で前の段落、Space-5-6で次の段落を読み上げます。

5) 現在の行を読み上げ：（L）。「Space-1-4」。現在の行を読み上げます。Space-1で前の行、Space-4で次の行を読み上げます。

6) 現在の文を読み上げ：（S）。「Space-1-4-5-6」。現在の文を読み上げます。

## マークメニュー

1) マークを設定：（M）。「Enter-M」。文書内にマークを設定し、後からその場所に素早く移動することができます。マークは、1つの文書につき1000個まで設定できます。

2) マークへ移動：（J）。「Enter-J」。この項目を実行すると、移動先のマークの名前を入力するように求められます。エディットボックスにマーク名を入力し、Enterを押します。

3) マーク削除：（D）。「Space-D」。この項目を実行すると、削除するマークの名前を入力するように求められます。マーク名を入力し、Enterを押します。

4) 次のマーク：（N）。「Enter-N」。現在位置より後のマーク位置に移動します。

5) 前のマーク：（B）。「Backspace-M」。現在位置より前のマーク位置へ移動します。

6) マークリスト：（K）。「ENTER-K」。Space-1とSpace-4でリストを移動し、移動したいマークでEnterを押します。

7) マーク通知オプション：（O）。「Backspace-O」。文書を読んでいてマークが現れた際の通知方法を、ビープ、メッセージ、なしの間で設定できます。

# DAISYプレーヤー

ブレイルエモーション40のDAISYプレーヤーを使用すると、DAISY形式の図書を再生できます。DAISYとは「DIGITAL ACCESSIBLE INFORMATION SYSTEM」の頭文字をとったものです。テキストと音声を両方含むDAISY図書では、音声を聞きながら関連付けられたテキストを読むことができます。

ブレイルエモーション40は、バージョン3.0以前のDAISY図書に対応しています。DAISYプレーヤーがサポートしている図書の種類を以下に示します。

DAISY 2.0/2.02/3.0、DAISY XML/Digital Talking Book。

ANSI/NISO Z39.86 4002、4005。

Bookshare.orgのDAISYコンテンツ。

NIMAS 1.1。

DRM：4006 PDTB2認証をサポート。

## DAISYプレーヤーの構造

DAISYプレーヤーを起動するには、ブレイルエモーション40のメインメニューで「DAISYプレーヤー」を選択してEnterを押します。また、本機のどこからでも「F1-D」を押してDAISYプレーヤーを起動できます。

DAISYプレーヤーを起動すると、ブレイルエモーション40のドライブリストが表示されます。開きたいDAISY図書が入っているドライブでEnterを押します。

通常のフォルダ移動操作で、開きたいDAISY図書が入っているフォルダを探します。Spaceを押して選択し、Enterを押して開きます。DAISY図書には複数のファイルが含まれているため、フォルダを選択する必要があります。

以前に聴いた図書を再生する場合は、最後に終了した場所から再生が再開されます。DAISY図書の再生を終了するには、Space-Zを押します。

DAISYプレーヤーのメニューを開くには、Space-MまたはF2を押します。メニューには、「ファイル」、「文書」、「マーク」、「見出し」、「めも」があります。メニュー項目は、Space-1とSpace-4で移動できます。メニュー項目を実行するには、Enterキーを押します。

また、Space-MまたはF2の後に、メニュー項目に対応するショートカットを押すこともできます。たとえば、「見出し」メニューを開くには、Space-MまたはF2を押してメニューを開き、「H」を押します。

DAISYプレーヤーには、さまざまなリストやダイアログボックスもあります。Space-1とSpace-4、または上下のスクロールキーを使って、メニューや設定、ファイルリストを移動します。Space-4-5とSpace-1-2、またはF3とSpace-F3を使用して、ダイアログ内のコントロール間を移動します。

項目を実行するには、Enterを押します。

DAISYコンテンツの再生中は、4つのコントロールを含むダイアログが表示されます。「見出し」、「情報」、「再生」、「一時停止」です。F3を使って、これらの間を移動できます。

「見出し」には、見出しやナビゲーション要素と、その要素にテキストがあればそれを表示します。「情報」には、現在のページ、レベル、フレーズ、経過時間、合計時間が表示されます。これらの項目は、Space-1またはSpace-4で移動できます。「一時停止」や「再生」でEnterを押すと、オーディオを一時停止または再生できます。また、Spaceで再生/一時停止をいつでも切り替えることができます。

## ファイルメニュー

1) DAISYを開く：（O）。「Enter-O」。「DAISYを開く」ダイアログを表示します。

2) 音声設定：（S）。「Enter-S」。自動再生、マークの警告、読み上げ音声の速度、トーン、ボリュームを設定します。

3) 本の情報：（I）。「Enter-I」。再生中のDAISY図書の情報を取得します。

4) 閉じる：（Z）。「Space-Z」。DAISYプレーヤーを終了します。

5) ブックマークを削除して終了：（Q）。「Enter-Z」。保存された終了位置を削除してDAISYプレーヤーを終了します。

6) ブックマークを保存せずに終了：（C）。「Backspace-Z」。終了位置を保存せずにDAISYプレーヤーを終了します。

## 文書メニュー

1) 再生/一時停止：（P）。「Space-P」。再生を一時停止、または再開します。「再生」ボタンを使用することもできます。

2) 前のページ：（U）。「Space-1-2-6の点」。前のページに戻ります。

3) 次のページ：（D）。「Space-3-4-5の点」。次のページに進みます。

4) 指定ページへ：（G）。「Enter-G」。移動したいページの番号を入力します。

5) パーセント移動：（R）。「Enter-E」。移動したい位置をパーセンテージで指定します。

6) 指定した時間へ移動：（T）。「Backspace-T」。音声DAISYでのみ利用できます。図書の指定した時間に移動します。

7) 移動単位で戻る：（H）。「3」。指定した移動単位で戻ります。

8) 移動単位で進む：（L）。「6」。指定した移動単位で進みます。

9) 前の移動単位：（I）。「2-3」。前の移動単位を選択します。

10) 次の移動単位：（E）。「5-6」。次の移動単位を選択します。

## マークメニュー

1) マーク設定：（M）。「Enter-M」。現在位置にマークを付けます。

2) マークへ移動：（J）。「Enter-J」。番号を指定して、設定済みのマークに移動します。

3) 前のマーク：（P）。「Enter-3の点」。前のマークに移動します。

4) 次のマーク：（N）。「Enter-6の点」。次のマークに移動します。

5) マーク削除：（D）。「Space-D」。設定済みのマークを削除します。

6) マークリスト：（L）。「Enter-L」。設定済みのマークと、その位置の一覧を表示します。マークを選択してEnterを押すと、その位置に移動します。

## 見出しメニュー

1) 見出し一覧：（L）。「Enter-H」。開いている図書に含まれる見出しの一覧を表示します。

2) 見出しをスキャンする：（N）。「Enter-N」。次の見出しに移動します。

3) 見出し読み上げ：（W）。「Enter-W」。現在のテキストがある見出しを読み上げます。

4) 最初の見出し：（T）。「1-3」。最初の見出しに移動します。

5) 最後の見出し：（B）。「4-6」。図書の最後の見出しに移動します。

6) 検索：（F）。「Space-F」。テキストを検索します。

7) 再検索：（R）。「Enter-F」。「検索」ダイアログで指定した検索文字列を使って再度検索します。

## メモメニュー

1) メモの挿入：（M）。「Backspace-M」。メモを挿入します。

2) メモの読み上げ：（R）。「Backspace-R」。現在のメモを読み上げます。

3) 前のメモ：（P）。「Backspace-P」。前のメモに移動します。

4) 次のメモ：（N）。「Backspace-N」。次のメモに移動します。

5) メモの削除：（D）。「Backspace-D」。現在のメモを削除します。

# メディアプレーヤー

メディアプレーヤーを使用すると、音声ファイルや動画ファイル、プレイリストを再生できます。メディアプレーヤーは、ac3、asf、asx、m3u、mp2、mp3、MP4、mpa、mpg、ogg、pls、wav、wax、wma、flac、midi、wmv、MOVの各フォーマットに対応しています。

点字キーボードコマンドを使ってメディアファイルの再生をコントロールできます。メディアプレーヤーを起動するには、メインメニューから「メディアプレーヤー」に移動し、Enterを押します。または、F1-Mを押すことで、本機のどこからでもメディアプレーヤーを起動できます。

## メディアプレーヤーのレイアウト

再生ダイアログには、「再生情報」と「プレイリスト」の2つの情報タブがあります。F3またはSpace-F3を押すと、これらのタブの間を移動できます。

「再生情報」タブには、トラック番号、ファイル名、現在の再生状態（再生、一時停止、停止）が表示されます。プレイリストにファイルがない場合、「タイトル：表示する項目がありません」と表示されます。Space-4を押すと、再生時間情報を表示します。

再生情報タブでは、タッチカーソルキーを使ってメディアファイルの特定の位置に移動できます。たとえば、ファイルの中央付近に移動したい場合は、20または21番目のタッチカーソルキーを押します。75%付近に移動したい場合は、30番目のタッチカーソルキーを押します。

「プレイリスト」タブには、プレイリスト内の全ファイルが表示されます。プレイリスト内の各ファイルについて、トラック番号、ファイル名、リスト内のファイルの位置、リスト内のファイルの総数が表示されます。プレイリストにファイルがない場合、「項目なし」というメッセージが表示されます。

歌詞情報を含むMP3ファイルの歌詞表示にも対応しています。再生中のファイルに歌詞が含まれている場合のみ、「歌詞」タブが表示されます。歌詞は複数エディットボックスに表示され、通常の文書内の移動コマンドを使って読んだり移動したりできます。

メディアプレーヤーのメニューには、「ファイル」、「再生」、「移動」、「マーク」、「設定」の5つの項目があります。

Space-MまたはF2を押して、メディアプレーヤーのメニューを開きます。Space-1またはSpace-4でメニュー項目を選択し、Enterを押します。Space-MまたはF2を押した後に、メニュー項目のショートカットを押すこともできます。

Space-1とSpace-4、または上下スクロールキーを使用して、メニュー、設定、ファイルリストを移動します。Space-4-5とSpace-1-2、またはF3とSpace-F3を使用して、ダイアログ内のコントロール間を移動します。

項目を実行するには、Enterを押します。

## ファイルメニュー

1) ファイルを開く：（O）。「Enter-O」。メディアファイルを開き、新しいプレイリストを作成します。

2) フォルダを開く：（F）。「Enter-F」。選択したフォルダ内のすべてのメディアファイルで、新しいプレイリストを作成します。

3) ファイル追加：（A）。「Backspace-O」。選択したファイルを現在のプレイリストに追加します。

4) フォルダ追加：（I）。「Backspace-F」。選択したフォルダ内のすべてのメディアファイルを、現在のプレイリストに追加します。

5) プレイリストの保存：（S）。「Space-I」。現在のプレイリストを保存します。

6) プレイリストに名前を付けて保存：再生中のファイルをプレイリストとして保存します。

7) プレイリストから削除：（D）。「Space-D」。プレイリストから現在の項目を削除します。

8) タグ情報：（T）。「Enter-T」。現在のメディアファイルのプロパティを開きます。

9) 閉じる：（Z）。「Enter-Z」。メディアプレーヤーを終了します。

## 再生メニュー

1) 再生：（P）。「Enter」。再生を開始します。

2) 前のトラック：（B）。「3」。1つ前のトラックに移動します。

3) 次のトラック：（N）。「6」。1つ後のトラックに移動します。

4) 5つ前のトラック：（D）。「2-3」。5つ前のトラックに移動します。

5) 5つ後のトラック：（U）。「5-6」。5つ後のトラックに移動します。

6) 最初のトラック：（T）。「1-3」。プレイリストの最初のトラックに移動します。

7) 最後のトラック：（E）。「4-6」。プレイリストの最後のトラックに移動します。

8) 音量を上げる：（H）。「Space-上スクロール」。音量を上げます。

9) 音量を下げる：（L）。「Space-下スクロール」。音量を下げます。

10) 速く：（K）。「3-4-5」。再生速度を上げます。

11) 遅く：（M）。「1-2-6」。再生速度を下げます。

12) 一時停止：（A）。「Space」。再生を一時停止します。もう一度押すと再開します。

13) 停止：（S）。「Backspace」。再生を停止します。

## 移動メニュー

1) ブックマーク設定：（M）。「Enter-M」。現在の位置にブックマークを設定します。

2) ブックマーク削除：（D）。「Enter-D」。設定したブックマークを削除します。

3) ブックマークへジャンプ：（J）。「Enter-J」。ブックマークを設定した位置に移動します。

4) 指定した時間へ移動：（G）。「Enter-G」。ファイル内の指定した時間に移動します。

5) パーセント移動：（E）。「Backspace-P」。ファイル内の、パーセンテージで指定した位置に移動します。

6) 番号を指定して移動：（N）。「Enter-N」。現在のプレイリストで、指定した番号のファイルに移動します。

7) リピート開始位置の設定：（L）。「Enter-P」。リピート再生の開始位置を設定します。

8) リピート終了位置の設定：（R）。「Space-E」。リピート再生の終了位置を設定します。

9) チャプターリスト：（C）。「Backspace-L」。ファイルにチャプターのマークアップがある場合、チャプターのリストを開きます。再生中にSpace-2-3-6を押すと前のチャプター、Space-3-5-6を押すと次のチャプターに移動できます。

## マークメニュー

1) マーク設定：（S）。「Backspace-M」。メディアファイルの特定の位置にマークを設定します。

2) マークへ移動：（M）。「Backspace-J」。前に設定したマークに移動します。

3) 前のマーク：（P）。「Backspace-3」。1つ前のマークに移動します。

4) 次のマーク：（N）。「Backspace-6」。次のマークに移動します。

5) マーク削除：（D）。「Backspace-D」。マークを削除します。

6) マーク管理：（K）。「Backspace-K」。現在のファイル内のすべてのマークを表示および変更します。

## 設定メニュー

1) 環境設定：（C）。「Backspace-C」。ファイル情報の表示、マークの警告、終了位置の保存を設定します。

2) 再生設定：（P）。「Enter-S」。リピート、シャッフルなど、プレイリストの設定ができます。また、ファイルの再生位置を点字ディスプレイの7-8の点で表示するかどうかを選択できます。

3) エフェクト設定：（E）。「Enter-E」。イコライザーとバスブーストを設定します。

## オーディオブックの再生

オーディオブックを再生する場合、音楽のプレイリストとは異なる方法で、ナビゲーションやマーク位置を扱いたいと感じられるかもしれません。このため、フラッシュディスク、SDカード、USBドライブの「Audiobooks」フォルダに置かれたファイルやフォルダは、他の場所にあるオーディオファイルとは異なる方法で扱われます。

まず、「マーク位置を保存」の設定にかかわらず、Audiobooksフォルダ内のすべてのファイルやフォルダに対して、再生を終了した位置にマークが保存されます。これにより、次にそのコンテンツを開いた際に、前の続きから再開できます。また、メディアプレーヤーでEnter-Fコマンドを使ってフォルダを開いた場合、これらのマークは個々のファイルではなく、フォルダ全体に適用されます。

注：メディアプレーヤーまたはファイル管理から個々のファイルを開く場合、マーク位置はそのファイルにのみ適用されます。

同様に、「Audiobooks」フォルダ内のフォルダにアクセスする場合、設定したブックマークはフォルダ全体に適用されます。さらに、「指定した時間へ移動」と「パーセント移動」コマンドも、通常のように現在のファイルではなく、フォルダ全体に適用されます。

オーディオファイルを含むフォルダをオーディオブックとして再生するには、フラッシュディスクまたは接続したドライブの「Audiobooks」フォルダにそれらをコピーします。メディアプレーヤーで、「フォルダを開く」コマンドを使って、そのフォルダをオーディオブックとして開きます。通常、Androidは接続したドライブに「Audiobooks」フォルダを自動的に作成するはずですが、作成されない場合もあります。このフォルダが自動的に作成されない場合、手動で作成すると、メディアプレーヤーはそれを認識し、上記のように動作します。

## バックグラウンド再生の使用

他の作業を行いながらメディアを再生したいことがよくあります。ブレイルエモーション40では、ホットキーを使用して、他のタスクを操作している間にバックグラウンドでのメディア再生を操作できます。

カーソルキーとEnterキーを押して、メディアの一時停止/再生を切り替えます。F1またはF3とカーソルを押すと、選択した移動単位で前に戻り、F2またはF4とカーソルを押すと、選択した移動単位で次に進みます。左または右のカーソルキーをセンターキーと一緒に押すと、前または次の移動単位を選択できます。

# ライブラリーサービス

## DAISYオンライン

DAISYオンラインはサピエ図書館のDAISY図書データを閲覧・ダウンロードできる機能です。使用にはインターネットに接続できる環境と、サピエIDとパスワードが必要です。

メインメニューのライブラリーサービスからDAISYオンラインを実行することで使用できます。

### ログイン

DAISYオンラインを利用するには、サピエIDとパスワードが必要です。ログイン画面でサピエIDとパスワードを入力してサピエにログインしてください。以下手順です。

「DAISYオンライン」を実行すると、「ユーザー名」と表示されます。お持ちのサピエIDを入力してください。

ユーザーIDを入力後、F3を押してください。「パスワード」と表示されます。お持ちのサピエパスワードを入力してください。

パスワードを入力後、F3を押してください。「IDを記憶させる」チェックボックスが表示されます。入力したIDを保存しておく場合はスペースキーを押してチェックボックスにチェックを入れてください。スペースキーを押すたびにチェックボックスのチェックを入れたり外したりすることができます。

次にF3を押すと「パスワードを保存する」チェックボックスが表示されます。入力したパスワードを保存しておく場合はスペースキーを押してチェックボックスにチェックを入れてください。

次にF3を押すと「ログイン」と表示されます。Enterを押すとログインを実行します。IDとパスワードに誤りがなければサピエにログインします。

ユーザーIDとパスワードを入力した状態でEnterを押してもログインすることができます。

入力したIDとパスワードを保存するチェックボックスにチェックが入っていれば、次回ログイン時からは、IDとパスワードが入力された状態から始まりますので、Enterキーを押すだけでログインできます。

注：不特定多数が使用する機器にはサピエID等を保存しないよう注意してください。

### DAISYオンラインのメインメニュー

サピエIDとパスワードが正しく入力されると、最初にお知らせが表示されます。お知らせはEnterキーかF4キーを押すと閉じることができます。お知らせを閉じると、DAISYオンラインのメインメニューが開きます。

メインメニューの項目は以下の5つです。

・前回の検索結果一覧

・図書検索

・雑誌検索

・雑誌の定期配信

・タイトル削除依頼

DAISYオンラインのメニューでは上下キーでリスト項目の移動、F3で各項目のサブメニューの項目に、Space-F3で各項目の1つ上の階層に移動します。

つまり、F3でメニューの先へ進み、Space-F3でメニューを前に戻ります。

メインメニューの項目について以下で説明します。

#### 前回の検索結果一覧

前回の検索結果リストを表示します。

#### 図書検索

閲覧したい図書を検索することができます。

1) 新着完成情報

・過去1週間

・過去1ヶ月

2) 人気のある本

3) ジャンル検索

4) 文字入力検索

・簡易検索

・絞り込み検索

を行う事ができます。

注：検索に完成登録日を使用する場合、数字は英語入力を使って半角で入力してください。

#### 雑誌検索

閲覧したい雑誌を検索することができます。

1) 新着完成順で表示

2) タイトル順で表示

・月刊誌

・週刊誌

・その他、隔月刊、季刊誌、不定期刊誌

3) タイトル検索

#### 雑誌の定期配信

1) 登録

2) 解除

雑誌の定期配信を登録または削除することができます。

#### タイトル削除依頼

ネット閲覧室に登録されたタイトルを施設の職員が削除することを「可能」か「不可能」に設定します。

### 図書検索結果リストの操作

各検索方法で検索を行うと図書の検索リストが表示されます。検索した図書名でF3を押すと検索結果リストでの各種操作を行う事ができます。

1) 図書名

検索してリストアップされた図書名です。上下キーを押すと順番にリストを確認できます。

2) ダウンロード

選択した図書を閲覧するためにデータをダウンロードします。

3) 閲覧リストへ追加

選択した図書を、ネット閲覧室の「閲覧リスト」に追加します。

4) 次のページ

検索結果リストに表示しきれていない次ページへ移動します。

5) 詳細情報

検索した図書の詳細情報を表示します。確認できる情報は「タイトル」、「著者」、「出版社」、「詳細」、「言語」です。上下キーで項目を切り替える事ができます。F3を押すと閉じるボタンに切り替わります。「閉じる」でEnterを押すと検索結果リストの操作メニューに戻ります。

6) サインアウト

DAISYオンラインを終了します。Space-zを押しても実行できます。

### DAISYオンラインで検索した図書の再生

図書の検索を行った後、目的の図書をダウンロードして閲覧します。

検索した図書名を表示した状態でEnterを押すか、F3でダウンロードボタンに移動してEnterを押すと、図書データのダウンロードを実行します。

ダウンロードが完了すると、DAISYプレーヤーを使って図書を再生するかどうかを確認するメッセージが表示されます。Enterを押すと「DAISYプレーヤー」が自動的に起動して図書を読むことができます。

ダウンロードした図書データはflashdiskのOnline Daisyフォルダに保存されます。

### ネット閲覧室

ネット閲覧室には「新着リスト」と「閲覧リスト」があります。

新着リストには、定期配信の設定を行った雑誌が登録されます。

また、自分で検索できないユーザーは、図書館に電話で検索を依頼し、自分のネット閲覧質の新着リストに読みたい本や定期配信を希望する雑誌を登録してもらうことができます。

閲覧リストに図書を追加するには、図書検索の結果から読みたい本を選択して「閲覧リストへ追加」ボタンを押します。

#### ネット閲覧室を開く

DAISYオンラインのメインメニューでEnter-tを押すか、F2を押してメニューを開き、「ネット閲覧室」を実行すると、ネット閲覧室を開きます。

再度Enter-tを押すとDAISYオンラインのメインメニューに戻ります。

#### 新着リスト

定期配信の設定を行った雑誌と、図書館に検索を依頼した図書が新着リストに追加されます。

リストでの操作は「10.1.3　図書検索結果リストの操作」と同様です。

#### 閲覧リスト

新着リストに配信されたタイトルを一度再生すると、新着リストから閲覧リストに既読タイトルは移動します。また、図書検索結果リストで検索したタイトルを表示した状態でEnter-sを押すと、そのタイトルを閲覧リストに登録します。

リストでの操作は「10.1.3 図書検索結果リストの操作」と同様です。

#### ネット閲覧室から削除

閲覧リストのタイトルを削除します。ショートカットキーはEnter-rです。

#### 閲覧リストに登録

ネット閲覧室の新着リストのタイトルや、検索したタイトルをネット閲覧室の閲覧リストに登録します。登録したタイトルは再度検索しなくとも閲覧リストから読むことが可能になります。ショートカットキーはEnter-sです。

# エクストラアプリ

「エクストラアプリ」メニューには、有限会社エクストラが開発したアプリが表示されます。このメニューを開くには、メインメニューでXを押すか、Space-1やSpace-4で「エクストラアプリ」に移動してEnterを押します。

以下、それぞれのアプリについて説明します。

## BESエディタ

BESエディタを使用すると、BESファイルの新規作成、既存のBESファイルの読み込み、編集、保存が可能です。

F2キーまたはSpace-M（1-3-4）を押すと、BESエディタのメニューにアクセスできます。メニュー項目にはファイル、読み上げ、編集の3つのメニューがあり、Space-1またはSpace-4、あるいはCtrlキーまたはAltキーでそれらを移動してEnterで実行できます。

### ファイル

ファイルメニューには以下の項目があります。

#### 新規作成

この項目を選択してEnterを押すか、Enter-N（1-3-4-5）を押して実行します。新しい文書を作成します。

#### 開く

この項目を選択してEnterを押すか、Enter-O（1-3-5）を押して実行します。既存のBESファイルを開く際に使用します。フォルダやファイルの移動にはSpace-4またはSpace-1を使用します。CtrlキーまたはAltキーを使用することもできます。1つ上の階層へ移動するにはBackspaceを、選択したドライブやフォルダに入るにはEnterを押します。目的のBESファイルに移動して、開きたい場合にはそのままEnterを押すか、F3キーで確認ボタンに移動してEnterを押します。キャンセルする場合には、F3キーで取り消しボタンに移動してEnterを押します。

#### 上書き保存

この項目を選択してEnterを押すか、Enter-S（2-3-4）を押して実行します。

なお、新規ファイルでこの項目を選択すると、名前をつけて保存のダイアログが表示されます。

#### 名前をつけて保存

この項目を選択してEnterを押すか、Space-S（2-3-4）を押して実行してください。名前を付けて保存のダイアログが表示されます。

ファイル名と保存先を設定して「確認」ボタンを押すと、「レイアウト設定」ダイアログが表示されます。ここでは、よく使われる32マス18行、32マス22行のレイアウトの他、「カスタム設定」を選択すると、マス数と行数を任意に設定できます。「保存」ボタンを押すとファイルが保存されます。

#### 閉じる

この項目を選択してEnterを押すか、Space-Z（1-3-5-6）を押して実行します。BESエディタを終了します。

### 読み上げ

読み上げメニューには以下の項目があります。

#### 先頭からカーソルまで読み上げ

この項目を選択するか、Backspace-G（1-2-4-5）を押すと、先頭から現在のカーソル位置の前の文字までを読み上げます。

#### カーソルから最後まで読み上げ

この項目を選択するか、Enter-G（1-2-4-5）を押すと、現在のカーソル位置から最後までを読み上げます。

#### 現在の行を読み上げ

この項目を選択するか、Space-1-4を押すと、現在フォーカスのある行を読み上げます。

#### 現在の単語を読み上げ

この項目を選択するか、Space-2-5を押すと、現在フォーカスのある単語を読み上げます。

#### 現在の文字を読み上げ

この項目を選択するか、Space-3-6を押すと、現在フォーカスのある文字を読み上げます。

### 編集

編集メニューには以下の項目があります。

#### ブロック選択開始

この項目を選択するか、Enter-B（1-2）を押すと、フォーカス位置をブロックの先頭位置に設定します。

#### コピー

この項目を選択するか、Enter-C（1-4）を押すと、選択されたブロックをコピーします。

#### すべて選択

この項目を選択するか、Enter-A（1）を押すと文書全体を選択した状態になります。

### BESファイル読み込み時や編集時の操作

行移動はSpace-1またはSpace-4、あるいはCtrlキーまたはAltキーで行います。スクロールキーで読み進めることもできます。ただし、ページ行には移動できません。

文字移動にはSpace-3またはSpace-6を使用します。目的の文字の上のタッチカーソルキーを使用して移動することも可能です。編集時は、Enterを押すと改行します。

### ページヘッダ

新規でBESファイルを作成して保存すると、選択したレイアウトでページ番号が付記されます。既存のBESファイルを読み込んだ場合には、それが反映されます。ただし、いずれの場合にもページ行の確認や編集はできません。

## BESリーダー

BESリーダーを使用すると、既存のBESファイルの読み込みのみが可能です。文書の編集はできませんので、内容を書き換えたくないデータを読む際に便利です。

F2キーまたはSpace-M（1-3-4）を押すと、BESエディタのメニューにアクセスできます。メニュー項目にはファイル、読み上げ、編集、移動、オプションのメニューがあり、Space-1またはSpace-4、あるいはCtrlキーまたはAltキーでそれらを移動してEnterで実行できます。

### ファイル

ファイルメニューには以下の項目があります。

#### 開く

この項目を選択してEnterを押すか、Enter-O（1-3-5）を押して実行します。既存のBESファイルを開く際に使用します。フォルダやファイルの移動にはSpace-4またはSpace-1を使用します。CtrlキーまたはAltキーを使用することもできます。1つ上の階層へ移動するにはBackspaceを、選択したドライブやフォルダに入るにはEnterを押します。目的のBESファイルに移動して、開きたい場合にはそのままEnterを押すか、F3キーで確認ボタンに移動してEnterを押します。キャンセルする場合には、F3キーで取り消しボタンに移動してEnterを押します。

#### 閉じる

この項目を選択してEnterを押すか、Space-Z（1-3-5-6）を押して実行します。BESリーダーを終了します。

### 読み上げ

読み上げメニューには以下の項目があります。

#### 先頭からカーソルまで読み上げ

この項目を選択するか、Backspace-G（1-2-4-5）を押すと、先頭から現在のカーソル位置の前の文字までを読み上げます。

#### カーソルから最後まで読み上げ

この項目を選択するか、Enter-G（1-2-4-5）を押すと、現在のカーソル位置から最後までを読み上げます。

#### 現在の行を読み上げ

この項目を選択するか、Space-1-4を押すと、現在フォーカスのある行を読み上げます。

#### 現在の単語を読み上げ

この項目を選択するか、Space-2-5を押すと、現在フォーカスのある単語を読み上げます。

#### 現在の文字を読み上げ

この項目を選択するか、Space-3-6を押すと、現在フォーカスのある文字を読み上げます。

#### カーソル位置を読み上げ

この項目を選択するか、Space-1-5-6を押すと、現在のカーソル位置に関する情報を読み上げます。

### 編集

編集メニューには以下の項目があります。

#### ブロック選択開始

この項目を選択するか、Enter-B（1-2）を押すと、フォーカス位置をブロックの先頭位置に設定します。

#### コピー

この項目を選択するか、Enter-C（1-4）を押すと、選択されたブロックをコピーします。

#### すべて選択

この項目を選択するか、Enter-A（1）を押すと文書全体を選択した状態になります。

### 移動

移動メニューには以下の項目があります。

#### 前のページへ移動

この項目を選択するか、Space-1-2を押すと、カーソルのあるページの前のページへ移動します。

#### 次のページへ移動

この項目を選択するか、Space-4-5を押すと、カーソルのあるページの次のページへ移動します。

#### ページ選択

この項目を選択するか、Space-P（1-2-3-4）を押すと、ページ選択ダイアログボックスが表示されます。Space-1またはSpace-4、あるいはCtrlキーまたはAltキーでページ番号を指定して、Enterを押すと指定したページへ移動します。

なお、ここで指定するページ番号は、文書の先頭を1ページとした実ページ番号です。

#### 検索

本文から文字列を検索します。

この項目を選択するか、Space-F（1-2-4）を押すと検索ダイアログボックスを開きます。検索ダイアログボックスは「検索文字列｣、｢検索方向｣、「文字種判別」、｢確認｣ボタン、｢取り消し｣ボタンで構成されています。F3で各項目を切り替えることができます。

「検索文字列」エディットボックスに検索したい文字列を入力し、「検索方向」で「順方向」または「逆方向」を切り替えてください。「文字種判別」では、大文字と小文字の判別をするかどうかを設定できます。Enterを押すと検索を実行し、検索文字列が本文中にあればそこへ移動します。

#### 再検索

この項目を選択するか、Enter-F（1-2-4）を押すと、前回検索した文字列で再度検索します。

### オプション

#### 表示設定

BRL形式の点字ファイルを開いた場合のレイアウトを設定します。BRLファイルにはページの概念が存在しないため、ここで設定した情報にしたがって表示されます。

#### キーコード表示

機器に固有のキーコードを表示します。この項目を選択するか、Space-K（1-3）を押すと実行され、使用している機器に固有のキーコードが表示されます。ただし、このキーコードは通常の使用において必要ありません。

## サピエ

### サピエについて

サピエを実行するとサピエ図書館にアクセスし、図書の検索とダウンロードを行うことができます。

「サピエ」を使用するためにはインターネットに接続できる環境が必要です。

### サピエへのログイン

サピエ図書館を利用するには、サピエIDとパスワードが必要です。

サピエを実行するとログイン画面が開き、「サピエID」と表示します。ログイン画面は「サピエID」エディットボックス、「パスワード」エディットボックス、「ログイン」ボタン、「閉じる」ボタンの4つのコントロールで構成されています。F3を押すと項目が切り替わります。サピエIDとパスワードを入力してサピエにログインしてください。

以下手順です。

1. 「サピエ」を実行すると、「サピエID」と表示されます。お持ちのサピエIDを入力してください。
2. ユーザIDを入力後、F3を押してください。「パスワード」と表示されます。お持ちのサピエパスワードを入力してください。
3. パスワードを入力後、F3を押してください。「ログイン」と表示されます。Enterを押すとログインを実行します。IDとパスワードに誤りがなければサピエにログインします。
4. ユーザIDとパスワードを入力した状態でEnterを押してもログインすることができます。
5. 一度、IDとパスワードを入力すると、次回ログイン時からはEnterを押すだけでログインできます。

サピエにログインせずに終了する場合は、「閉じる」でEnterを押すか、Space-Zを押してください。

### 検索種別

#### 点字データ検索

点字データを検索し、読みたいデータをダウンロードすることができます。

「点字データ検索」と表示された状態でEnterを押すと、データを検索するために使用する検索項目が表示されます。

検索項目には以下の種類があります。検索項目を切り替えるためにはF3を押してください。

1つでも検索項目が入力してあれば検索可能ですが、複数の検索項目に入力すると、より絞り込んだ検索が可能です。

11.3.3.1.1 検索項目

点字データ新着案内（1週間以内）：ここでEnterを押すと、過去1週間に公開された点字データを検索します。他の入力項目は無視されます。

タイトル：データのタイトルから検索します。タイトルの一部を入力しても検索することができます。

著者：著者名からデータを検索します。著者名の一部を入力しても検索することができます。

種別：データの種別を指定して検索します。「すべて」、「図書」、「逐次刊行物」、「その他」の4種類に分類されています。

国会図書館を含める：チェックボックスにチェックをいれると国会図書館のデータを含めて検索します。チェックボックスはスペースを押すことでチェックとチェックなしが切り替わります。

コンテンツ更新日：数字8桁（範囲指定：始まり）：データの完成登録日を範囲指定することで特定の時期に登録されたデータを検索することができます。範囲の始まりの年月日を8桁の数字で入力してください。

コンテンツ更新日：数字8桁（範囲指定：終わり）：データの完成登録日を範囲指定することで特定の時期に登録されたデータを検索することができます。範囲の終わりの年月日を8桁の数字で入力してください。

必要な検索項目を入力後、Enterを押すか「検索開始」を実行してください。データの検索を開始します。

入力した検索条件を削除したい場合は「取り消し」ボタンを実行してください。

検索を中断する場合は「戻る」ボタンを実行してください。

11.3.3.1.2 検索結果

データの検索が終了すると、検索結果が表示されます。複数データが検索されると検索結果がリストとして表示されます。上下スクロールを押してリストから目的のデータを探してください。

検索結果リストにてF3を押すと「検索結果」、「タイトル」、「ダウンロード」、「詳細」、「次へ」、「ページ」、「指定したページへ移動」、「戻る」の項目を切り替えることができます。Enterを押すとことでそれぞれの項目を実行することができます。

検索結果：検索結果のリストを表示します。検索結果のタイトルと著者名、巻数、出版年、製作館などの情報が表示されます。

ダウンロード：データをダウンロードすることができます。

詳細：データの詳細情報を表示します。「基本情報」複数エディットボックス、「オンラインリクエスト」ボタン、「戻る」ボタンで構成されています。これらの項目はF3を押すと切り替わります。「基本情報」では上下スクロールで詳細情報を閲覧することができます。

次へ：検索結果リストの次ページへ移動します。

ページ：検索結果リストで現在のページ番号を表示します。上下矢印で数字を変更することができます。

指定したページへ移動：ページで指定したリストのページへ移動します。

戻る：検索結果を閉じます。

11.3.3.1.3 データのダウンロード

1. 検索結果リストから目的のデータを見つけたらデータをダウンロードすることができます。以下ダウンロードの手順です。
2. 検索結果リストでF3を押して「ダウンロード」を実行するか、目的のデータが表示されている状態でEnterを押してください。
3. 「ダウンロードしますか？はい」と表示します。スペースを押すと「はい」と「いいえ」が切り替わります。「はい」でEnterを押すとダウンロードを開始します。
4. ダウンロードが終了するとサピエの検索結果に戻ります。ダウンロードしたデータはフラッシュディスクのDownloadフォルダ内にあるsapieフォルダに保存されます。

#### デイジーデータ検索

デイジーデータを検索し、読みたいデータをダウンロードすることができます。

「デイジーデータ検索」と表示された状態でEnterを押すと、データを検索するために使用する検索項目が表示されます。

検索項目には以下の種類があります。検索項目を切り替えるためにはF3を押してください。

1つでも検索項目が入力されていれば検索可能ですが、複数の検索項目に入力するとより絞り込んだ検索が可能です。

11.3.3.2.1 検索項目

音声デイジーデータ新着案内（1週間以内）：ここでEnterを押すと、過去1週間に公開された音声デイジーデータを検索します。他の入力項目は無視されます。

テキストデイジーデータ新着案内（1週間以内）：ここでEnterを押すと、過去1週間に公開されたテキストデイジーデータを検索します。他の入力項目は無視されます。

タイトル：データのタイトルから検索します。タイトルの一部を入力しても検索することができます。

著者：著者名からデータを検索します。著者名の一部を入力しても検索することができます。

資料種別：データの種別を指定して検索します。「すべて」、「音声デイジー」、「テキストデイジー」、「マルチメディアデイジー」の4種類に分類されています。

種別：データの種別を指定して検索します。「すべて」、「図書」、「逐次刊行物」、「その他」の4種類に分類されています。

国会図書館を含める：チェックボックスにチェックをいれると国会図書館のデータを含めて検索します。チェックボックスはスペースを押すことでチェックとチェックなしが切り替わります。

コンテンツ更新日：数字8桁（範囲指定：始まり）：図書の完成登録日を範囲指定することで特定の時期に登録されたデータを検索することができます。範囲の始まりの年月日を8桁の数字で入力してください。

コンテンツ更新日：数字8桁（範囲指定：終わり）：図書の完成登録日を範囲指定することで特定の時期に登録されたデータを検索することができます。範囲の終わりの年月日を8桁の数字で入力してください。

必要な検索項目を入力後、Enterを押すか「検索開始」を実行してください。データの検索を開始します。

入力した検索条件を削除したい場合は「取り消し」ボタンを実行してください。

検索を中断する場合は「戻る」ボタンを実行してください。

11.3.3.2.2 検索結果

データの検索が終了すると、検索結果が表示されます。複数データが検索されると検索結果がリストとして表示されます。上下スクロールを押してリストから目的のデータを探してください。

検索結果リストにてF3を押すと「検索結果」、「タイトル」、「ダウンロード」、「詳細」、「次へ」、「ページ」、「指定したページへ移動」、「戻る」の項目を切り替えることができます。Enterを押すとことでそれぞれの項目を実行することができます。

検索結果：検索結果のリストを表示します。検索結果のタイトルと著者名、巻数、出版年、製作館などの情報が表示されます。

ダウンロード：データをダウンロードすることができます。

詳細：データの詳細情報を表示します。「基本情報」複数エディットボックス、「オンラインリクエスト」ボタン、「戻る」ボタンで構成されています。これらの項目はF3を押すと切り替わります。「基本情報」では上下スクロールで詳細情報を閲覧することができます。

次へ：検索結果リストの次ページへ移動します。

ページ：検索結果リストで現在のページ番号を表示します。上下矢印で数字を変更することができます。

指定したページへ移動：ページで指定したリストのページへ移動します。

戻る：検索結果を閉じます。

11.3.3.2.3 データのダウンロード

1. 検索結果リストから目的のデータを見つけたらデータをダウンロードすることができます。以下ダウンロードの手順です。
2. 検索結果リストでF3を押して「ダウンロード」を実行するか、目的のデータが表示されている状態でEnterを押してください。
3. 「ダウンロードしますか？はい」と表示します。スペースを押すと「はい」と「いいえ」が切り替わります。「はい」でEnterを押すとダウンロードを開始します。
4. ダウンロードが終了するとサピエの検索結果に戻ります。ダウンロードしたデータはフラッシュディスクのDownloadフォルダ内にあるsapieフォルダに保存されます。

#### オンラインリクエスト検索

点字図書館等が所蔵していて、オンラインリクエストが可能な資料を検索します。

11.3.3.3.1 検索項目

タイトル：データのタイトルから検索します。タイトルの一部を入力しても検索することができます。

著者：著者名からデータを検索します。著者名の一部を入力しても検索することができます。

資料種別：データの種別を指定して検索します。「すべて」、「点字」、「録音」、「テープ」、「音声デイジー」、「オーディオ」、「音声解説」、「墨字」、「マルチメディア」の9種類に分類されています。

デイジーのみ対象とするチェックボックス：検索対象をデイジーのみにする場合はチェックボックスにチェックを入れてください。チェックを外すと点字データも検索対象に含まれます。スペースキーを押すたびにチェックの有無を切り替えることができます。

種別：データの種別を指定して検索します。「すべて」、「図書」、「逐次刊行物」、「その他」の4種類に分類されています。

必要な検索項目を入力後、Enterを押すか「検索開始」を実行してください。データの検索を開始します。

11.3.3.3.2 検索結果

データの検索が終了すると、検索結果が表示されます。複数データが検索されると検索結果がリストとして表示されます。上下スクロールボタンまたはSpace-4かSpace-1を押してリストから目的のデータを探してください。

検索結果リストにてF3を押すと「検索結果」、「ダウンロード」、「詳細」、「次へ」、「ページ選択」、「選択したページへ移動」、「閉じる」の項目を切り替えることができます。

「検索結果」：検索結果のリストです。タイトルと著者名が表示されます。

「ダウンロード」：オンラインリクエスト検索ではダウンロードできません。

「詳細」：詳細情報を確認してオンラインリクエストを送信することができます。

「次へ」：検索結果リストの次のページへ移動します。

「ページ選択」：検索結果リストのページを指定します。スペースキーを押すとページ番号を変更できます。

「選択したページへ移動」：ページ選択で指定したページへ移動します。

「閉じる」：検索結果を閉じます。

11.3.3.3.3 オンラインリクエストの送信

オンラインリクエストを送信するには「詳細」でEnterキーを押します。

次にF3を押してください。

所蔵館とメディアの種類（CD、点字、カセット）の情報を含むリクエストボタンが出ます。内容を確認してリクエストを送る場合はEnterキーを押します。

リクエストを送らない場合はもう一度F3を押すと「もどる」ボタンになります。そこでEnterキーで検索結果にもどります。

リクエストボタンでEnterキーを押すと「送信しますか」という確認のメッセージを表示します。「いいえ」が選ばれた状態になっていますので、スペースを押して「はい」と「いいえ」を切り替えてください。

Enterキーを押すとリクエストが送信されます。

#### ジャンル検索

「文学」「福祉」「医療」「コンピューター」といった、 大まかなジャンルから資料を検索します。

11.3.3.4.1 リンクリスト

ジャンルを選択することができます。ジャンルは「文学」・「哲学・心理・宗教」・「歴史・伝記」・「地理・紀行」・「政治・法律・経済・統計」・「福祉」・「社会・教育・風俗習慣・国防」・「医学」・「自然科学（数学・理学・植物学など）」・「技術・コンピューター」・「家庭・手芸・料理・育児」・「農林水産業・商業・運輸・通信」・「美術・音楽・演劇・スポーツ・娯楽」・「言語」・「総記（上記に分類されない資料）」の15種類です。それぞれのジャンルを選ぶとさらに細かく分類されます。検索したいジャンルを選択して図書を探すことができます。

11.3.3.4.2 データのダウンロード

データのダウンロード方法は、点字データ検索、デイジーデータ検索と同じです。

#### 詳細検索

詳細な検索条件を指定して、資料を検索します。点字・デイジーデータが登録されたものや、オンラインリクエスト可能なもののほか、点字出版、録音出版タイトルも検索できます。

11.3.3.5.1 データのダウンロード

データのダウンロード方法は、点字データ検索、デイジーデータ検索と同じです。

#### 新着完成情報

過去1週間、1ヶ月に完成した資料を検索します。

11.3.3.6.1 データのダウンロード

データのダウンロード方法は、点字データ検索、デイジーデータ検索と同じです。

#### 人気のある本

人気のある点字ダウンロード、デイジーダウンロード、デイジー再生、点字リクエスト、録音リクエストを表示します。

図書、雑誌などの種別を指定して一覧を表示することもできます。

11.3.3.7.1 データのダウンロード

データのダウンロード方法は、点字データ検索、デイジーデータ検索と同じです。

#### マイページ

「完成通知」、「逐次刊行物新着案内」に登録している資料の情報を確認できます。

11.3.3.8.1データのダウンロード

データのダウンロード方法は、点字データ検索、デイジーデータ検索と同じです。

# ユーティリティー

「ユーティリティー」メニューには、ブレイルエモーション40のいくつかの特別な機能と設定があります。Space-1とSpace-4を使って「ユーティリティー」メニューの項目間を移動し、Enterを押して開きます。

各プログラムの機能にアクセスするには、ホットキーを使用するか、メニューやダイアログを用います。プログラムにメニューがある場合は、Space-MまたはF2を押してメニューを開き、Space-1またはSpace-4を使って項目を選択してEnterを押します。または、Space-MまたはF2の後にメニュー項目のショートカットを押します。

ダイアログでは、Space-4-5とSpace-1-2、またはF3とSpace-F3を使って、コントロール間を移動します。

Space-1とSpace-4、または上下スクロールキーを使用して、メニュー、設定、またはファイルリストを移動します。項目を実行するには、Enterを押します。

## ボイスレコーダー

ボイスレコーダーアプリケーションでは、内蔵ステレオマイク、4極ヘッドセット、またはAndroid互換のUSBオーディオデバイスを使用して、MP3またはWAV形式で録音したり、WAVまたはMP3のDAISY図書を録音したりできます。

ボイスレコーダーを起動するには、ユーティリティーメニューでVを押すか、録音キーを短く押します。

「録音」ダイアログには、「録音」ボタン、「録音設定」ボタン、「録音ファイル」ボタン、「閉じる」ボタン、およびステータスエリアがあります。コントロール間を移動するには、F3およびSpace-F3を使用します。

### 録音する

ボイスレコーダーを起動すると、デバイスは録音のプロンプトを表示し、「マイク録音」、「USB録音」などのように、録音ソースを示します。録音ソースは後述の「録音設定」ダイアログで設定できます。USBソースを接続する場合、録音ソースを「ヘッドセット」に設定してください。

「録音」のプロンプトが表示されると、スタンバイモードになります。Enterを押して録音を開始します。終了したらSpace-Zを押してください。録音キーを長押しすると、プロンプトを表示せず、すぐに録音が開始されます。終了するにはもう一度押してください。録音中にEnterキーを押しながらカーソルキーを押すと、録音を一時停止したり再開したりできます。

注：ブレイルエモーション40は、ミキサー、USBヘッドセット、USBマイク、その他のUSBサウンドカードデバイスを含む、一般的なプラグアンドプレイUSBオーディオデバイスによる録音と再生をサポートしています。多くのデバイスがサポートされていますが、専用のドライバーやアプリを必要とするデバイスは動作しない可能性が高いため、ご注意ください。また、マルチトラックレコーディングデバイスは、一般的にデジタルオーディオワークステーションが必要なため、使用できません。しかし、ステレオ出力にミックスダウンするプラグアンドプレイのオーディオデバイスのほとんどは、正常に動作します。

外部デバイスを使う場合、いくつか注意すべき点があります。

i. USBソースを接続した状態で、4極またはそれ以外のヘッドフォンを接続すると、USBオーディオ接続はキャンセルされ、レコーダーはデバイスのヘッドフォン端子に接続されたヘッドセットを使用します。

ii. 初期状態では、一部のヘッドセットでのループバックの問題を回避するため、録音中はブレイルエモーション40の音声がミュートされます。ミキサーを使用してブレイルエモーション40の音声をループバックしたい場合は、必ず「イヤホンでモニタリング」設定と「録音中のシステムオーディオミュート」設定をオフにして、ミキサー自体で出力をモニターしてください。

### DAISY録音をする

録音機能では、簡単なWAVやMP3の録音だけでなく、DAISYファイルを録音することができます。DAISY形式で録音するには、「録音設定」ダイアログで録音方式を「DAISY」に設定します。

DAISY録音を開始すると、「タイトル録音開始」というプロンプトが表示されます。その後、約10秒間タイトルを録音してから、自動的に見出し1の録音に移ります。

DAISY図書に手動でナビゲーションポイントを挿入しながら録音することができます。見出しを挿入するには、Backspace-Hを押します。フレーズを挿入するには、Backspace-Pを押します。ページを挿入するには、Backspace-Gを押します。これらのキーを押すたびに、「現在のフレーズをページ8に設定」、「見出し3録音開始」のように、ナビゲーションポイントの開始を表示します。

録音を停止すると「ビルド中」と通知し、DAISY図書が作成中であることを知らせます。録音したDAISYファイルは、flashdisk/DAISY/Recordに保存され、DAISYプレーヤーで再生できます。また、ファイル管理を使用して個々の録音を探し、メディアプレーヤーで再生することもできます。

### 録音した音声の再生

録音が終了すると、「再生」ボタンが表示され、録音した内容を聞くことができます。このボタンでEnterを押すと再生が始まります。また、Enter-Pを押して、現在選択している録音を再生することもできます。

以前に録音したファイルを再生するには、「録音ファイル」ボタンに移動してEnterを押してください。録音ファイルを保存するために設定したフォルダが表示されます。初期状態では、flashdisk/music/recordに設定されています。通常のファイル/フォルダの移動コマンドを使用して、本機の任意のWAVまたはMP3ファイルを選択し、Enterを押して再生を開始できます。

再生中にSpaceを押すと一時停止/再生が切り替わり、Backspaceを押すと再生が停止します。Space-上下スクロールで音量を調整し、3-4-5と1-2-6で速度を調整します。タッチカーソルキーを使って、メディアプレーヤーと同じようにファイル内のさまざまな位置に移動します。

### 録音設定

「録音設定」ダイアログには以下の項目があります。

1) 録音タイプ：WAV、MP3のいずれかを選択します。

2) サンプルレート：8000HZから48000HZの範囲で選択します。

3) ビットレート：MP3形式で録音する際の品質を設定します。64Kから340K（CD品質）の範囲で選択します。録音タイプがWAVに設定されている場合、このオプションは表示されません。

4) マイク音量：マイクのゲイン（音量）を、大、中、小の間で設定します。

5) 録音ソース：「マイク」に設定すると、内蔵ステレオマイクを使用します。「ヘッドセット」に設定すると、4極ヘッドセットまたはUSBデバイスが接続されていればそちらを、接続されていなければ内蔵マイクを使用します。

6) ファイル名の種類：録音したファイルに番号で名前を付けるか、作成日時で名前を付けるかを設定します。

7) イヤホンでモニタリング：録音中にヘッドホンから録音内容を再生するかどうかを設定します。この設定がオンの場合、「録音中のシステムオーディオミュート」の設定に関係なく、録音中のシステムオーディオはミュートされます。

8) 録音中のシステムオーディオミュート：初期状態では、システムのオーディオとTTSが録音を中断しないようにするため、オンに設定されています。システムのプロンプトは点字で表示されます。デモンストレーション用にシステムの音声を録音したい場合や、ストリーミングを録音したい場合などは、この設定をオフにして、ループバックまたはUSBリターン機能を持ったミキサーを使用して、システムの音声を録音します。

9) 録音方式：一般またはDAISYを選択します。一般録音方式は、単独のWAVまたはMP3ファイルを作成します。DAISY方式は、録音時に作成したナビゲーションポイントに従って、複数の録音を音声DAISY図書にビルドします。

10) フォルダ設定：録音した音声の保存先を設定します。一般録音を選択した場合、既定のフォルダはflashdisk/music/recordです。DAISY録音を選択した場合、既定のフォルダはflashdisk/daisy/recordです。

11) 録音ファイル名：録音ファイル名の先頭に付加する内容を設定します。初期状態では「record」に設定されていますが、好みに応じて変更できます。ファイル名の残りの部分は、前述の「ファイル名の種類」で設定します。

## 電卓

ブレイルエモーション40の電卓を使用すると、簡単な数式の計算や、複雑な科学計算を行うことができます。結果や式は、点字と音声の両方で出力されます。

電卓を使用するには、「ユーティリティー」メニューでCを押します。また、F3-Cを押すことで、本機のどこからでも「電卓」を起動できます。電卓を起動すると、0がコンピューター点字で表示されます。

式を入力するときは、コンピューター点字（NABCC）を使用します。Backspace-Cで、電卓をクリアします。結果が表示されているときに数値や関数を入力すると、結果が消えて新たな計算を開始します。一方、演算子を入力すると、元の結果に対してさらに計算を続けることができます。計算結果を電卓のメモリーに保存し、後で呼び出すこともできます（変数計算）。関数と演算子は、電卓のメニューから選択して入力することも、ホットキーを使用することもできます。

### 一般関数

一般的な数学演算子を使用するには、Space-mまたはF2を押してメニューを開き、「一般関数」でEnterを押します。または、計算行でEnter-Gを押します。

「一般関数」ダイアログには、「一般関数リスト」、「OK」ボタン、「キャンセル」ボタンがあります。Space-1またはSpace-4で演算子を移動します。または、演算子の最初の文字を押すこともできます。

目的の演算子を選択し、Enterを押して実行します。ホットキーを使って素早く演算子を入力することもできます。Space-Hを押すと、電卓のホットキー一覧が表示されます。

負の数を入力するには、マイナス（3-6の点）に続けて、括弧内に数値を入力します。パーセント演算の場合は、最初に数字を入力し、その後にパーセント記号を入力します。パーセント記号（%）を入力すると、数値がパーセント値に変換されます。

### 分数の演算

ブレイルエモーション40は、分数の約分や乗算、分数と小数の変換などの分数演算を行うことができます。

また、分数を小数に、小数を分数に、仮分数を帯分数に、帯分数を仮分数に変換できます。結果が分数である場合、Space-3-4を押すことで「分数の設定」を表示します。Space-1とSpace-4を押して、利用可能なオプションの間を移動できます。分数が単分数の場合、選択肢は「分数を少数に」と「元の分数を返す」です。これらに加えて、仮分数の場合には「仮分数を帯分数に」が、帯分数の場合には「帯分数を仮分数に」が表示されます。結果が小数の場合にSpace-3-4を押すと、分数に変換されます。

### 変数計算

電卓での計算結果や式をメモリーに保存できます。これらの機能にアクセスするには、F2を押してメニューを開き、「変数計算」でEnterを押します。

「変数リコール」は、「変数リスト」、「削除」、「詳細を表示」、「確認」、「閉じる」からなるダイアログを表示します。このダイアログは、計算行でBackspace-Rを押すか、「変数計算」メニューから選択することで実行できます。

変数リストは、「項目名：値」の形式で表示されます。項目名でEnterキーを押すと、値を計算に挿入します。Spaceを押して項目を選択し、Enter-Iを押すと、選択した項目がクリップボードにコピーされます。

「詳細を表示」は既定で「いいえ」に設定されており、項目名と結果のみが表示されます。詳細情報を確認するには、Spaceを押して「はい」に切り替えます。すると、「項目名：式＝結果」の形式で表示されるようになります。

「削除」は、リストから変数項目を削除するときに使用します。

「変数リコール」に保存されているすべての変数を削除することもできます。「変数計算」メニューから「保存されたすべての変数を削除」を選択するか、計算行でEnter-Dを押します。

「変数に保存」は、電卓の現在の式または結果を保存し後から利用できるようにするダイアログです。ダイアログには変数名を入力するエディットボックス、「OK」ボタン、「キャンセル」ボタンがあります。「変数計算」メニューから「変数に保存」を選択するか、計算行でBackspace-Sを押して実行します。

ダイアログが開くと、「項目名」エディットボックスが表示されます。変数名を入力してEnterキーを押すか、「OK」に移動してEnterキーを押します。すると、現在の式または結果が、指定した変数名で保存されます。

すでに作成されている変数の名前を入力すると、「変数xxを現在の値に置き換えますか？はい」というプロンプトが表示されます。「sin」、「cos」、「pi」などの関数名を変数名として入力すると、「無効な変数名です」と表示されます。

また、計算行から直接変数を定義することもできます。「変数＝式」の形式で入力し、Enterキーを押して変数を保存します。

「統計関数」を選択すると、保存されているすべての変数とその値を含むリストボックス、いくつかの関数の結果を表示するリストボックス、および「閉じる」ボタンで構成されるダイアログが開きます。Backspace-Tを押して、計算行からこのダイアログを起動できます。

変数のリストで、統計関数の計算に含めたい変数に移動し、Spaceで選択します。Tabで「結果」リストに移動し、選択した変数の合計、平均、偏差、標準偏差をかくにんできます。また、結果リストから項目を選択してクリップボードにコピーすることもできます。

### サイン関数

電卓のメニューで「サイン関数」を選択するか、計算行でEnter-Sを押します。「サイン関数」リストには、「サイン」、「アークサイン」、「ハイパーボリックサイン」があります。3つの関数のうちの1つを選択してEnterキーを押すと、その関数を計算に挿入できます。

### コサイン関数

電卓のメニューで「コサイン関数」を選択するか、計算行でEnter-Iを押します。「コサイン関数」リストには、「コサイン」、「アークコサイン」、「ハイパーボリックコサイン」があります。3つの関数のどれかでEnterを押すと、計算が実行されます。または、リストでそれぞれの最初の文字を押すことによって、3つのコサイン関数のうちの1つを実行できます。

### タンジェント関数

計算行でEnter-Tを押すか、電卓のメニューで「タンジェント関数」を選択すると、「タンジェント関数」を開くことができます。「タンジェント関数」のリストには、「タンジェント」、「アークタンジェント」、「ハイパーボリックタンジェント」があります。この3つの関数のいずれかでEnterを押すと、計算が実行されます。

### 対数関数

計算行でEnter-Lを押すか、電卓のメニューで「対数関数」を選択すると、「対数関数」を開くことができます。

「対数関数」ダイアログには、「関数リスト」、「OK」ボタン、「キャンセル」ボタンがあります。関数リストには、「常用対数」と「自然対数」があります。対数関数のいずれかでEnterを押すと、計算が計算行に挿入されます。

### 単位換算

「単位換算」ダイアログでは、質量、面積、体積、距離、温度の計測値をメートル法からインペリアル法に、またはその他の計測標準や計測単位へ変換できます。また、プログラミングやコンピューターに関連するいくつかの測定単位も変換できます。

「単位換算」ダイアログを開くには、電卓のメニューで「単位換算」を選択するか、Enter-Uを押します。

「単位換算」ダイアログには、「単位のカテゴリー」コンボボックス、「現在の単位」コンボボックス、「単位の変更」コンボボックス、「数値の入力」エディットボックス、「換算」ボタン、「閉じる」ボタン、および「結果」スタティックボックスがあります。ダイアログ内のコントロールは、Tab（F3またはSpace-4-5）、Shift-Tab（Space-F3またはSpace-1-2）を使って移動できます。コンボボックスの項目を移動するには、Space-1またはSpace-4を使用します。

利用可能な単位のカテゴリーは、長さ、面積、重さ、容積、温度、データ、数値、文字です。単位カテゴリーを選択すると、「現在の単位」と「単位の変更」のコンボボックスに、選択したカテゴリーに応じた単位が表示されます。利用可能な長さの単位は、ミリメートル、センチメートル、メートル、キロメートル、インチ、フィート、ヤード、マイルです。利用可能な面積の単位は、平方メートル、アール、平方フィート、平方ヤード、エーカー、ヘクタールです。利用可能な重さの単位は、グラム、キログラム、トン、グレイン、オンス、ポンドです。利用可能な容積の単位は、デシリットル、ミリリットル、リットル、立方センチメートル、立方メートル、立方インチ、立方フィート、立方ヤード、ガロン、フルードオンス、カップ、クォートです。利用可能な温度の単位は、摂氏、華氏、ケルビンです。

利用可能なデータの単位は、ビット、バイト、キロバイト、メガバイト、ギガバイトです。利用可能な数値の単位は、16進数、10進数、2進数です。「文字」を選択すると、任意の文字のASCIIコードの値を確認できます。

「現在の単位」コンボボックスで変換元の単位を選択し、「単位の変更」コンボボックスで変換する単位を選択します。「数値の入力」エディットボックスに、変換したい測定値を入力します。最後に、Tabで「換算」ボタンに移動して、Enterキーを押します。換算をキャンセルしたい場合は、「閉じる」ボタンに移動してEnterを押します。「換算」ボタンを実行すると、換算結果が「結果」スタティックボックスに表示されます。

### クリップボードにコピー

「クリップボードにコピー」機能は、式や結果をクリップボードにコピーして、文書に貼り付けるために使用します。また、最大40行の計算履歴にアクセスし、同様にコピーすることもできます。メニューで「クリップボードにコピー」を選択してEnterを押すか、計算行でEnter-Cを押すと、現在の式がコピーされます。これで、計算結果をノートパッドの文書や他のアプリケーションに貼り付けることができます。

計算履歴にアクセスするには、Enter-Hを押します。その後、通常の選択コマンドを使用して、コピーしたい履歴の行を選択できます。履歴から項目を削除するには、Space-Dを押します。

### 式を返す

結果を表示した後で、その結果を得るために使った式を思い出したいことがあるかもしれません。「式を返す」機能を使えば、入力した式を確認できます。

結果が表示されたら、Enter-Rを押すか、メニューで「式を返す」を選択します。

現在の結果を得るために入力した式が表示されます。

### オプション設定

オプション設定を実行するには、メニューで「オプション設定」を選択してEnterを押すか、計算行でEnter-Oを押します。

「オプション設定」ダイアログには、各種設定を変更するためのコンボボックス、「確認」ボタン、「取り消し」ボタンがあります。F3またはSpace-F3を使ってコントロールの間を移動します。各設定値を変更するには、Spaceを押します。

角度の単位で「ラジアン」を選択すると、三角関数を使用している際にPI値を得ることができます。しかし、「度」を選択してPIを使用すると、これは有効な計算ではないため、誤った計算結果となります。

## 現在時刻

この機能を使用して、現在の日付と時刻を確認します。「ユーティリティー」メニューの「現在時刻」に移動してEnterを押します。また、ブレイルエモーション40のどこからでも、Space-Tまたはプラスキーの長押しで、時刻と日付を確認できます。Tabで今日の日付を表示できます。

## アラーム

この機能を使用して、繰り返し発生するイベントのリマインドのために複数のアラームを設定したり、曜日ごとに異なる時刻にアラームを鳴らしたりできます。アラームを開くには、「ユーティリティー」メニューでSpace-1またはSpace-4を押して「アラーム」に移動し、Enterを押します。ブレイルエモーション40で時刻や日付を設定していない場合は、「時刻設定：」と表示されます。時刻を設定すると、アラームダイアログが表示されます。

「アラーム」ダイアログには、アラームリスト、「追加」ボタン、「修正」ボタン、「削除」ボタン、「閉じる」ボタンの5つの項目があります。コントロール間を移動するには、F3とSpace-F3を使用します。Space-1とSpace-4を使用してアラームリストを移動します。Enter-Aでアラームを追加、Enter-Mで変更、Space-Dで削除することもできます。

「追加」ダイアログには、「時刻設定」、「エコー」、「繰り返し」、「アラーム秒数」、「アラームの間隔」、「回数」、「確認」ボタン、「取り消し」ボタンがあります。

アラームが鳴ると、点字ディスプレイに「アラーム。アラームを停止するにはF4を押してください。」と表示されます。

アラームダイアログを開くと、「時刻設定」フィールドを表示します。値は現在の時刻または以前に指定した時刻に設定されます。ここでは、時刻を直接入力するか、本マニュアルの時計設定の箇所で説明したショートカットキーを使用して時刻を設定できます。

Tabで次のフィールドに移動し、3種類のアラーム音、振動、メディアファイルから1つを選択します。Space-1またはSpace-4を押してアラーム音を変更すると、アラーム音が再生されます。4番目の項目である「振動」を選択すると、アラームで使用される振動を確認できます。

「メディアファイル」を選択した場合は、Tabで「ファイル名」ボタンに移動してEnterキーを押し、アラーム音として使用したいファイルを選択します。ファイル管理のコントロールが表示され、フォーカスは「Media」フォルダ内にあります。使用したいファイルを探し、Enterキーを押します。

アラーム音の種類を選択したら、次のフィールドに移動します。

「繰り返し」フィールドでは、アラームが鳴る曜日を設定できます。選択可能な設定は、「オフ」、「1回だけ」、「平日」、「毎日」です。「オフ」に設定されている場合、ダイアログの他のオプションがどのように設定されていても、指定された時間にアラームは鳴りません。

「アラーム秒数」では、1分、2分、3分の間でアラームが鳴る長さを設定します。アラーム秒数を1分に設定した場合、アラームは1分間鳴り続け、その後停止します。1分経過する前にアラームを停止するには、Backspace-enterを押します。

「アラームの間隔」は、次のアラームが鳴るまでの時間を設定します。たとえば、アラーム間隔を3分に設定した場合、アラームが鳴り止んだ後、3分後に再びアラームが鳴ります。設定可能な時間は、1分、3分、5分、10分、15分、40分です。

Backspace-enterを押してアラームを停止しなかった場合、「回数」オプションで設定した回数に従ってアラームが繰り返されます。設定可能な回数は1～10回です。

Enterを押して設定を保存するか、Space-Zを押してアラーム設定をキャンセルします。

## ストップウォッチ

F3-Wを押すことにより、本機のどこからでも「ストップウォッチ」を起動できます。または、「ユーティリティー」メニューで「ストップウォッチ」に移動し、Enterキーを押します。

ストップウォッチを起動すると「00:00:00」と表示し、Enterキーを押すとストップウォッチがスタートします。もう一度Enterを押すと一時停止し、経過時間を音声と点字で通知します。もう一度Enterを押すと、ストップウォッチが再開します。

ストップウォッチの一時停止中または実行中にBackspaceを押すと、経過時間を表示し、「00:00:00」に戻ります。ストップウォッチ実行中にSpaceを押すと、経過時間が表示されます。ストップウォッチが作動している間、点字ディスプレイは経過時間を秒単位で表示し続けます。

Space-F2を押すと、時間の表示がオフになります。もう一度Space-F2を押すと、再び時間が表示されるようになります。

Tabを押すと、「カウントダウンタイマー」に切り替わり、時、分、秒を入力できる状態になります。それぞれ、2桁の数字を入力します。数字を入力せずにEnterキーを押すと、カウントダウンタイマーはデフォルトの1分で開始します。カウントダウンが開始されると、「カウントダウンxx分」と表示され、カウントダウンが開始されます。

カウントダウンタイマーの動作中にEnterを押すと、残り時間を表示し、カウントダウンを一時停止します。もう一度Enterを押すと、タイマーが再開します。Backspaceを押すと、カウントダウンタイマーはリセットされます。タイマーがゼロになると10秒間のアラームが鳴り、カウントダウンタイマーはリセットされます。アラームが鳴っている間にBackspace-enterを押すと、アラームは止まり、タイマーがリセットされて新しい時間を入力できる状態になります。

「ストップウォッチ」プログラムを終了するには、Space-Zを押します。

## フラッシュディスクのバックアップ/復旧

フラッシュディスクのバックアップ/復旧ユーティリティーを使用すると、SDカードまたは接続したUSBドライブに、フラッシュディスクのデータをパスワードで保護されたzipファイルとしてバックアップできます。このユーティリティーは、ユーティリティーメニューでKを押すか、本機のどこからでもF3-Pを押すことで実行できます。

このユーティリティーを起動すると「バックアップ」ボタンが表示されます。ここには、バックアップするデータ量も表示されます。f3またはSpace-F3を押すと、「復旧」ボタン、「閉じる」ボタンにアクセスできます。

「バックアップ」ボタンでEnterを押すと、バックアップを保存できるドライブのリストが現れ、各ドライブの空き容量が表示されます。使用したいドライブでEnterキーを押してください。

注：ExFatでフォーマットされた、64GB以上のSDカードまたはドライブの使用をお勧めします。FAT32でフォーマットされたドライブやカードには、4GB以上のZIPファイルを作成することができません。フラッシュディスクには44GB近くのデータを保存できることから、ほとんどのバックアップは4GBより大きくなります。

ドライブを選択すると、パスワードを設定するよう求められます。ZIPファイルをパスワードで保護したい場合は、コンピューターエディットボックスに8文字以内のパスワードを入力します。F3を押して、パスワードを再入力します。パスワードを設定したくない場合は、もう一度Tabを押して「パスワードを使用しない」を選択し、Enterを押します。

ブレイルエモーション40はバックアップを作成し、進捗状況をパーセントで表示します。終了すると、本機はファイルシステムを更新します。これには数分かかることがあります。最後に、ディスクをアンマウントするかどうかを尋ねられます。すぐにドライブを取り外す場合は、「はい」を選択してください。ディスクをしばらく接続したままにする場合は、「いいえ」を選択してください。後でドライブを切断しても、問題は発生しません。

バックアップが完了すると、バックアップ先ドライブのルートに「Braille eMotion 40 Backup」というフォルダが作成され、ブレイルエモーション40のデバイス名とバックアップ日時が記載されたzipファイルが保存されます。

バックアップから復旧するには、復旧ダイアログでドライブとバックアップファイルを選択します。バックアップをパスワードで保護した場合は、復旧を開始する前にパスワードを入力するよう求められます。

## フォーマット

警告！ブレイルエモーション40では、フラッシュディスクをフォーマットして、破損の問題を解決したり、内蔵ドライブがクリーンな状態からやり直したりできます。フラッシュディスクをフォーマットすると、フラッシュディスク上のすべてのデータが消去されます。このコマンドを実行する際は、細心の注意を払ってください。このコマンドを実行すると、すべてのデータが失われます。コマンドが実行されると、このデータを取り出すことはできません。

フラッシュディスクをフォーマットするには、機器を完全にシャットダウンした状態から電源を入れる際に、ホームキーを押し続けます。

また、「ユーティリティー」メニューでFを押すことでも「フォーマット」機能にアクセスできます。または、本機のどこからでもF3-Fを押して起動できます。

ブレイルエモーション40のディスクをフォーマットすると、すべての情報が消去されます。そのため、フォーマットを行う前に、重要なデータは可能な限りバックアップしておくことをお勧めします。

1) ユーティリティーメニューから「フォーマット」を選択してEnterを押すと、「フラッシュディスク」にフォーカスが当たります。Enterを押すか、リストから別のディスクを選んでEnterを押します。

注：ディスクは現在のファイルシステム（FAT32またはExFat）に従ってフォーマットされます。

2) 「フラッシュディスクをフォーマットしますか？はい」というプロンプトが表示されたら、Enterを押します。

3) 「すべてのデータが失われます。続行しますか？はい」というプロンプトが表示されたら、Enterを押します。

4) 「フラッシュディスクをフォーマットしています」と表示され、フォーマットが開始されます。

5) フォーマットが完了すると、「ディスク」リストに戻ります。

フォーマットをキャンセルするには、手順2または3で、Spaceを押して「いいえ」に切り替えてEnterを押します。

## スリープタイマー

スリープタイマーを設定すると、指定時間経過後にブレイルエモーション40の電源を切ることができます。

スリープタイマーを設定するには、「ユーティリティー」メニューで「スリープタイマー」に移動してEnterを押します。または、本機の使用中にSpace-Jを押します。

「スリープタイマー0」というプロンプトが表示されます。エディットボックスに、スリープタイマーの分数を0～180の範囲で入力し、Enterを押します。

スリープタイマーが設定されている場合、デバイスが使用中であっても、指定した時間が経過すると電源がオフになります。スリープタイマーを5分に設定し、2分後にSpace-J（2-4-5の点）を押すと、エディットボックスに「3」と表示され、スリープタイマーで電源が切れるまでの残り時間を確認できます。

## ファームウェアの更新

このユーティリティーを使用すると、インターネットまたはアップグレードファイルの入った外部メディアを経由して、ブレイルエモーション40をアップデートできます。「オンライン」を選択した場合は、アップグレードを実行する前に、インターネット接続が有効であることを確認してください。ブレイルエモーション40をアップデートしても、通常は設定が変更されることはありません。ただし、ファームウェアの設定値に変更がある場合は、すべての設定が初期化されます。そのため、「設定」メニューのバックアップ/復旧ユーティリティーを使用して設定をバックアップすることをお勧めします。フラッシュディスク内のデータは保護されています。しかし、予期しない問題が発生する可能性があるため、ファームウェアをアップデートする前に、ファイルをバックアップすることをお勧めします。

注：アップデートは一度開始するとキャンセルできません。アップグレード中に本機をリセットしないでください。アップグレード中は、本機をAC電源に接続したままにしてください。アップデート中はブレイルエモーション40に触れないことをお勧めします。ブレイルエモーション40のアップデートに最大60分かかることがあります。インターネット接続の速度やインストールしているアプリの数によっては、さらに長くかかることがあります。

※アップグレードファイルは、インストールのためにフラッシュディスクに一時的に保存されます。フラッシュディスクに十分な空き容量がない場合、ブレイルエモーション40はアップデートできません。

「ユーティリティー」メニューから「ファームウェアの更新」を選択するか、F3-Uを押すことで、アップデートを起動できます。

アップグレード方法を選択し、アップグレードファイルがダウンロードまたは検出されると、ブレイルエモーション40は必要なプログラムファイルをすべて展開します。進行状況は数秒ごとに通知されます。

完了すると、ブレイルエモーション40は再起動し、システムファイルがアップグレードされます。このプロセスの間、音声は出ませんが、進行状況は点字でパーセント表示されます。

これが完了すると、すべてのアプリケーションがアップグレードされます。

システムファイルがアップグレードされ、アプリケーションが初期化されると、ソフトウェアがロードされ、起動します。このプロセス中、ブレイルエモーション40は点字で「Starting Braille eMotion」と表示し、右側に進行状況インジケーターが表示されます。

ファームウェアに新しい設定値や変更された設定値がない場合、アップグレード前の設定が復元され、メインメニューが開きます。設定値が変更されている場合は、すべての設定が初期化され、クイックスタートガイドが開きます。

### インターネットを使用したブレイルエモーション40ファームウェアのアップグレード

インターネットを使用してブレイルエモーション40のファームウェアをアップグレードするには、以下の手順に従います。

1) インターネットに接続され、AC電源に接続されていることを確認します。「ユーティリティー」メニューの「ファームウェアの更新」でEnterを押します。

2) 「アップグレード：オンライン」でEnterを押します。HIMSのサーバーに接続し、現在のソフトウェアバージョンとHIMSのサーバーにあるバージョンが比較されます。アップグレードの続行を確認するプロンプトが表示されます。

3) アップグレードファイルのダウンロードが開始されます。アップグレードファイルは約1.3GBです。そのため、インターネット接続の速度によっては、ダウンロードに時間がかかる場合があります。アップグレードに失敗すると、「インターネットに接続できません。」というメッセージが表示されます。再度アップグレードを試すには、Space-Zを押してキャンセルし、もう一度「ファームウェアの更新」を実行してください。接続に成功すると、アップグレードファイルがダウンロードされます。

4) アップグレードファイルのダウンロード後、ブレイルエモーション40は自動的にアップグレードプロセスを開始します。アップグレードが完了するまで、ブレイルエモーション40には触れないでください。キーを押したり、リセットしたり、プラグを抜いたりすると、アップグレード処理が中断され、インストールが不完全になることがあります。アップグレードが完了すると、プログラムメニューに戻り、「ファイル管理」と表示されます。

5) アップグレードが完了したら、プログラムメニューでSpace-Vを押してソフトウェアのバージョンを確認してください。

### ディスクからのブレイルエモーション40ファームウェアのアップグレード

ブレイルエモーション40のファームウェアをディスクからアップグレードするには、以下の手順に従います。

1) 有限会社エクストラのウェブサイトからアップグレードファイルをダウンロードします。ファイルはZIP形式で圧縮されています。これを展開すると、拡張子がbinのファイルが現れます。このファイルを、SDカードやUSBメモリーなどの外部記憶装置のルートにコピーしてください。

2) SDカードまたはUSBドライブをブレイルエモーション40に接続し、ブレイルエモーション40がAC電源に接続されていることを確認します。次に、「ユーティリティー」メニューから「ファームウェアの更新」を選択してEnterを押してください。

3) 「アップグレード：オンライン」と表示されたら、Space-4を押して「アップグレード：オフライン」に切り替えてEnterを押します。

4) すでに最新バージョンを実行している場合は、アップグレードを続行するかどうか尋ねられます。「いいえ」でEnterを押すと、アップグレードはキャンセルされます。「はい」と「いいえ」を切り替えるには、Spaceを押します。

5) ブレイルエモーション40がアップグレードプロセスを開始します。アップグレードが完了するまで、ブレイルエモーション40には触れないでください。アップグレードが完了すると、プログラムメニューに戻り、「ファイル管理」が表示されます。

6) アップグレードが完了したら、プログラムメニューでSpace-Vを押してソフトウェアのバージョンを確認してください。

# ヘルプの表示

「ヘルプ」メニューは、ブレイルエモーション40ユーザーガイドのナビゲート可能なバージョンと、ブレイルエモーション40に関する一般的な情報で構成されています。ユーザーガイドにアクセスするには、「ヘルプ」メニューを開き、「ユーザーガイド」でEnterを押します。

また、F1-Hを使用して、本機のどこからでもユーザーガイドを起動できます。

ユーザーマニュアルが読み込まれ、ナビゲーションメニューが表示されます。Space-1とSpace-4を使用して、読みたいセクションに移動します。選択したセクションのサブセクションに移動するには、F3を押します。もう一度Space-1とSpace-4を使ってサブセクションに移動します。上位のレベルに戻すには、Space-F3を押します。

セクションを選択してEnterを押すと、マニュアルの該当箇所が開きます。ノートパッドと同じ操作で、文書内を移動できます。詳細については、第5章を参照してください。Space-Nを押すと、いつでもナビゲーションメニューに戻ることができます。

マニュアルを読みながら、Space-Fを押してテキストを検索できます。検索したいテキストを入力し、Enterキーを押します。Enter-Fを押すと、同じテキストで再検索できます。

「はじめに」では、ブレイルエモーション40の外観と機能の概要を説明します。

「基本機能」では、ブレイルエモーション40のプログラムと操作の基本的な概要を説明します。

「点字ディスプレイのカスタマイズ」では、時刻と日付の設定、インターネット設定、Bluetooth接続、および「点字設定」、「音声設定」、「一般設定」の説明と、それらを使用してブレイルエモーション40を好みに合わせて設定する方法を説明します。

残りのほとんどのセクションでは、ブレイルエモーション40の各機能について詳しく説明しています。

「コマンド一覧」は、ブレイルエモーション40のすべてのプログラムのホットキーのクイックリファレンスで、プログラムの説明全体を読まずに、アクションを実行するためのキーストロークを知りたい場合に便利です。

また、実行中の特定のタスクに関連するヘルプを確認することもできます。任意のプログラム内でSpace-Hを使用すると、そのプログラムで使用可能なキーストロークのリストが表示されます。

# 接続モードのコマンド

## 接続モードの基本コマンド

接続モードを有効化：接続キー

接続メニューを開く：接続キーの長押し

次の利用可能な接続に切り替え：Space-接続キー

前の利用可能な接続に切り替え：Backspace-接続キー

現在の接続を切断：Space-d

現在の接続を削除：Enter-d

USBレガシー接続に切り替え：Center-backspace-u

USB HID点字接続に切り替え：Center-Enter-u

Bluetoothに切り替え：Center-Enter-b

ペアリングリストを開く：Center-l

Bluetoothペアリングモード：Center-c

Bluetoothでの音声送信を切り替え：Center-Enter-A

本体の操作とターミナルモードの切り替え：Center-Space

接続モードの終了：Backspace-Space-z

## JAWS For Windowsのコマンド

### 基本コマンド

読み上げの停止：Control

スタートメニューを開く：F1

右マウスキーのクリック：F2

Tab：F3

Escape：F4

Shift-Tab：Space-F3

Alt-Tab：F2-F3

Alt-enter：Alt-Enter

Alt-左マウスクリック：Alt-5

システムトレーアイコンの一覧を表示：Enter-L

通知の履歴を表示：Enter-N

デスクトップに移動：Homeキー

バッテリー残量と充電状態の通知：Backspace-Space-B

バッテリー残量と接続状態の通知：Backspace-Space-W

時刻の通知：Space-T

最新の通知を読み上げ：Space-1-2-3-4-5-6

進行状況バーの通知を切り替え：Backspace-P

選択された単語を読み上げ：Backspace-Space-C

ウィンドウタイトルの読み上げ：Backspace-Space-T

ウィンドウ最下行の読み上げ：Enter-4-5-6

ダイアログボックスの読み上げ：Enter-B

連続読み：Enter-G

ナビゲーションクイックキーの切り替え：Space-Q

### 移動と選択のコマンド

前の段落：Space-2-3

次の段落：Space-5-6

Page Up：Space-1-2-6

Page Down：Space-3-4-5

Home/行頭：Space-1-3

End/行末：Space-4-6

ファイルの先頭：Space-1-2-3

ファイルの末尾：Space-4-5-6

次の文書ウィンドウ：Backspace-N

文書ウィンドウを閉じる：Control-2-5-6

リストボックスを閉じる：Control-L

リンクリストの表示：Backspace-Space-L

JAWS検索：Space-F

JAWS検索で次を検索：Enter-F

JAWS検索で前を検索：Backspace-F

前の行を選択：Backspace-Space-1

前の単語を選択：Backspace-Space-2

前の文字を選択：Backspace-Space-3

次の行を選択：Space-Enter-4

次の単語を選択：Space-Enter-5

次の文字を選択：Space-Enter-6

選択したテキストの読み上げ：Backspace-Space-S

クリップボードにコピー：Control-CまたはEnter-C

クリップボードに切り取り：Control-XまたはEnter-X

クリップボードから貼り付け：Control-VまたはEnter-V

ウィンドウのテキストをクリップボードに送信：Backspace-W

元に戻す：Control-ZまたはEnter-Z

### 点字と音声の設定コマンド

音声の音量を下げる：Backspace-F1

音声の速度を下げる：Space-F1

音声の高さを下げる：Enter-F1

音声の音量を上げる：Backspace-F4

音声の速度を上げる：Space-F4

音声の高さを上げる：Enter-F4

音声のミュート：Backspace-F2

キー入力エコーの設定：Enter-F2

記号レベルの設定：Enter-F3

画面エコーの設定：Space-S

JAWSオプションの調整：Space-V

読み上げ履歴の切り替え：Backspace-Space-H

読み上げの停止：Backspace-Enter

点字を左にパン：上スクロールキーまたは左カーソルキー

点字を右にパン：下スクロールキーまたは右カーソルキー

点字ビューの設定：Alt-V

点字分割ビューで左にパン：Backspace-Space

点字分割ビューで右にパン：Space-Enter

ステータスセルに時刻を表示：Space-3-4

テーブルヘッダーの点字表示を切り替え：Backspace-Space-T

点字でのテーブルのセル読み上げを切り替え：Enter-T

点字マーキングをオフにする：Backspace-Space-M

1級・2級の切り替え：Backspace-G

### JAWSコマンド

文書のOCR：Enter-O

JAWSマネージャーの実行：Backspace-2-3

JAWSタスクリストを開く：F1-F4

## NVDAのコマンド

### NVDAのオリジナルキーマップ

点字セルに移動：タッチカーソルキー

点字表示を前にスクロール：上スクロールキーまたは左カーソルキー

点字表示を次にスクロール：下スクロールキーまたは右カーソルキー

現在のフォーカス位置に移動：上下スクロールキー

Controlキー：F1

Windowsキー：F3

Altキー：Space-MまたはF2

Shiftキー：左カーソル

Insertキー：Space-Iまたは右カーソル

アプリケーションキー：Space-PまたはF2

Caps Lockキー：Space-U

Tabキー：Space-4-5またはF3

Shift-Alt-Tab：F1-F2-F3

Alt-Tab：F2-F3

Shift-Tab：Space-1-2またはSpace-F3

Alt-F4：Space-Z

Homeキー：Space-1-3

Endキー：Space-4-6

Control-Home：Space-1-2-3

Control-End：Space-4-5-6

PageUp：Space-1-2-6

PageDown：Space-3-4-5

Control-PageUp：Space-Enter-1-2-6

Control-PageDown：Space-Enter-3-4-5

上矢印：Space-1

下矢印：Space-4

Control-上矢印：Space-2-3

Control-下矢印：Space-5-6

Alt-上矢印：Backspace-Space2-3

Alt-下矢印：Backspace-Space-5-6

Shift-上矢印：Space-上スクロール

Shift-下矢印：Space-下スクロール

左矢印：Space-3

右矢印：Space-6

Control-左矢印：Space-2

Control-右矢印：Space-5

Alt-左矢印：Backspace-Space-2

Alt-右矢印：Backspace-Space-5

Escapeキー：Space-EまたはF4

Deleteキー：Space-D

F1キー：Space-H

F3キー：Space-Enter-C

F4キー：Backspace-F1

windows-B：F3-B

Windows-D：F3-D

### HID点字接続の基本コマンド

点字表示を前にスクロール：上スクロールキーまたは左カーソルキー

点字表示を次にスクロール：下スクロールキーまたは右カーソルキー

点字セルに移動：タッチカーソルキー

点字表示の追従の切り替え：上下スクロール

上矢印：Space-1

下矢印：Space-4

左矢印：Space-3

右矢印：Space-6

Shift-Tab：Space-1-3

Tabキー：Space-4-6

Altキー：Space-M

Escapeキー：Space-E

Enterキー：8の点

Windowsキー：Space-3-4

Alt-Tab：Space-T

NVDAメニュー：Space-N

Windows-D：Space-D

すべて読み上げ：Space-1-2-3-4-5-6

## MACのVoiceOverのコマンド

### 基本操作とナビゲーション

前の項目に移動：Space-1

次の項目に移動：Space-4

上に移動：Space-3

下に移動：Space-6

最初の項目に移動：Space-1-2-3またはF1

最後の項目に移動：Space-4-5-6またはF2

操作の開始：Space-2-3-6

操作の終了：Space-3-5-6

項目セレクター：Space-I

検索：Space-F

メニューバーに移動：Space-SまたはControlキー

ショートカットメニューを開く：Space-2-5

Escape：Space-1-2

1ページ左にスクロール：Space-2-4-6

1ページ右にスクロール：Space-1-3-5

1ページ上にスクロール：Space-3-4-5-6

1ページ下にスクロール：Space-1-4-5-6

ページ番号または表示された行の読み上げ：Space-3-4

前のローター設定を選択：Space-2-3

次のローター設定を選択：Space-5-6

項目のアクションを実行：Space-3-6

ドックに移動：F3

デスクトップに移動：F4

ボリュームを上げる：Space-3-4-5

ボリュームを下げる：Space-1-2-6

ページを先頭から読み上げ：Space-W

VoiceOverカーソルのあるコンテンツを読み上げ：Space-R

テキストの属性を読み上げ：Space-2-3-4-5-6

すべて選択：Space-2-3-5-6

左を選択：Space-2-3-5

右を選択：Space-2-5-6

### VoiceOverと点字

VoiceOverユーティリティーを開く：Space-u

スクリーンカーテンの切り替え：Space-1-2-3-4-5-6

読み上げの一時停止と再開：Space-P

読み上げのオン/オフの切り替え：Space-M

VoiceOverのヘルプを開く：Space-HまたはHomeキー

キーボードヘルプの開始/終了：Space-K

カスタムラベルの作成：Space-1-2-3-4-6

QuickNavの切り替え：Space-Q

点字を左にパン：Space-2または左カーソルキー

点字を右にパン：Space-5または右カーソルキー

読み上げ履歴の切り替え：Space-N

翻訳：Space-4-5

点字キーをDeleteキーにマッピング：Space-D

点字キーをReturnキーにマッピング：Space-E

点字キーをTabキーにマッピング：Space-T

1級点字と2級点字の切り替え：Space-G

デスクトップに移動：Backspace-2-5-6

点字キーをShiftキーにマッピング：Backspace-Space-4

点字キーをShiftキーの切り替えにマッピング：Space-Enter-4

点字キーをCommandキーにマッピング：Backspace-Space-1

点字キーをCommandキーの切り替えにマッピング：Space-Enter-1

点字キーをControlキーにマッピング：Backspace-Space-3

点字キーをControlキーの切り替えにマッピング：Space-Enter-3

点字キーをOptionキーにマッピング：Backspace-Space-2

点字キーをOptionキーの切り替えにマッピング：Space-Enter-2

点字キーをFnキーにマッピング：Backspace-Space-5

点字キーをFnキーの切り替えにマッピング：Space-Enter-5

点字キーをDeleteキーにマッピング：BackspaceまたはBackspace-Space

点字キーをReturnキーにマッピング：EnterまたはSpace-Enter

## iOSのコマンド

注：ブレイルエモーション専用のコマンドと点字キーボードコマンドの両方が利用可能な場合、USB HID点字接続では点字キーボードのコマンドを使用する必要があります。従来のBluetooth接続では、ブレイルエモーション専用のコマンドを使用できます。

### 基本操作とナビゲーション

前の項目に移動：Space-1

次の項目に移動：Space-4

最初の項目に移動：Space-1-2-3

最後の項目に移動：Space-4-5-6

中央の項目に移動：Backspace-space-C

項目セレクター：Space-I

選択した項目を実行：タッチカーソルキー

選択した項目を長押し：Backspace-Enter-3-6

選択した項目を3Dタッチ：Space-3-5-6

項目の概要を読み上げ：Space-3-4

1ページ上にスクロール：F1またはSpace-3-4-5-6

1ページ下にスクロール：F2またはSpace-1-4-5-6

1ページ左にスクロール：Space-2-4-6

1ページ右にスクロール：Space-1-3-5

ページ番号または表示された行を読み上げ：Space-3-4

次のウィンドウに移動：Space-2-6

前のウィンドウに移動：Space-3-5

前のコンテナに移動：Backspace-Space-1

次のコンテナに移動：Backspace-Space-4

前のローター項目：Space-3

次のローター項目：Space-6

前のローター設定：F3またはSpace-2-3

次のローター設定：F4またはSpace-5-6

ホーム画面：HomeキーまたはSpace-h

Appスイッチャー：Space-hを2回

戻るボタン：Space-B

ステータスバー：Space-S

コントロールセンター：Space-2-5

通知センター：Space-4-6

ボリュームを上げる：Space-3-4-5

ボリュームを下げる：Space-1-2-6

音楽の再生/一時停止：Space-1-5-6

読み上げと編集

現在位置から読み上げ：Space-R

先頭から読み上げ：Space-W

すべて選択：Space-2-3-5-6

左を選択：Space-2-3-5

右を選択：Space-2-5-6

Tab：Space-T

Shift Tab：Space-1-2-5-6

カット：Space-X

コピー：Space-C

ペースト：Space-V

Deleteキーの実行：Space-D

Returnキーの実行：Space-E

入力の取り消し：Space-Z

入力のやり直し：Space-2-3-4-6

テキスト検索：Space-F

出力テキストスタイル：Space-2-3-4-5-6

テキストフィールドで音声入力を開始：Space-1-5-6

### VoiceOverと点字

点字を左にパン：Space-2または左カーソルキー

点字を右にパン：Space-5または右カーソルキー

翻訳：Space-4-5

次の点字出力：ControlキーまたはSpace-g

次の点字入力：AltキーまたはSpace-2-3-6

キーボードの表示/非表示：Space-1-4-6

読み上げ履歴の切り替え：Space-N

読み上げの一時停止と再開：Space-P

読み上げのオン/オフ：Space-M

Quick Navの切り替え：Space-Q

1文字quick navの切り替え：Backspace-Space-Q

スクリーンカーテンの切り替え：Space-1-2-3-4-5-6

カスタムラベルの作成：Space-1-2-3-4-6

VoiceOverヘルプ：Space-K

## Androidのコマンド

### 基本コマンド

前の項目：Backspace-1-2

次の項目：Enter-4-5

現在の項目を実行：タッチカーソルキー

現在の項目を長押し：Space-Enter

前にスクロール：Backspace-2-4-6

次にスクロール：Enter-1-3-5

読み上げコントロールで上へ：Backspace-3

読み上げコントロールで下へ：Enter-6

前の読み上げコントロール：Backspace-2-3

次の読み上げコントロール：Enter-5-6

前のウィンドウ：Backspace-w

次のウィンドウ：Enter-w

ページまたはテキストの先頭：Space-1-2-3

ページまたはテキストの末尾：Space-4-5-6

前の見出し：Backspace-h

次の見出し：Enter-h

前のWebコントロール：Backspace-c

次のWebコントロール：Enter-c

前のリンク：Backspace-l

次のリンク：Enter-l

下にパン：右側の下スクロールまたは左カーソルキー

上にパン：右側の上スクロールまたは右カーソルキー

1行下へ：左側の下スクロール

1行上へ：左側の上スクロール

自動スクロールのオン/オフ：Space-1-2-4-5-6

戻る：Space-b

ホームに移動：Space-h

通知を開く：Space-n

最近使ったアプリを開く：Space-r

クイック設定を開く：Space-q

すべてのアプリを開く：Space-p

画面検索を開く：Space-3-4

カスタムラベルの編集：Space-Enter-m

TalkBackメニューを開く：Space-m

TalkBack読み上げのオン/オフ：Backspace-Enter-m

読み上げの停止：Backspace-Enter

TalkBackの設定を開く：Backspace-Enter-t

次の入力言語に切り替え：Backspace-Enter-i

次の読み上げ言語に切り替え：Backspace-Enter-o

1級・2級の切り替え：Space-g

点字ディスプレイキーボードヘルプ：Backspace-Enter-k

点字ディスプレイ設定を開く：Backspace-Enter-b

点字表示をオフにする：1-2-3-4-5-6-7-8の点

### テキストの移動と選択

前の文字：Space-3

次の文字：Space-6

前の単語：Space-2

次の単語：Space-5

前の行：Space-1

次の行：Space-4

すべて選択：Space-Enter-1-2-3-4-5-6

前の文字を選択：Space-Enter-3

次の文字を選択：Space-Enter-6

前の単語を選択：Space-Enter-2

次の単語を選択：Space-Enter-5

テキストをコピー：Space-Enter-c

テキストを切り取り：Space-Enter-x

テキストを貼り付け：Space-Enter-v

Delete：Backspace

Enter：Enterキー

単語の削除：Backspace-space-2

# 内蔵アプリのキーコマンド

## 共通のホットキー

音声のオン/オフ：Backspace-F2

点字のオン/オフ：Backspace-F3

スクロールボイスのオン/オフ：F3-上スクロールキー

音声ボリュームを上げる：Backspace-F4またはプラスキー

音声ボリュームを下げる：Backspace-F1またはマイナスキー

音声速度を上げる：Space-F4または音声コントロール設定を変更してからプラスキー

音声速度を下げる：Space-F1または音声コントロール設定を変更してからマイナスキー

音声トーンを上げる：Enter-F4

音声トーンを下げる：Enter-F1

主音量を上げる：Backspace-Space-F4または音声コントロール設定を変更してからプラスキー

主音量を下げる：Backspace-Space-F1または音声コントロール設定を変更してからマイナスキー

片手モードのオン/オフ：Backspace-1-2-3

Bluetoothのオン/オフ：Bluetoothキーを短く押す

無線LANのオン/オフ：Wi-fiキーを短く押す

メインメニューを開く：Homeキーを短く押す

実行中のタスクの一覧を開く：F1-F4またはHomeキーを2回

次の実行中のタスクに切り替え：F2-F3

前の実行中のタスクに切り替え：Space-F2-F3

プログラムに固有のメニューを開く：F2またはSpace-m（1-3-4の点）

閉じる：Space-z（1-3-5-6の点）

Escape：F4またはSpace-e（1-5の点）

ダイアログ内でTab：F3またはSpace-4-5

ダイアログ内でShift-tab：Space-F3またはSpace-1-2

前の文字：Space-3

次の文字：Space-6

前の単語：Space-2

次の単語：Space-5

前の行/項目：Space-1

次の行/項目：Space-4

行/項目の先頭：Space-1-3

行/項目の末尾：Space-4-6

文書またはリストの先頭：Space-1-2-3

文書またはリストの末尾：Space-4-5-6

Page Up：Space-1-2-6

Page Down：Space-3-4-5

前にスクロール：上スクロールキーまたは左カーソルキー

次にスクロール：下スクロールキーまたは右カーソルキー

セルまたはリスト項目にカーソルを移動：対応するタッチカーソルキー

現在の項目を繰り返す：Space-r（1-2-3-5の点）

ヘルプを表示：Space-h（1-2-5の点）

ソフトウェアのバージョンを確認：メインメニューでSpace-v（1-2-3-6の点）

現在時刻の読み上げ：Space-t（2-3-4-5の点）またはマイナスキーの長押し

電源状態の表示：Space-1-6またはプラスキーの長押し

ネットワーク状態の表示：メインメニューでSpace-n（1-3-4-5の点）

フラッシュディスクの空き容量を表示：メインメニューでSpace-i（2-4の点）

英語点字モードの変更：CenterキーまたはSpace-G（1-2-4-5の点）

次の英語点字規則に変更：Center-Enter

前の英語点字規則に変更：Center-backspace

前のスクロールキーの動作に変更：カーソルキーと上スクロールキー

次のスクロールキーの動作に変更：カーソルキーと下スクロールキー

キーボードのロック/ロック解除：Homeキーの長押し

入力モードのオン/オフ：Backspace-Space-Enter-M（1-3-4の点）

8点モードのオン/オフ：F1-下スクロールキー

点字カーソルの種類を選択：F4-上スクロールキー

コントロール情報の表示を選択：F2-下スクロールキー

パスワード表示のオン/オフを切り替え：F3-下スクロールキー

記号レベルの設定：Enter-F3

キーボードエコーの設定：Enter-F2

スリープモードのオン/オフ：Control-Alt-S（2-3-4の点）

スリープタイマーの設定：Space-j（2-4-5の点）

## 簡単起動コマンド

以下のコマンドを使用して、ブレイルエモーションのどこからでも対応するアプリケーションを起動できます。

F1とそれぞれの文字を同時に押すことで、以下のアプリケーションを起動できます。

接続：C（1-4の点）

DAISYプレーヤー：D（1-4-5の点）

ファイル管理：F（1-2-4の点）

ヘルプ：H（1-2-5の点）

メディアプレーヤー：M（1-3-4の点）

ノートパッド：N（1-3-4-5の点）

文書リーダー：R（1-2-3-5の点）

マイエモーション：Y（1-3-4-5-6の点）

DAISYオンライン：Z（1-3-5-6の点）

F3とそれぞれの文字を同時に押すことで、以下のアプリケーションを起動できます。

アラーム：A（1の点）

点字設定：B（1-2の点）

電卓：C（1-4の点）

フォーマット：F（1-2-4の点）

インターネット設定：I（2-4の点）

バックアップ/復旧オプション：K（1-3の点）

Bluetooth接続：M（1-3-4の点）

一般設定：O（1-3-5の点）

フラッシュディスクのバックアップ/復旧：P（1-2-3-4の点）

時計設定：T（2-3-4-5の点）

音声設定：V（1-2-3-6の点）

ファームウェアの更新：U（1-3-6の点）

ストップウォッチ：W（2-4-5-6の点）

## ファイル管理

### ファイル/フォルダリストのコマンド

前の項目に移動：Space-1または上スクロールキー

次の項目に移動：Space-4または下スクロールキー

リストの先頭に移動：Space-1-2-3またはSpace-1-3

リストの末尾に移動：Space-4-5-6またはSpace-4-6

フォルダリストまたはファイルリストに移動：Space-5-6

ファイルリストとアドレスウィンドウの移動：Tab（Space-4-5またはF3）/shift-tab（Space-1-2またはSpace-F3）

選択したフォルダに移動または選択したファイルを開く：Enter

1階層上のフォルダに移動：Backspace

ディスクの最上位に移動：Space-1-2-5-6

40項目上に移動：Space-1-2-3またはF1-F2

40項目下に移動：Space-3-4-5またはF3-F4

項目を選択：Space

連続的に選択：Enter-b（1-2の点）

すべて選択：Enter-a（1の点）

### ファイルメニューのコマンド

開く：Enter-o（1-3-5の点）

文書リーダーで開く：Backspace-R（1-2-3-5の点）

プログラムから開く：Enter-e（1-5の点）

圧縮：Enter-z（1-3-5-6の点）

展開：Enter-u（1-3-6の点）

送る：Enter-s（2-3-4の点）

名前の変更：Enter-r（1-2-3-5の点）

新規文書：Enter-n（1-3-4-5の点）

新しいフォルダ：Enter-f（1-2-4の点）

ファイル変換：Enter-t（2-3-4-5の点）

ファイル検索：Space-f（1-2-4の点）

文字列検索：Backspace-f（1-2-4の点）

ファイル結合：Enter-m（1-3-4の点）

ファイル分割：Enter-p（1-2-3-4の点）

情報：Enter-i（2-4の点）

### 編集メニューのコマンド

選択開始：Enter-b（1-2の点）

コピー：Enter-c（1-4の点）

切り取り：Enter-x（1-3-4-6の点）

貼り付け：Enter-v（1-2-3-6の点）

削除：Enter-d（1-4-5の点）

すべて選択：Enter-a（1の点）

### 表示メニューのコマンド

ファイル並べ替え：Enter-g（1-2-4-5の点）

ファイル情報設定：Enter-l（1-2-3の点）

特定の種類のファイルのみを表示：Enter-w（2-4-5-6の点）

システムフォルダを非表示：Enter-h（1-2-5の点）

開始フォルダの設定：Backspace-S（2-3-4の点）

## ノートパッドのコマンド

### ファイルメニューのコマンド

新規：Enter-n（1-3-4-5の点）

開く：Enter-o（1-3-5の点）

最近使ったファイル：Backspace-Enter-H（1-2-5の点）

開かれた文書：Backspace-Enter-O（1-3-5の点）

保存：Enter-s（2-3-4の点）

名前を付けて保存：Space-s（2-3-4の点）

現在の文書を閉じる：Space-q（1-2-3-4-5の点）

設定：Enter-e（1-5の点）

閉じる：Space-z（1-3-5-6の点）

### 編集メニューのコマンド

選択開始：Enter-b（1-2の点）

コピー：Enter-c（1-4の点）

クリップボードに追加：Enter-p（1-2-3-4の点）

クリップボードを空にする：Enter-d（1-4-5の点）

削除：Space-d（1-4-5の点）

切り取り：Enter-x（1-3-4-6の点）

貼り付け：Enter-v（1-2-3-6の点）

空行削除：Backspace-e（1-5の点）

すべて選択：Enter-a（1の点）

挿入/上書きモード切替：Space-i（2-4の点）

### 挿入メニューのコマンド

マークを設定：Enter-m（1-3-4の点）

マークへ移動：Enter-j（2-4-5の点）

マーク削除：Backspace-d（1-4-5の点）

ファイルから挿入：Enter-i（2-4の点）

日付の挿入：Enter-w（2-4-5-6の点）

時間の挿入：Backspace-w（2-4-5-6の点）

改ページの挿入：Backspace-Space-Enter-P（1-2-3-4の点）

タブの挿入：Backspace-Space-Enter-I（2-4の点）

### 移動コマンド

検索：Space-f（1-2-4の点）

次を検索：Enter-f（1-2-4の点）

前を検索：Backspace-f（1-2-4の点）

検索と置換：Enter-r（1-2-3-5の点）

指定位置に移動：Enter-l（1-2-3の点）

前の文へ：Space-2-3-6

次の文へ：Space-3-5-6

前のページへ：Space-1-2-6またはF1-F2

次のページへ：Space-3-4-5またはF3-F4

前の文書へ：Tab（Space-1-2またはSpace-F3）

次の文書へ：Shift-tab（Space-4-5またはF3）

### 読み上げコマンド

選択したテキストを読み上げ：Backspace-b（1-2の点）

選択したテキストの先頭行を読み上げ：Enter-u（1-3-6の点）

先頭からカーソルまで読み上げ：Backspace-g（1-2-4-5の点）

カーソルから最後まで読み上げ：Enter-g（1-2-4-5の点）

自動スクロール：上下スクロールキー

現在の段落を読み上げ：Space-2-3-5-6

現在の文を読み上げ：Space-1-4-5-6

現在の行を読み上げ：Space-1-4

現在の単語を読み上げ：Space-2-5

現在の文字を読み上げ：Space-3-6

状態を読み上げ：Space-3-4

カーソル位置の読み上げ：Space-1-5-6

文字数を読み上げ：Enter-3-4

### レイアウトコマンド

点字文書レイアウト：Backspace-p（1-2-3-4の点）

点字段落レイアウト：Backspace-1-2-4-6

### その他のホットキー

現在の段落を削除：Backspace-2-3-5-6

現在の行を削除：Backspace-1-4

現在の単語を削除：Backspace-2-5

現在の文字を削除：Space-d（1-4-5の点）

読み上げ単位の設定：Space-2-4-6

読み込み専用の設定：Space-3-4-6

## 文書リーダーのコマンド

### ファイルコマンド

開く：Enter-O（1-3-5の点）

最近開いた文書：Enter-R（1-2-3-5の点）

ページ設定：Backspace-P（1-2-3-4の点）

音声設定：Enter-S（2-3-4の点）

起動時の設定：Enter-e（1-5の点）

文書の情報：Enter-I（2-4の点）

ブックマークを保存して終了：Space-Z（1-3-5-6の点）

ブックマークを削除して終了：Enter-Z（1-3-5-6の点）

ブックマークを保存せずに終了：Backspace-Z（1-3-5-6の点）

### 編集コマンド

選択開始：Enter-B（1-2の点）

コピー：Enter-C（1-4の点）

クリップボードに追加：Enter-P（1-2-3-4の点）

クリップボードを空にする：Enter-D（1-4-5の点）

すべて選択：Enter-A（1の点）

### 読み上げコマンド

読み上げモードの手動・自動の切り替え：Enter

読み上げの一時停止と再開：Space

選択したテキストを読み上げ：Backspace-B（1-2の点）

現在のページを読み上げ：Backspace

現在の段落を読み上げ：Space-2-3-5-6

現在の行を読み上げ：Space-1-4

現在の文を読み上げ：2-3-5-6の点

### 移動コマンド

検索：Space-F（1-2-4の点）

次を検索：Enter-F（1-2-4の点）

前を検索：Backspace-F（1-2-4の点）

指定位置に移動：Enter-G（1-2-4-5の点）

見出しリストを開く：Enter-T（2-3-4-5の点）

前の見出しに移動：Backspace-Space-2-3-5

次の見出しに移動：Backspace-Space-2-5-6

前の空行に移動：Backspace-Space-2-3

次の空行に移動：Space-Enter-5-6

### マークコマンド

マークを設定：enter-M（1-3-4の点）

マークへ移動：Enter-J（2-4-5の点）

マーク削除：Space-D（1-4-5の点）

次のマーク：Enter-N（1-3-4-5の点）

前のマーク：Backspace-M（1-3-4の点）

マーク管理：enter-k（1-3の点）

マーク通知オプション：Backspace-O（1-3-5の点）

## DAISYプレーヤーのコマンド

### 読み上げコマンド

タイトルの読み上げ：Space-1-2-5-6の点

DAISY図書を開く：Enter-o（1-3-5の点）

再生/一時停止：Space

音声設定：Enter-s（2-3-4の点）

図書情報の確認：Enter-i（2-4の点）

ボリュームを上げる：Backspace-4の点

ボリュームを下げる：Backspace-1の点

速度を上げる：Backspace-5の点

速度を下げる：Backspace-2の点

トーンを上げる：Backspace-6の点

トーンを下げる：Backspace-3の点

閉じる：Space-z（1-3-5-6の点）

終了位置を保存せずに終了：Enter-z（1-3-5-6の点）

マークを削除して終了：Backspace-z（1-3-5-6の点）

### 移動コマンド

先頭に移動：Space-1-3またはSpace-1-2-3

末尾に移動：Space-4-6またはSpace-4-5-6

次のページ：Space-3-4-5

前のページ：Space-1-2-6

指定ページへ：Enter-g（1-2-4-5の点）

前のテキスト/時間移動単位：1の点

次のテキスト/時間移動単位：4の点

テキスト/時間移動単位で戻る：2の点

テキスト/時間移動単位で進む：5の点

前の移動単位：2-3の点

次の移動単位：5-6の点

移動単位で戻る：3の点または戻るボタンを短く押す

移動単位で進む：6の点または進むボタンを短く押す

次の見出しに移動：Space-5または進むボタンを長押し

前の見出しに移動：Space-2または戻るボタンの長押し

最後の見出しに移動：Space-4-6

最初の見出しに移動：Space-1-3

現在のレベルと見出しを確認：Enter-w（2-4-5-6の点）

現在位置から末尾に向かって見出しをスキャン：Enter-n（1-3-4-5の点）

見出し検索：Space-f（1-2-4の点）

見出し一覧：Enter-h（1-2-5の点）

再検索：Enter-f（1-2-4の点）

### マークとメモのコマンド

現在位置にマークを設定：Enter-m（1-3-4の点）

次のマークに移動：Enter-6の点

前のマークに移動：Enter-3の点

マークリストを開く：Enter-l（1-2-3の点）

マークを削除：Space-d（1-4-5の点）

メモを作成：Backspace-m（1-3-4の点）

メモを読み上げ：Backspace-r（1-2-3-5の点）

前のメモを読み上げ：Backspace-p（1-2-3-4の点）

次のメモを読み上げ：Backspace-n（1-3-4-5の点）

メモを削除：Backspace-d（1-4-5の点）

## メディアプレーヤーのコマンド

### ファイルコマンド

ファイルを開く：Enter-o（1-3-5の点）

フォルダを開く：Enter-f（1-2-4の点）

ファイルを追加：Backspace-o（1-3-5の点）

フォルダを追加：Backspace-f（1-2-4の点）

プレイリストを保存：Enter-i（2-4の点）

プレイリストに名前を付けて保存：Space-s（2-3-4の点）

項目を削除：Space-d（1-4-5の点）

タグ情報を取得：Enter-t（2-3-4-5の点）

### 再生コマンド

再生：Enter

一時停止/再生：Space

停止：Backspace

前のトラック：3の点

次のトラック：6の点

5トラック前に戻る：2-3の点

5トラック先に進む：5-6の点

最初のトラック：1-3の点

最後のトラック：4-6の点

音量を上げる：Space-上スクロールキー

音量を下げる：Space-下スクロールキー

速度を上げる：3-4-5の点

速度を下げる：1-2-6の点

時間移動の単位を変更：2の点または5の点

設定した時間単位で次に進む：4の点

設定した時間単位で前に戻る：1の点

前のチャプターに移動：Space-2-3-6

次のチャプターに移動：Space-3-5-6

チャプターリストを開く：Backspace-L（1-2-3の点）

プレイリストを削除：Space-d（1-4-5の点）

環境設定ダイアログ：Backspace-c（1-4の点）

再生設定ダイアログ：Enter-s（2-3-4の点）

録音設定ダイアログ：Backspace-s（2-3-4の点）

エフェクト設定ダイアログ：Enter-e（1-5の点）

### マークと移動のコマンド

マーク位置を設定：Enter-m（1-3-4の点）

マーク位置を削除：Enter-d（1-4-5の点）

マーク位置に移動：Enter-j（2-4-5の点）

指定位置に移動：Enter-g（1-2-4-5の点）

マーク設定：Backspace-m（1-3-4の点）

マークに移動：Backspace-j（2-4-5の点）

前のマークに移動：Backspace-3の点

次のマークに移動：Backspace-6の点

マーク削除：Backspace-d（1-4-5の点）

マーク管理：Backspace-k（1-3の点）

### 再生情報タブのホットキー

次の項目に移動：Space-4の点

前の項目に移動：Space-1の点

メニューを開く：F2またはSpace-m（1-3-4の点）

ヘルプを開く：Space-h（1-2-5の点）

プレイリストタブに移動：Space-4-5/Space-1-2

メディアプレーヤーを終了：Space-z（1-3-5-6の点）

### プレイリストタブのホットキー

次のファイルに移動：Space-4

前のファイルに移動：Space-1

最後のファイルに移動：Space-4-6

最初のファイルに移動：Space-1-3

現在のファイルを再生：Space

ファイル選択の開始：Enter-b（1-2の点）

選択したファイルの再生を開始：Enter

再生を停止：Backspace

選択したファイルをプレイリストから削除：Space-d（1-4-5の点）

「再生情報」タブに移動：Space-4-5/Space-1-2

### バックグラウンド再生のコマンド

メディアの一時停止/再生の切り替え：カーソルキー-Enter

選択した移動単位で先に進む：カーソル-F1またはF3

選択した移動単位で前に戻る：カーソル-F2またはF4

前の移動単位を選択：Center-左カーソル

次の移動単位を選択：Center-右カーソル

## ライブラリーサービスのコマンド

DAISYオンライン

カテゴリーリスト、図書リスト間の移動：F3、Space-F3

リスト項目間の移動：Space-1、Space-4

図書のダウンロード：Enter

## ユーティリティーのコマンド

### ボイスレコーダーのコマンド

自動的に録音を開始：録音キーを長押し

ボイスレコーダーアプリケーションを開く：録音キーを短く押す

録音を一時停止/再開：録音キーまたはSpace

録音をキャンセル：F4またはSpace-E（1-5の点）

停止：Enter-S（2-3-4の点）

再生：Enter-P（1-2-3-4の点）

音量を上げる：Space-上スクロールキー

音量を下げる：Space-下スクロールキー

速度を上げる：3-4-5の点

速度を下げる：1-2-6の点

録音設定：Backspace-S（2-3-4の点）

### 電卓のコマンド

電卓をクリア：Backspace-c（1-4の点）

数値または演算子を削除：Backspace

計算履歴：Enter-h（1-2-5の点）

一般関数：Enter-g（1-2-4-5の点）

PI：Enter-p（1-2-3-4の点）

Exp：Enter-e（1-5の点）

三角関数：Enter-s（2-3-4の点）

サイン：Enter-s（2-3-4の点）、s（2-3-4の点）

アークサイン：Enter-s（2-3-4の点）、a（1の点）

ハイパーボリックサイン：Enter-s（2-3-4の点）、h（1-2-5の点）

コサイン：Enter-i（2-4の点）、i（2-4の点）

アークコサイン：Enter-c（1-4の点）、a（1の点）

ハイパーボリックコサイン：Enter-c（1-4の点）、h（1-2-5の点）

タンジェント：Enter-t（2-3-4-5の点）、t（2-3-4-5の点）

アークタンジェント：Enter-t（2-3-4-5の点）、a（1の点）

ハイパーボリックタンジェント：Enter-t（2-3-4-5の点）、h（1-2-5の点）

対数関数：Enter-l（1-2-3の点）

自然対数：Enter-l（1-2-3の点）、e（1-5の点）

常用対数：Enter-l（1-2-3の点）、n（1-3-4-5の点）

変数リコール：Backspace-r（1-2-3-5の点）

保存されたすべての変数を削除：Enter-d（1-4-5の点）

変数に保存：Backspace-s（2-3-4の点）

単位換算：Enter-u（1-3-6の点）

クリップボードにコピー：Enter-c（1-4の点）

オプション設定：Enter-o（1-3-5の点）

分数の設定：Space-3-4の点

式を返す：Enter-r（1-2-3-5の点）

### アラーム

アラームを追加：Enter-A（1の点）

アラームを修正：Enter-M（1-3-4の点）

アラームを削除：Space-D（1-4-5の点）

### ストップウォッチ

ストップウォッチの開始、一時停止、再開：Enter

経過時間の確認：Backspace

点字表示の停止と再開：Space-F2

ストップウォッチとカウントダウンタイマーの切り替え：Space-4-5またはSpace-1-2

カウントダウンタイマーの一時停止と再開：Enter

カウントダウンタイマーの初期化：Backspace

ストップウォッチまたはカウントダウンタイマーの終了：Space-z（1-3-5-6の点）

## 設定コマンド

### 時計設定

次の日に移動：Space-6

前の日に移動：Space-3

次の週に移動：Space-5

前の週に移動：Space-2

次の月に移動：Space-4

前の月に移動：Space-1

次の年に移動：Space-5-6

前の年に移動：Space-2-3

1時間後に移動：Space-4

1時間前に移動：Space-1

10分後に移動：Space-5

10分前に移動：Space-2

1分後に移動：Space-6

1分前に移動：Space-3

午前と午後の切り替え：Space-x（1-3-4-6の点）

### Bluetooth接続

Bluetoothデバイスの再スキャン：Enter-r（1-2-3-5の点）

デバイスに接続：デバイス名でenter

サービスに接続：サービス名でenter

Bluetoothサービスリストでサービスから切断：Enter-d（1-4-5の点）

サービスリストからBluetoothデバイスリストに移動：Backspace

Bluetoothデバイスリストでデバイスの設定を削除：Space-d（1-4-5の点）

### バックアップ/復旧オプション

前の項目に移動：Space-1または上スクロールキー

次の項目に移動：Space-4または下スクロールキー

前のコントロールに移動：Shift-tab（Space-1-2またはSpace-F3）

次のコントロールに移動：Tab（Space-4-5またはF3）

チェックボックスを選択/選択解除：Space

バックアップ：Enter-b（1-2の点）

復旧：Enter-r（1-2-3-5の点）

# 技術サポート情報

ブレイルエモーションをご利用の上でご不明な点がございましたら、以下のセンスサポート窓口までご連絡ください。なお、お電話の受付時間は平日朝10時から12時、13時から16時までとなっております。よろしくお願いいたします。

お問い合わせ先

有限会社エクストラ

〒424-0886

静岡県静岡市清水区草薙１丁目19-11

＜技術サポート窓口＞

電話：054-368-6897

Eメール：sense-support@extra.co.jp